
小金井市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

平成 26 年 3 月

小金井市

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 報告書の見方	4

第2章 調査結果の分析

1 就学前児童調査

(1) 子どもと家族の状況	7
(2) 子どもの育ちをめぐる環境	9
(3) 保護者の就労状況	11
(4) 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	14
(5) 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況	18
(6) 土・休日・長期休暇中の利用希望	20
(7) 子どもの病気の際の対応	22
(8) 子どもの一時的預かり等の利用	24
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方（5歳以上）	26
(10) 職場の両立支援制度	29
(11) 子どものけがや病気	32
(12) 飲酒・喫煙	33
(13) 新生児訪問・乳幼児健康診査	34
(14) 子育て全般	35
(15) 小金井市子どもの権利に関する条例関連	39
(16) 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般	39

2 就学児童調査

(1) 子どもと家族の状況	40
(2) 子どもの育ちをめぐる環境	41
(3) 保護者の就労状況	43
(4) 子どもの放課後の過ごし方	46
(5) 子どもの一時的預かり等の利用	53
(6) ファミリー・サポート・センターの利用	54
(7) 子育て全般	55
(8) 小金井市子どもの権利に関する条例関連	59
(9) 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般	60

3 中学校・高校生年代の青少年調査

(1) あなた自身のこと	61
(2) 両親の就労状況	62
(3) 放課後や休日の過ごし方	62
(4) 児童館の利用と希望	64
(5) 小金井市の事業や施設	66
(6) 日々の生活の問題など	70
(7) 自身の健康	72
(8) 異世代交流	74
(9) 将来のこと	75
(10) 各種体験活動	77
(11) 小金井市子どもの権利に関する条例関連	78

4 中学校・高校生年代の保護者調査

(1) あなた自身のこと	79
(2) 両親の就労状況	80
(3) 子どもとの関わり方	81
(4) 小金井市の事業や地域との関わり	82
(5) 子育ての悩みなど	83
(6) 子どもの現在の食生活	85
(7) 児童館の利用	86
(8) 小金井市子どもの権利に関する条例関連	87

資料編 自由回答

1 就学前児童	91
2 就学児童	103
3 中学校・高校生年代の青少年	107
4 中学校・高校生年代の保護者	109

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、市民の教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、同計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の設計

(1) 就学前児童調査

- ①調査対象：小金井市内に居住する就学前児童の保護者
- ②標本数：2,000人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：1,182人（59.1%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成25年12月1日～24日
（調査対象者の方全員にお礼状と未記入の場合の送付をお願いした関係から、調査票の最終締切は平成26年1月14日消印有効とした）

(2) 就学児童調査

- ①調査対象：小金井市内に居住する小学校1～6年の児童の保護者
- ②標本数：1,500人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：795人（53.0%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成25年12月1日～24日
（上記（1）と同じく調査票の最終締切は平成26年1月14日消印有効とした）

(3) 中学校・高校生年代の青少年調査

- ①調査対象：小金井市内に居住する中学生・高校生年代の方
- ②標本数：1,250人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：459人（38.3%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成25年12月1日～24日
（上記（1）と同じく調査票の最終締切は平成26年1月14日消印有効とした）

(4) 中学校・高校生年代の保護者調査

- ①調査対象：小金井市内に居住する中学生・高校生年代の方の保護者
- ②標本数：1,250人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：663人（53.0%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成25年12月1日～24日
（上記（1）と同じく調査票の最終締切は平成26年1月14日消印有効とした）

3 報告書の見方

(1) 報告書を読むにあたっての注意

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ・図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は回答比率(%)である。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

(2) 標本誤差について

調査結果の比率から母集団(各調査属性を備えた対象者全体)の傾向を推測する際には、統計上の誤差(標本誤差)を考慮に入れる必要がある。本調査における各回答比率での標本誤差は次ページの早見表のとおりとなる。例えば回答者総数(1,182人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%のとき、小金井市内の就学前児童の保護者のこの質問に対する回答は、47.4%~52.6%の間にあると考えてよい。

各回答比率における標本誤差早見表

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,182人	±1.5%	±2.1%	±2.4%	±2.5%	±2.6%
800	±1.9%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.2%
700	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.4%	±3.5%
600	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
500	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%
250	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

- ・標本誤差の算出式(ただし、信頼度を95%とする。)

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

(b = 標本誤差、N = 母集団数、n = 比率算出の基数 [サンプル数]、P = 回答比率)

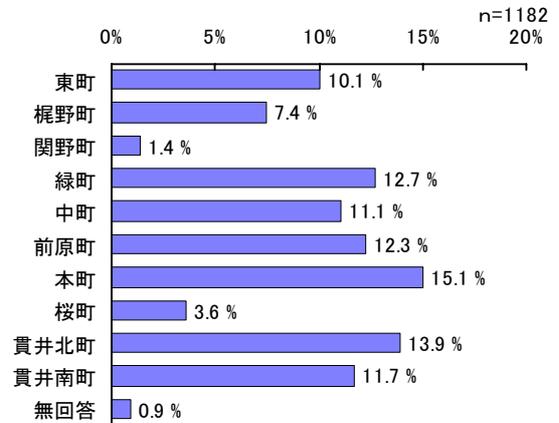
第2章 調査結果の分析

1 就学前児童調査

(1) 子どもと家族の状況

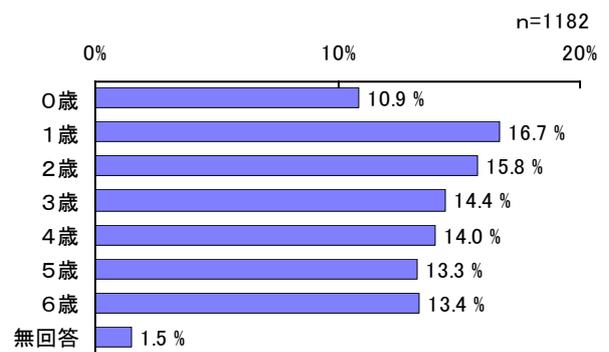
問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「本町」15.1%、「貫井北町」13.9%、「緑町」12.7%、「前原町」12.3%などである。



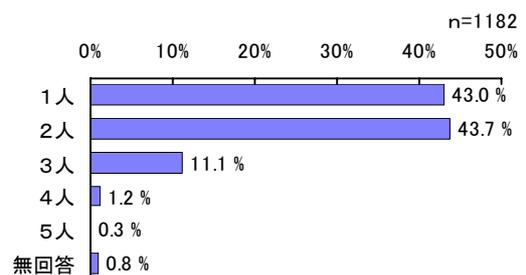
問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

「2歳」16.7%、「3歳」15.8%、「4歳」14.4%などである。
(各歳平成26年4月現在の年齢とした。)



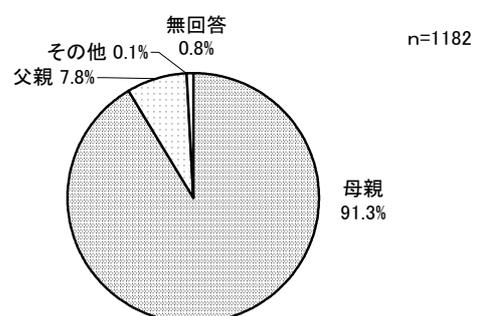
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだいは「2人」43.7%、「1人」43.0%がほぼ同じである。末子の年齢は「1歳」22.4%、「2歳」17.9%、「0歳」15.4%などである。
(各歳平成26年4月現在の年齢とした。)



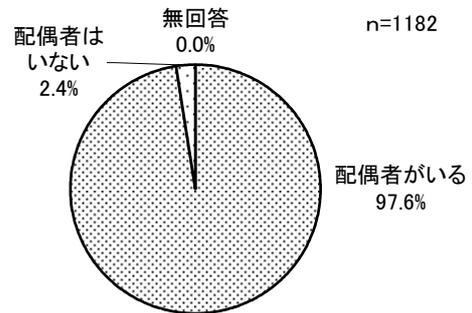
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が91.3%、「父親」9.8%である。



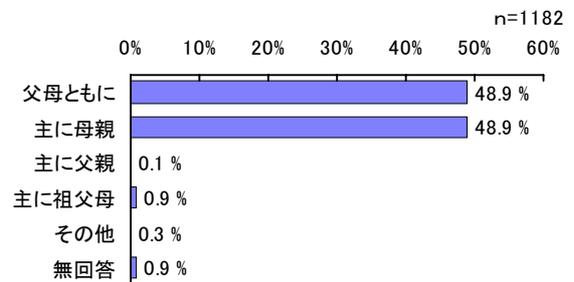
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」97.6%、「配偶者はいない」2.4%である。



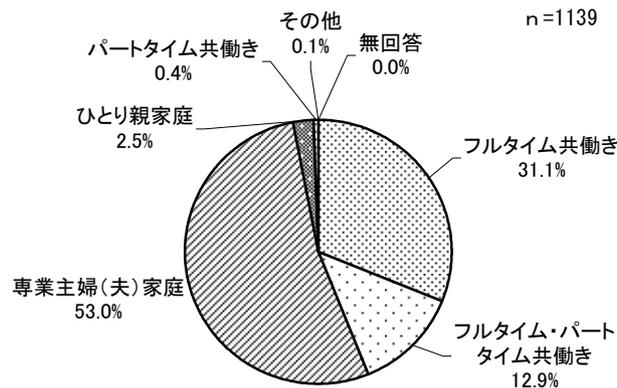
問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」「主に母親」とともに 48.9%である。



《 家族類型 》

家族類型は、問5と問11から類型化したものである。「専業主婦(夫)家庭」が53.0%で最も多く、次いで「フルタイム共働き」が31.1%、「フルタイム・パートタイム共働き」が12.9%、「ひとり親家庭」2.5%、「パートタイム共働き」0.4%となっている。



※家族類型

- ・ひとり親家庭：問5で「配偶者はいない」と回答した人
- ・フルタイム共働き：問11で父親、母親ともに「就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）」と回答した人（ひとり親家庭をのぞく）
- ・フルタイム・パートタイム共働き：問11で父親、母親の一方が、「就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）」と回答し、もう一方が「就労している（パート・アルバイト等；産休・育休・介護休業中は含まない）」か「就労している（パート・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中）」と回答した人（ひとり親家庭をのぞく）

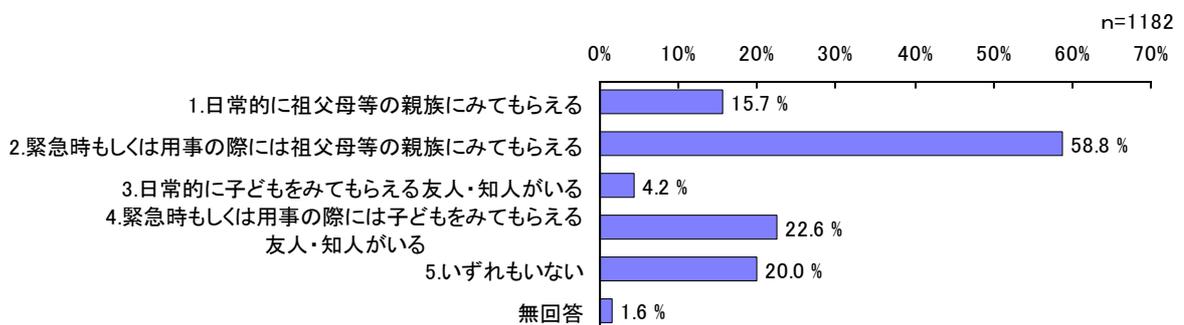
とり親家庭をのぞく)

- ・専業主婦(夫)家庭：問11で父親、母親の一方が、「就労している(フルタイム;産休・育休・介護休業中は含まない)」か「就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)」か「就労している(パート・アルバイト;産休・育休・介護休業中は含まない)」か「就労している(パート・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中)」と回答し、もう一方が「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人(ひとり親家庭をのぞく)
- ・パートタイム・パートタイム共働き：問11で父親、母親ともに「就労している(パート・アルバイト等;産休・育休・介護休業中は含まない)」か「就労している(パート・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中)」と回答した人(ひとり親家庭をのぞく)

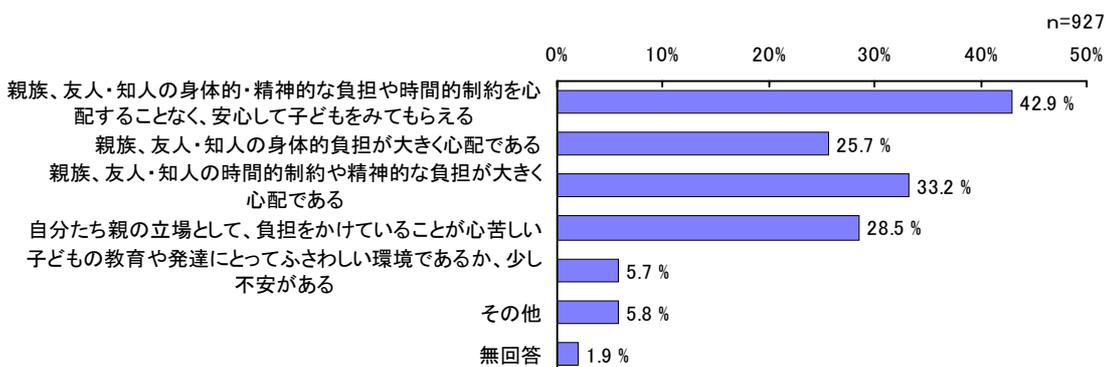
(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」58.8%が約6割である。以下、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」22.6%、「いずれもない」20.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」15.7%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」4.2%である。

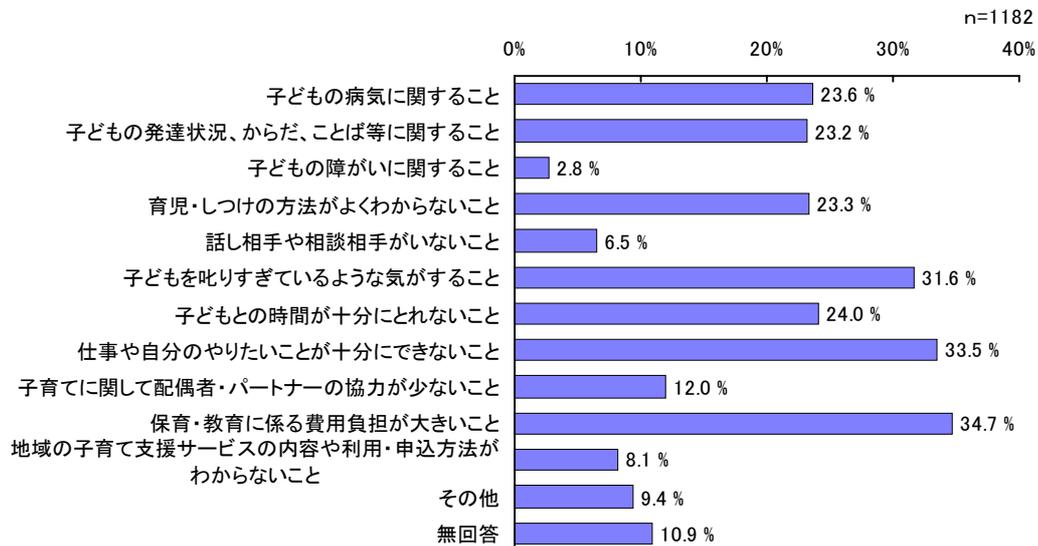


問7-1 問7で「1.」から「4.」に○をつけた方にうかがいます。親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



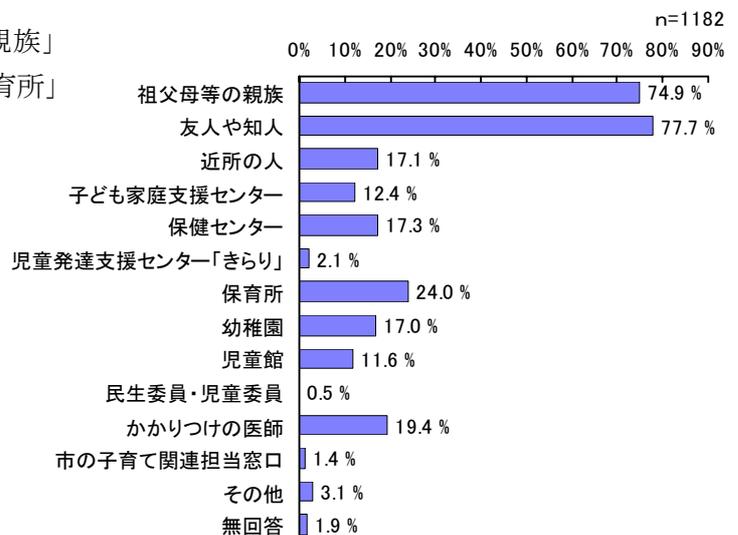
問8 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「保育・教育に係る費用負担が大きいこと」34.7%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」33.5%、「子どもを叱りすぎているような気がする」31.6%などである。



問9 子育て(教育を含む)をする上で、相談できる人や場所はありますか。また、相談したことはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」77.7%、「祖父母等の親族」74.9%が主な相談先であり、次いで「保育所」24.0%などが続く。



問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、市役所など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な回答は、以下の通りである。

- 一時預かり (184 件)
- 相談・支援・親の交流・サークル (82 件)
- 保育園の拡充、充実 (73 件)
- 病児保育 (44 件)
- 子育て情報の発信、窓口、媒体 (42 件)
- 金銭的支援 (36 件)

- 気軽に遊べる・集まれる場所、乳幼児連れで行ける施設・講座等（32件）
- 多世代交流・同じ年齢の親子の交流（20件）
- イベント・習い事の開催（18件）
- 幼稚園・保育園から家や習い事までの送迎サービス（15件）
- 施設・児童館・図書館の充実（13件）
- 地域社会や会社の子育てに対する理解（12件）
- 保健センター・児童館が遠い、移動手段を増やしてほしい（11件）
- 小学校・学童について（7件）
- 家事・手伝い（7件）
- 助産師、保健師訪問（4件）
- 土日に利用できる施設、役所開庁（2件）
- その他（41件）

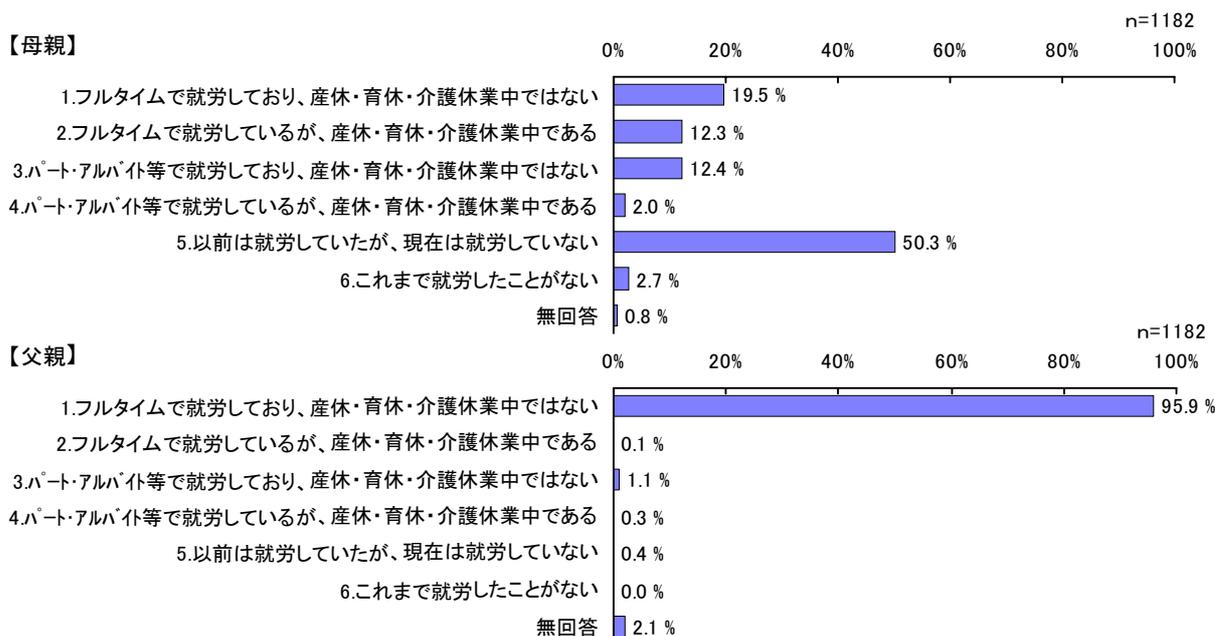
（3）保護者の就労状況

※ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のこと。

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」50.3%である。産休・育休・介護休業中を含め「フルタイム」は31.8%、「パート・アルバイト等」は14.4%である。

父親の就労状況は、「フルタイム」95.9%が9割を超えて多い。

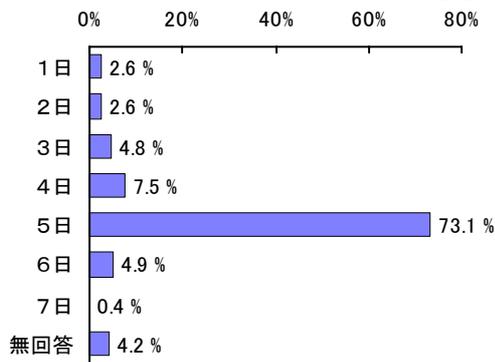


問11-1 問11で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

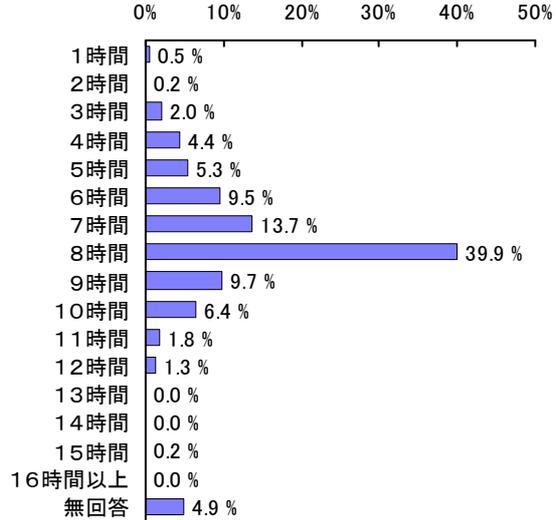
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間、また、母親・父親の家を出る時間、帰宅時間は次の通りである。

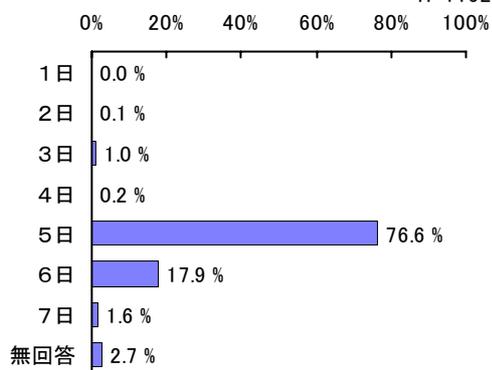
【母親 就労日数】 n=546



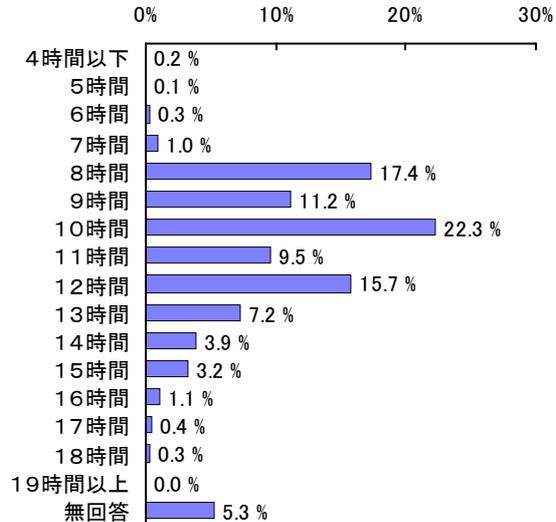
【母親 就労時間】 n=546



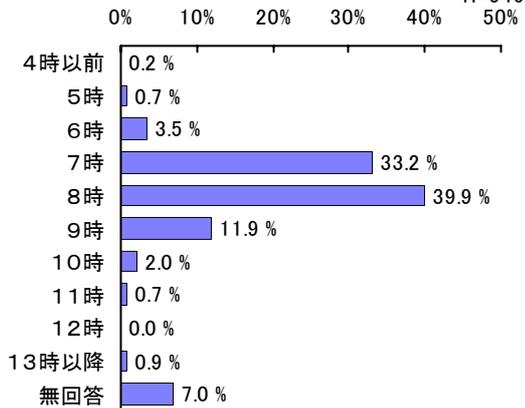
【父親 就労日数】 n=1152



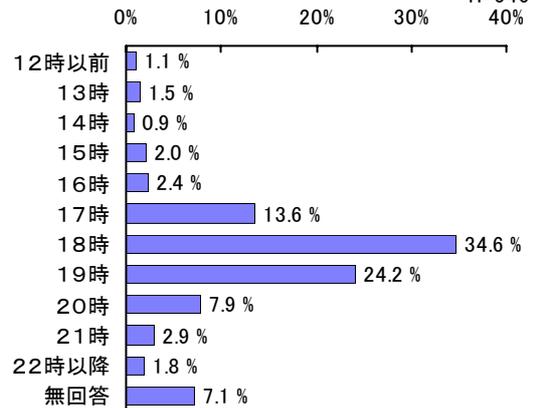
【父親 就労時間】 n=1152



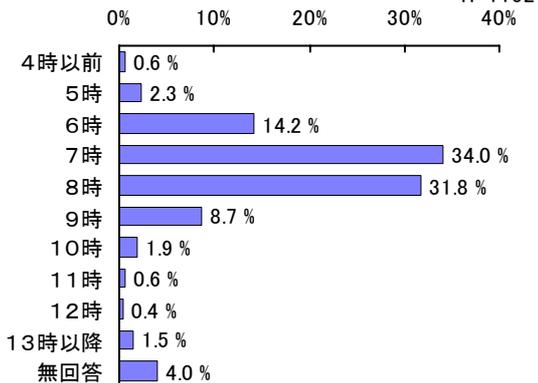
【母親 家を出る時間】 n=546



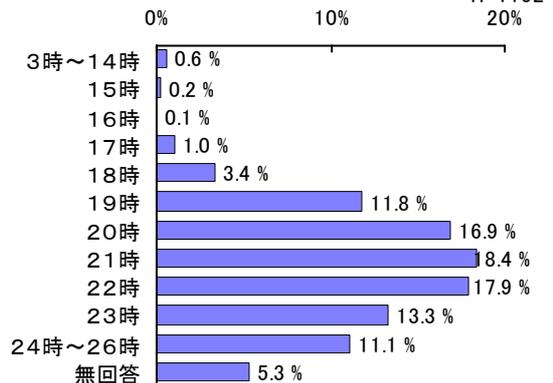
【母親 帰宅時間】 n=546



【父親 家を出る時間】 n=1152

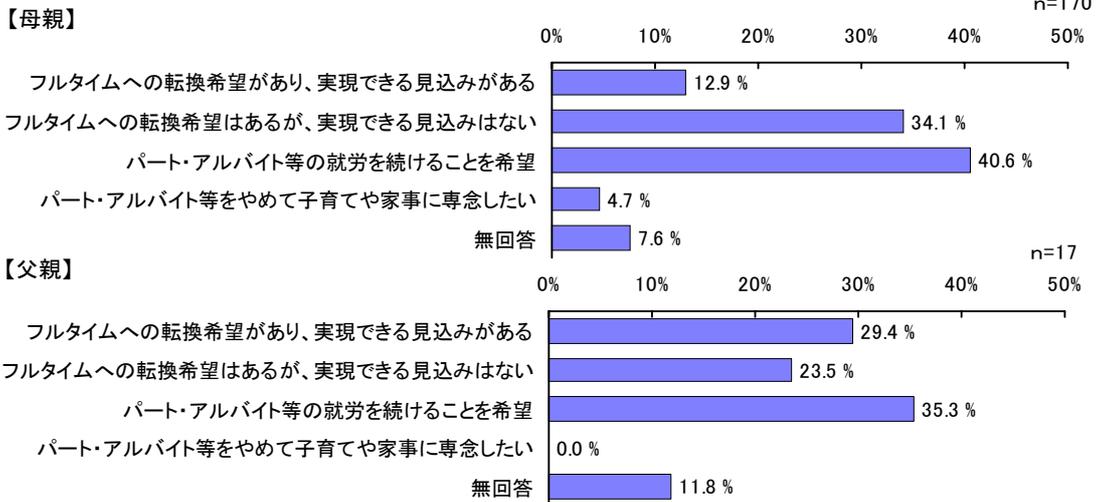


【父親 帰宅時間】 n=1152



問 12 問 11 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

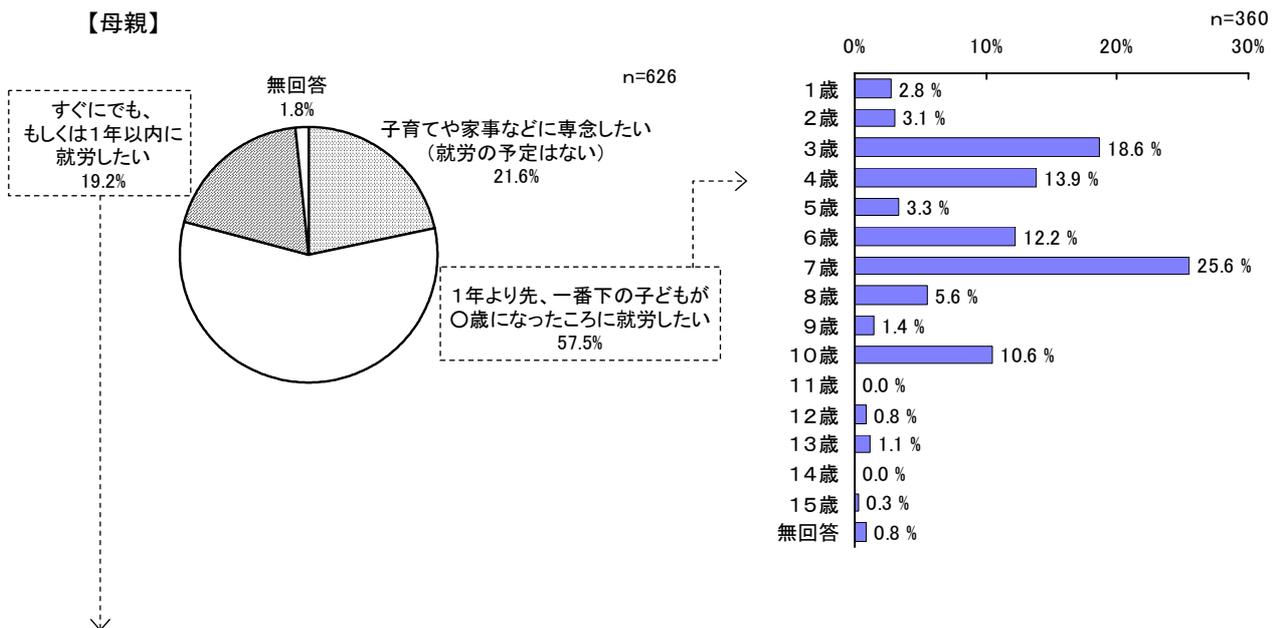
母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」40.6%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」34.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」12.9%などであり、『フルタイムへの転換希望』は47.0%である。

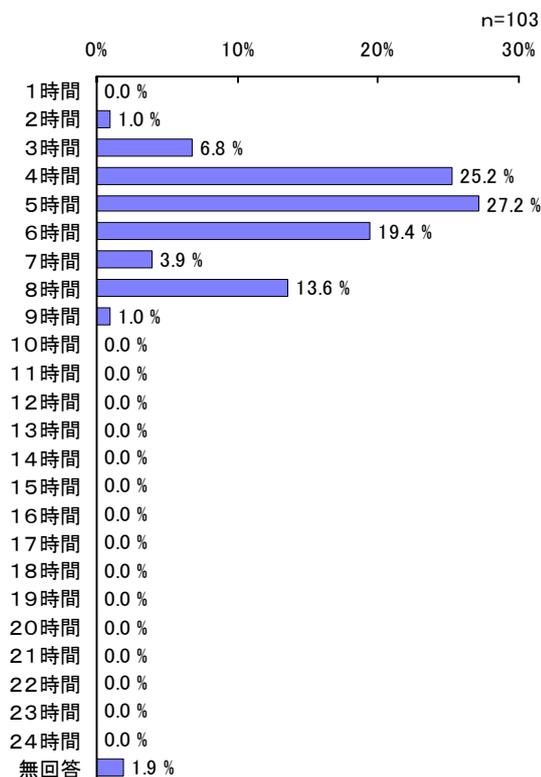
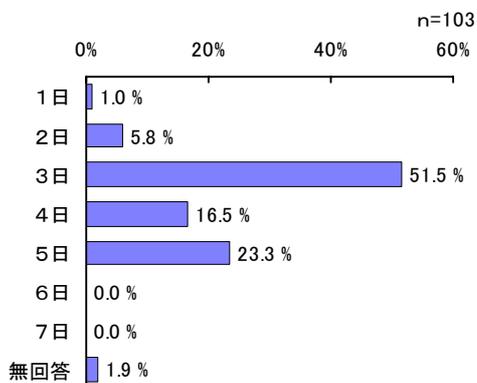
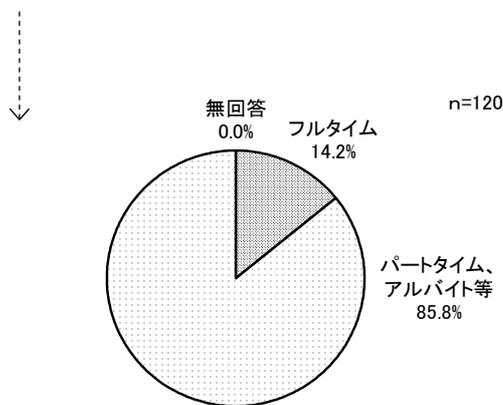


問 13 問 11 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

母親は、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」57.5%が最も多く、その年齢は「7歳」25.6%、「3歳」18.6%、「4歳」13.9%などの順である。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は19.2%であり、希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が85.8%である。1週当たりの日数と1日当たりの時間は次の通りである。

【母親】





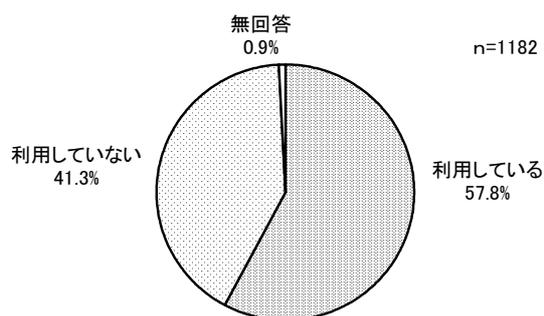
父親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（5人中3人）が多く、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は同1人である。希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が3人中2人、「フルタイム」が同1人である。

(4) 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」57.8%、「利用していない」41.3%である。

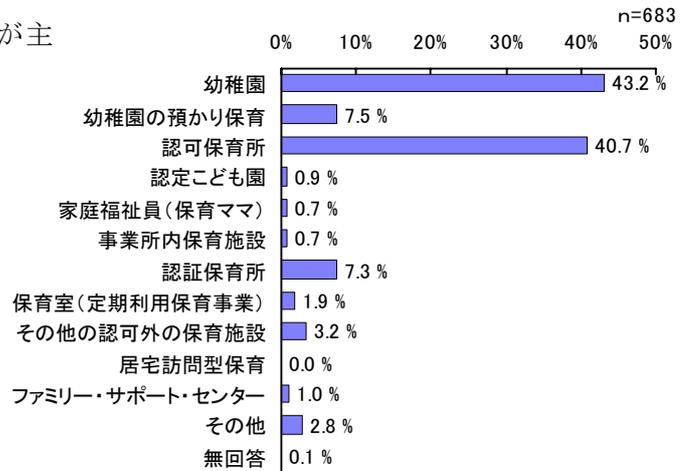


家族類型でみると、「利用している」は「フルタイム・パートタイム共働き」が最も多く83.0%、次いで「フルタイム共働き」の67.5%、「ひとり親家庭」の64.3%などである。

		n=	て利用し	て利用し	無回答
			るし	ない	
			単位:%		
家族類型	フルタイム共働き	354	67.5	32.5	0.0
	フルタイム・パートタイム共働き	147	83.0	17.0	0.0
	専業主婦(夫)家庭	604	45.5	52.8	1.7
	ひとり親家庭	28	64.3	35.7	0.0
	パートタイム共働き	5	60.0	40.0	0.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0

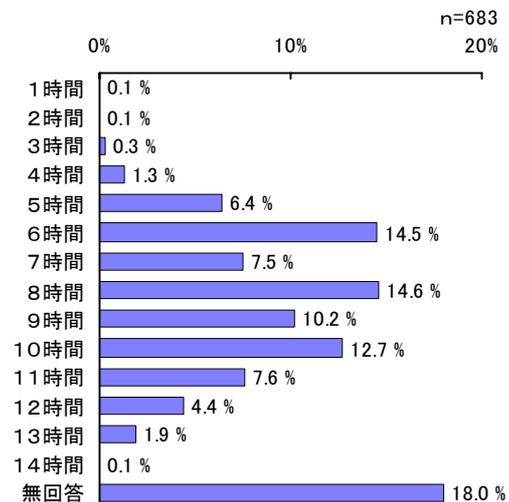
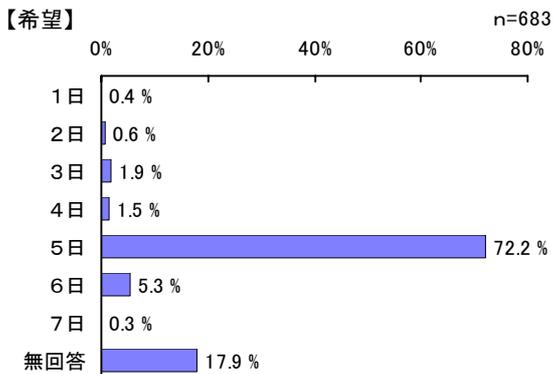
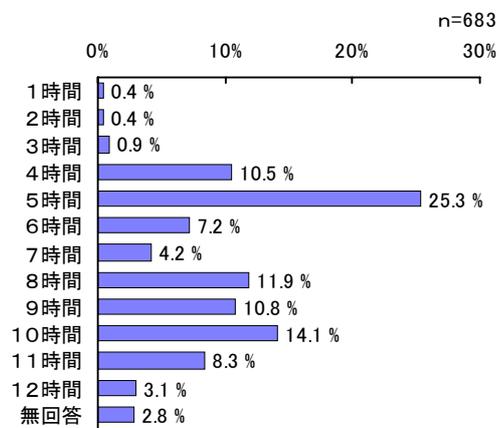
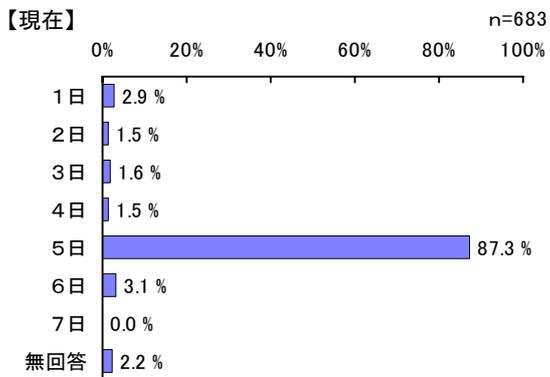
問 14-1 問 14-1～問 14-4 は、問 14 で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園」43.2%、「認可保育所」40.7%が主
なところである。



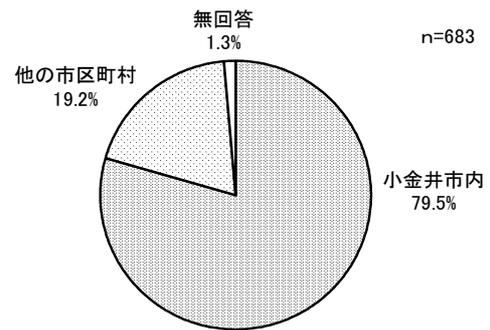
問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

1週当たりの日数と1日当たりの時間についての現在と希望は次の通りである。



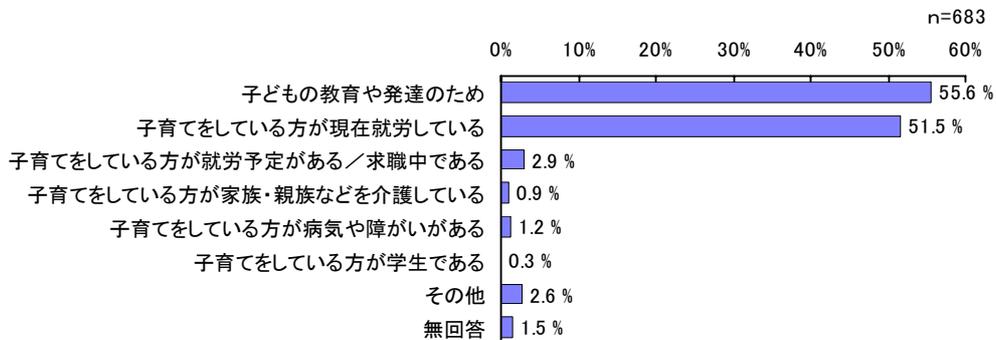
問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「小金井市内」79.5%である。



問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

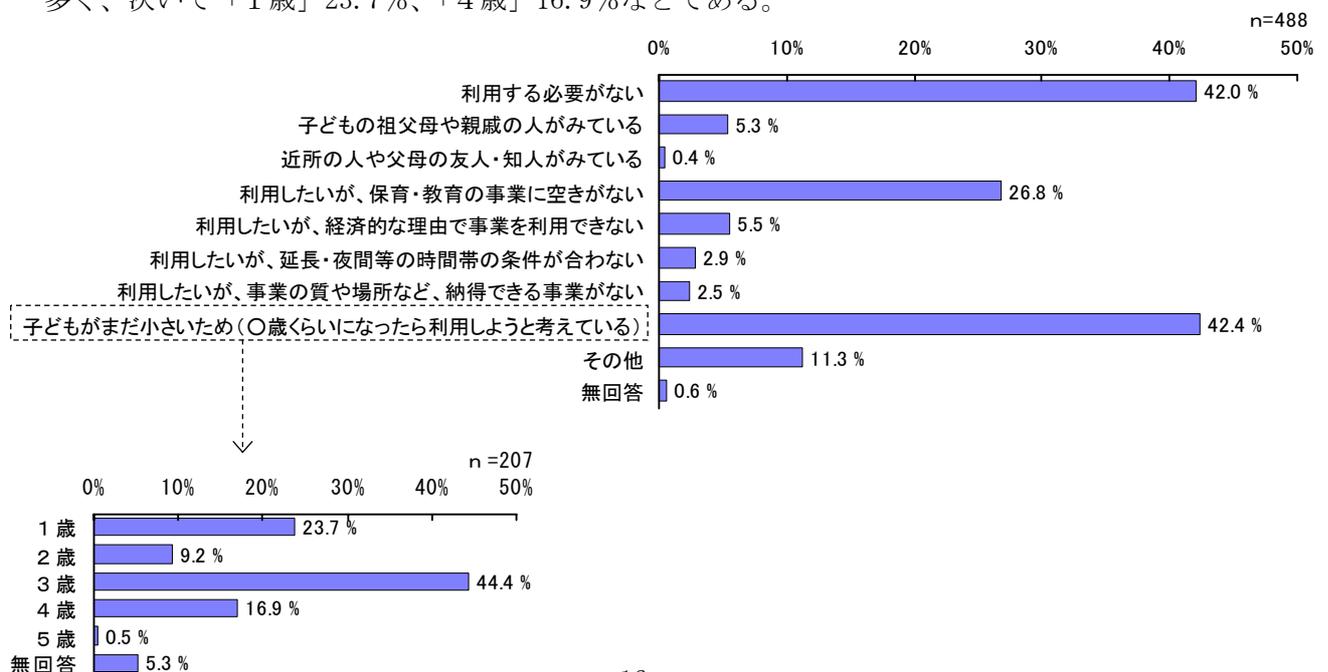
「子どもの教育や発達のため」55.6%が「子育てをしている方が現在就労している」51.5%をやや上回る。



問 14-5 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

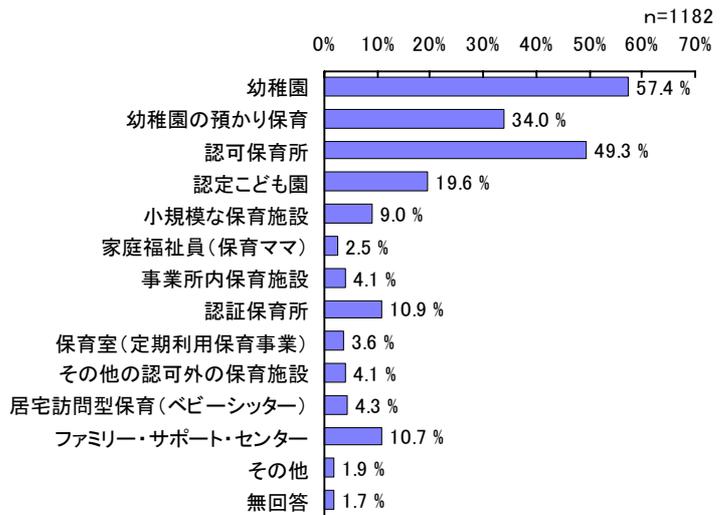
利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため○歳くらいになったら利用しようと考えている」42.4%、「利用する必要がない」42.0%、同程度である。子どもの年齢は、「3歳」44%が最も多く、次いで「1歳」23.7%、「4歳」16.9%などである。



問 15 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの
 平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番
 号すべてに○をつけてください。利用には一定の利用者負担が発生します。

「幼稚園」57.4%、「認可保育所」49.3%、
 「幼稚園の預かり保育」34.0%、「認定こ
 ども園」19.6%などである。



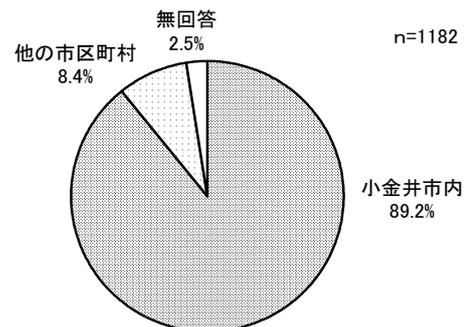
家族類型でみると、「幼稚園」は「専業主婦(夫)家庭」で82.5%があげている。「幼稚園の預かり
 保育」も46.2%と同様である。「認可保育所」は「フルタイム共働き」91.2%、「パートタイム共
 働き」80.0%、「フルタイム・パートタイム共働き」59.2%、「ひとり親家庭」53.6%の順である。

単位: %

		n=	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭福祉員(保育ママ)	事業所内保育施設	認証保育所	保育室(定期利用保育事業)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
家族類型	フルタイム共働き	354	19.8	15.3	91.2	29.4	14.4	5.6	6.2	21.5	5.6	3.4	7.6	12.1	0.8	0.3
	フルタイム・パートタイム共働き	147	48.3	32.7	59.2	28.6	10.9	2.7	4.1	10.2	3.4	6.1	5.4	14.3	0.7	3.4
	専業主婦(夫)家庭	604	82.5	46.2	22.8	12.1	5.3	0.5	3.0	5.1	2.6	4.1	2.2	8.9	2.8	2.0
	ひとり親家庭	28	42.9	14.3	53.6	21.4	21.4	7.1	7.1	3.6	3.6	0.0	3.6	10.7	3.6	3.6
	パートタイム共働き	5	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	その他	1	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

問 15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。いずれかに○をつけてください。

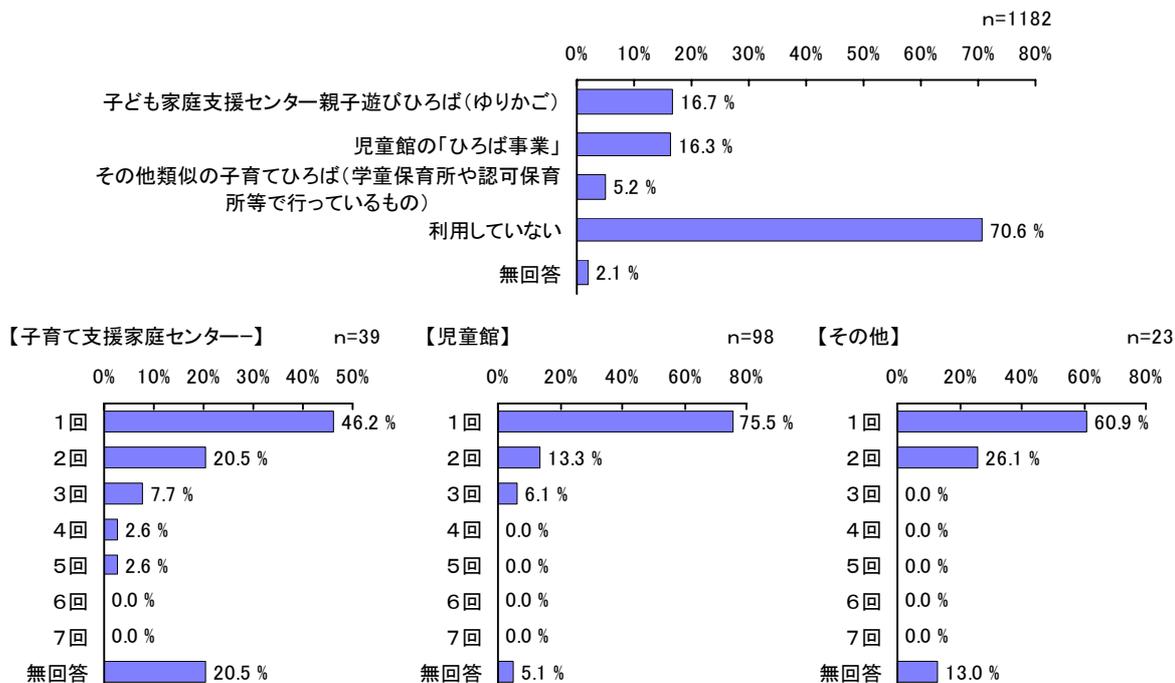
「小金井市内」89.2%である。



(5) 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況

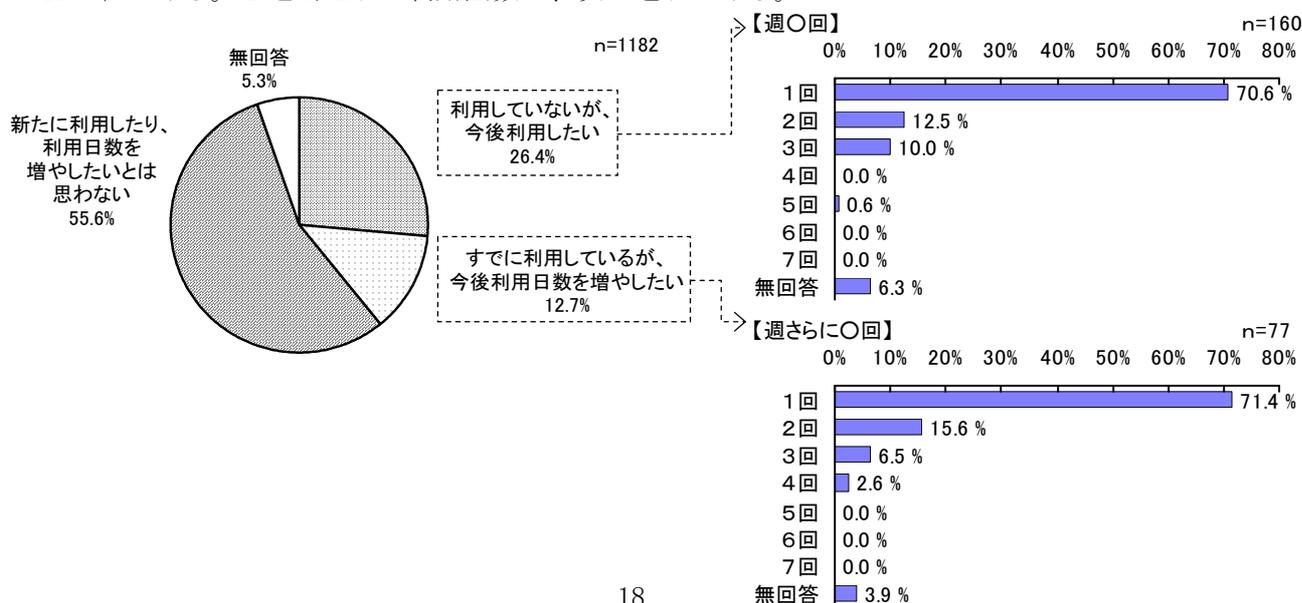
問 16 宛名のお子さんは、現在、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば(ゆりかご)」や、児童館の「ひろば事業」等(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場のことです。)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

「利用していない」が 70.6%と最も多い。利用は、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば」16.7%、「児童館のひろば事業」16.3%などである。1週当たりの利用回数は、次の通りである。



問 17 問 16 のような「子ども家庭支援センター親子遊びひろば(ゆりかご)」や児童館の「ひろば事業」等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」55.6%が最も多い。利用は、「利用していないが、今後利用したい」26.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」12.7%である。1週当たりの利用回数は、次の通りである。



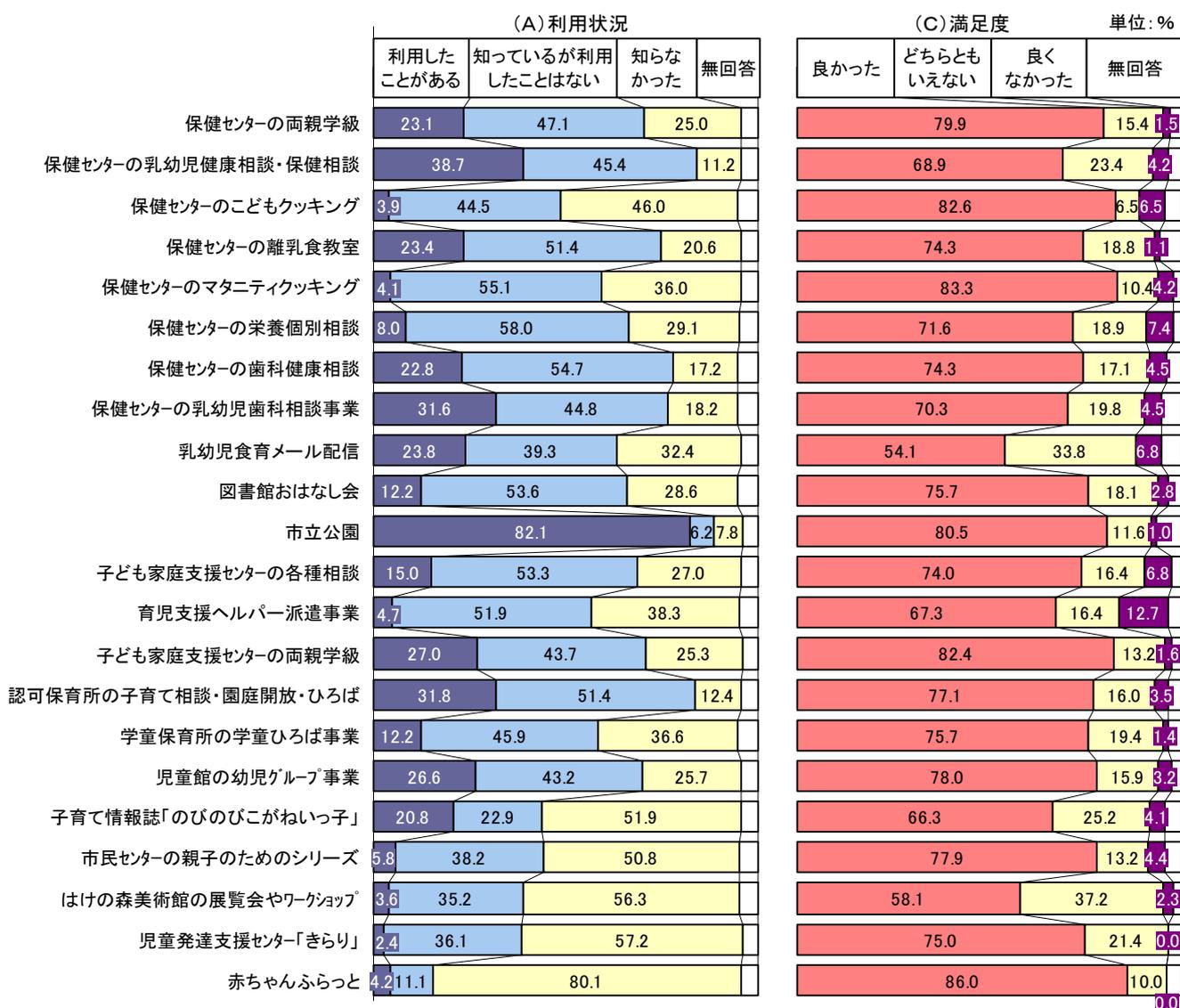
問 18 下記のサービスや事業の(A)利用状況、(B)利用希望、(C)満足度について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。(B)については、「今後利用したい」場合に○をつけてください。(C)については、(A)で「1」に○をつけた方のみお答えください。

利用状況については、「利用したことがある」は市立公園 82.1%が他を大きく引き離している。「保健センターの乳幼児健康相談・保健相談」38.7%、「認可保育所の子育て相談・園庭開放・子育てひろば」31.8%、「保健センターの乳幼児歯科相談事業」31.6%などである。

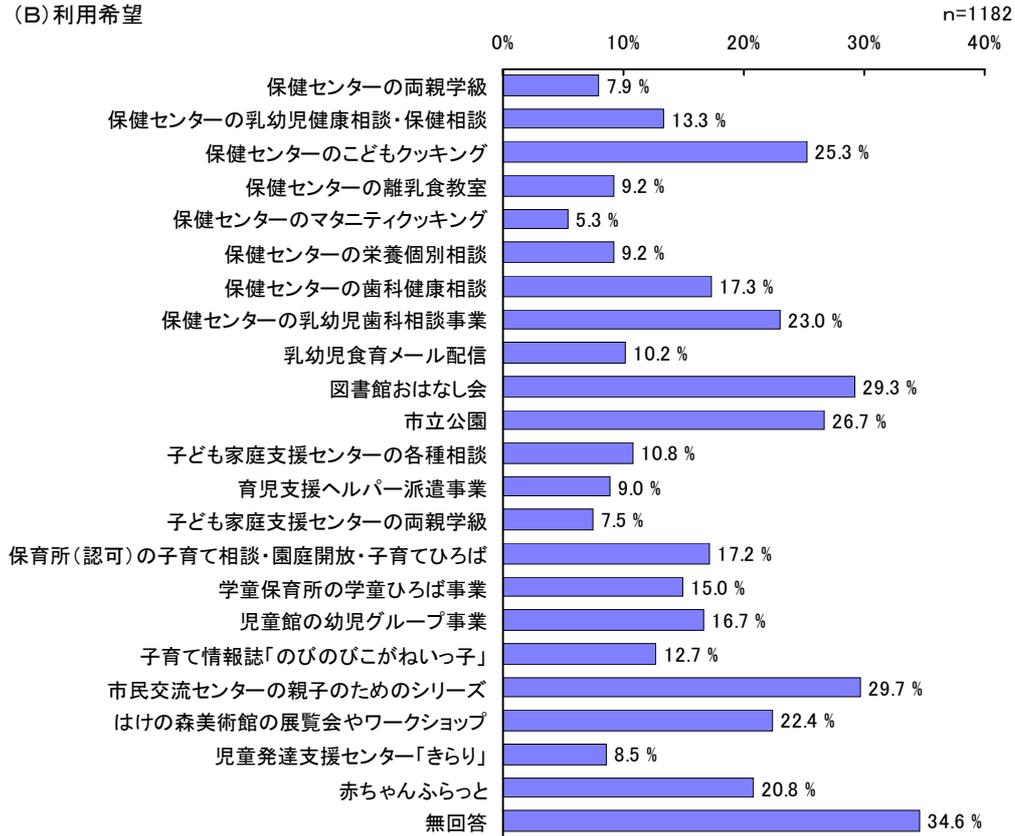
「知らなかった」が最も多いのは、「赤ちゃんふらっと」80.1%、次いで「児童発達支援センターきらり」57.2%、「はけの森美術館の展覧会やワークショップ」56.3%、「子育て情報誌のびのびこがねいっ子」51.9%などである。

満足度は、いずれも「良かった」が過半を占める。「良かった」が最も多いのは「赤ちゃんふらっと」86.0%、次いで「保健センターのマタニティクッキング」83.3%、「保健センターのこどもクッキング」82.6%、「子ども家庭支援センターの両親学級」82.4%などである。

利用希望は、「市民交流センターの親子のためのシリーズ」29.7%、「図書館おはなし会」29.3%、「市立公園」26.7%、「保健センターのこどもクッキング」25.3%、「保健センターの乳幼児歯科相談事業」23.0%などである。



(B) 利用希望



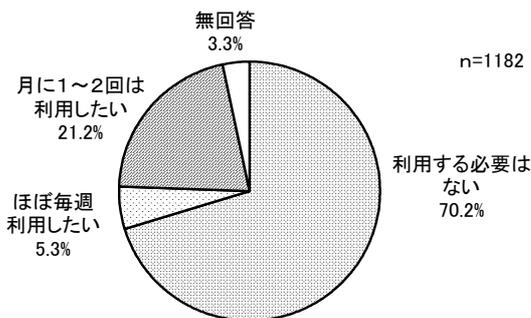
(6) 土・休日・長期休暇中の利用希望

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

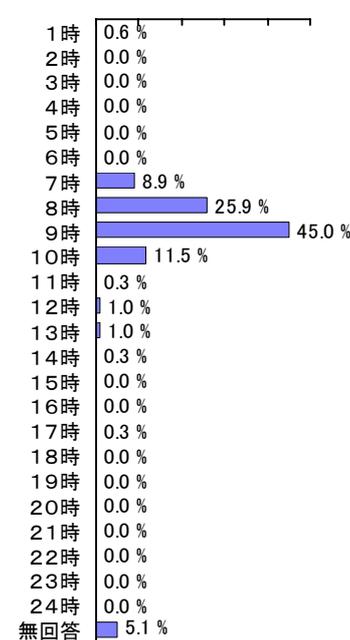
(1) 土曜日

「利用する必要はない」70.2%、「月に1～2回は利用したい」21.2%、「ほぼ毎週利用したい」5.3%である。時間帯は、以下の通りである。



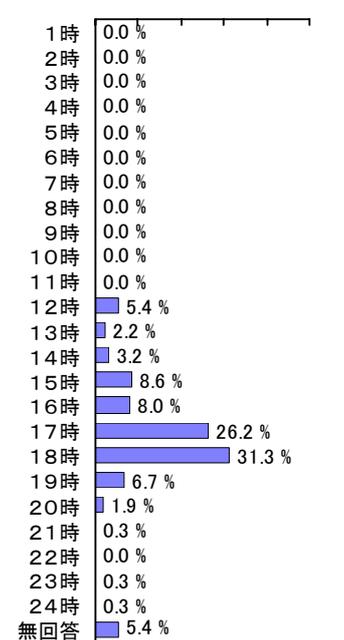
【〇時から】

n=313



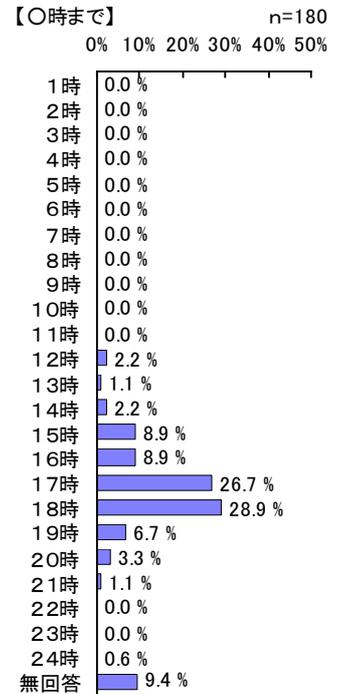
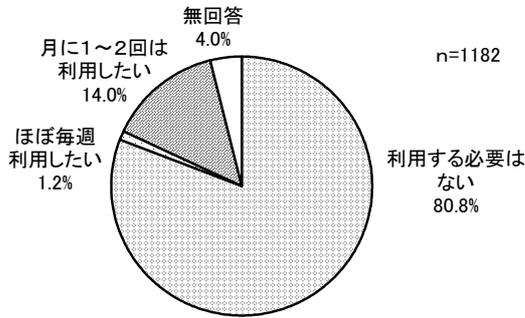
【〇時まで】

n=313



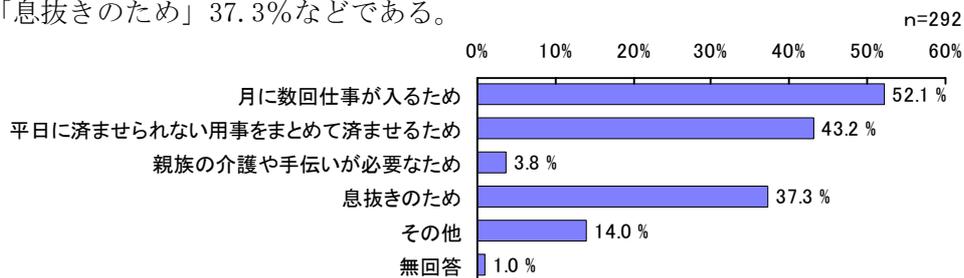
(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」80.8%、「月に1～2回は利用したい」14.0%、「ほぼ毎週利用したい」1.2%である。時間帯は以下の通りである。



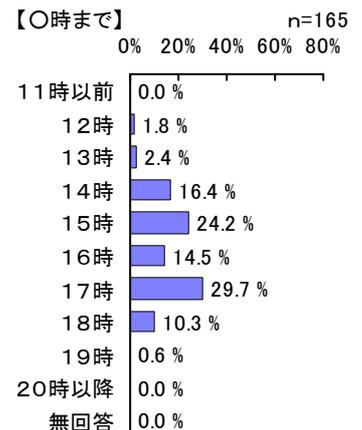
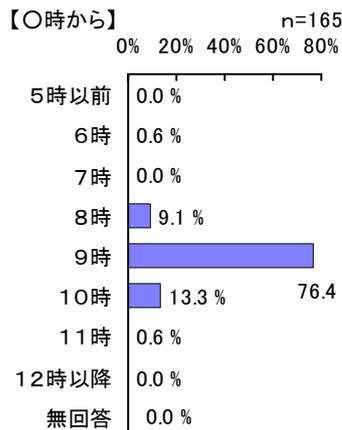
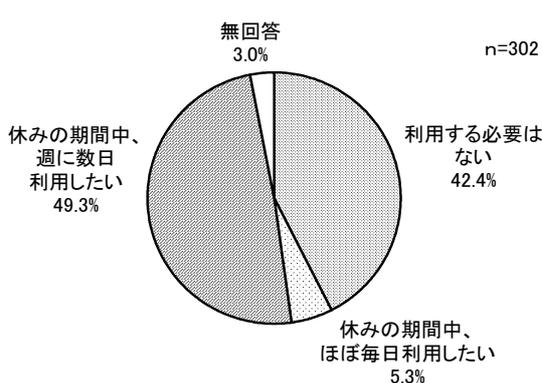
問 19-1 問 19 の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」52.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」43.2%、「息抜きのため」37.3%などである。



問 20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

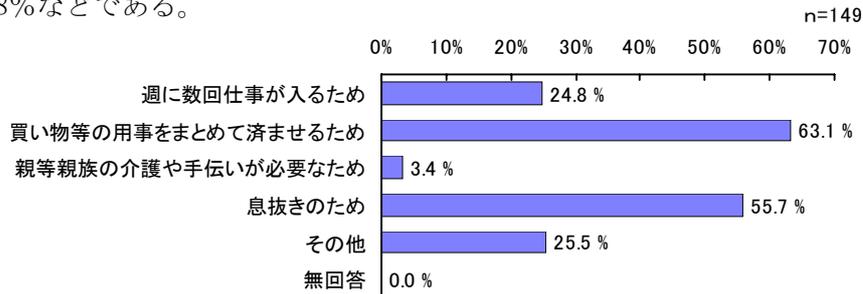
「休みの期間中、週に数日利用したい」49.3%、「利用する必要はない」42.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」5.3%である。時間帯は次の通りである。



問 20-1 問 20 で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」63.1%、「息抜きのため」55.7%、「週に数回仕事が入るため」24.8%などである。



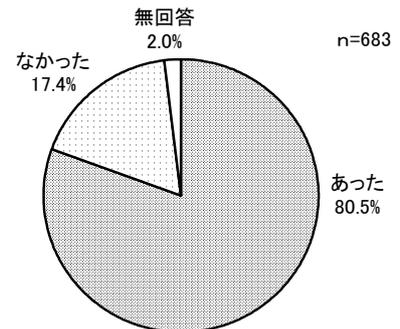
(7) 子どもの病気の際の対応

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 14 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらない方は、問 22 にお進みください。

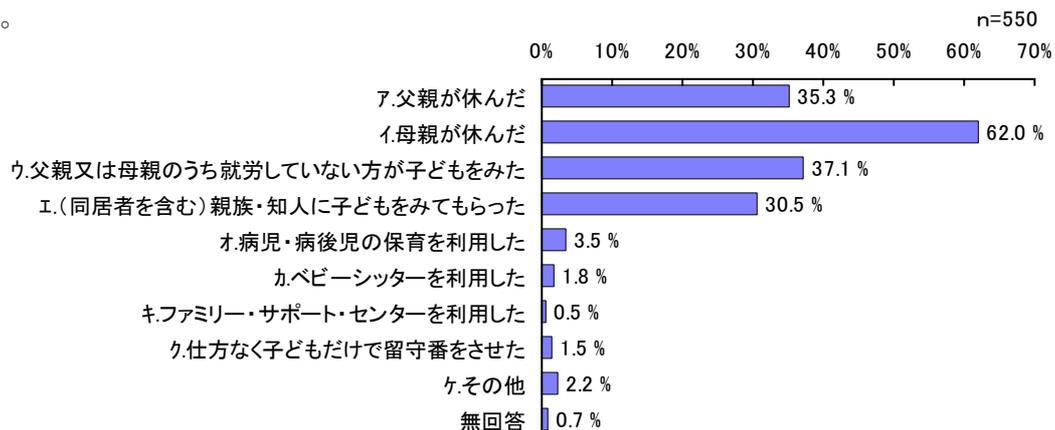
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

教育・保育事業を利用できないことが「あった」80.5%、「なかった」17.4%である。



問 21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

対処方法としては、「母親が休んだ」62.0%、休んだ日数は「10日」「15日」「15～21日」など。次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」37.1%、休んだ日数は「10日」「2日」「5日」など。「父親が休んだ」35.3%、休んだ日数は「1日」「2日」「3日」など。「親族・知人に子どもをみてもらった」30.5%、休んだ日数は「5日」「3日」など。が主なところである。

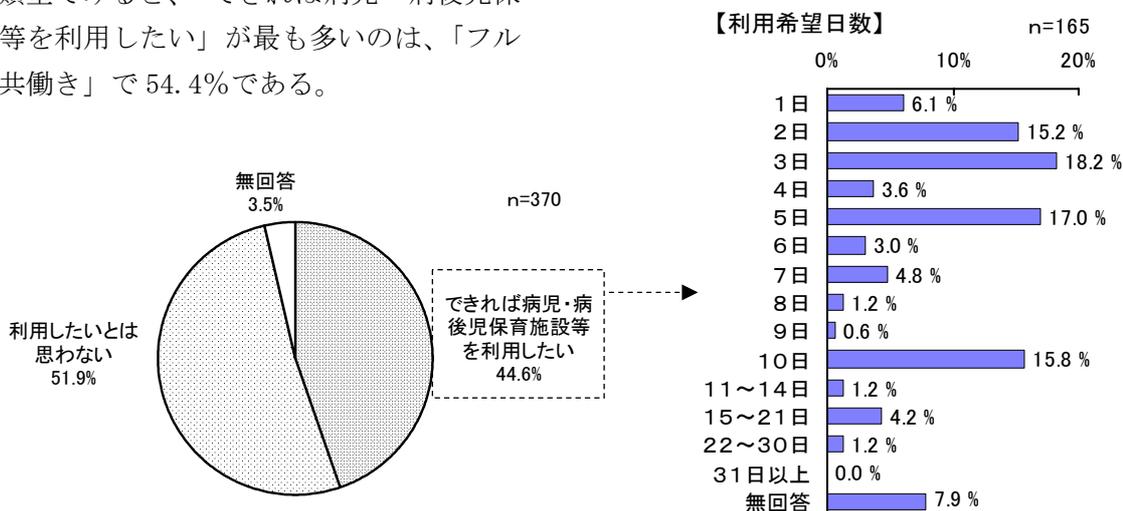


問 21-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

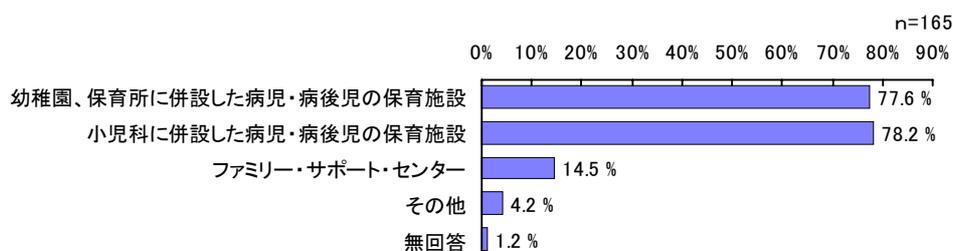
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 44.6%であり、日数は「3日」「5日」「10日」などの順である。「利用したいとは思わない」51.9%がやや上回る。

家族類型でみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が最も多いのは、「フルタイム共働き」で 54.4%である。



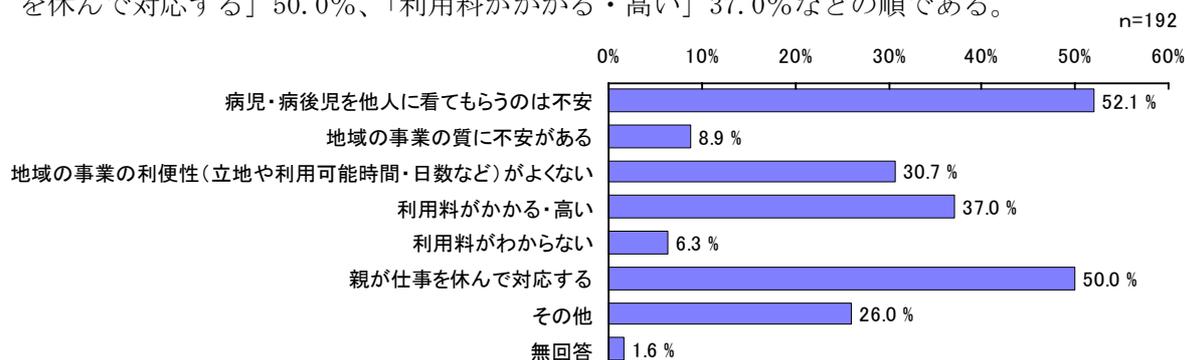
問 21-3 問 21-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用したいときの形態は、「小児科に併設した病児・病後児の保育施設」78.2%と、「幼稚園、保育園に併設した病児・病後児の保育施設」77.6%がほぼ同じである。



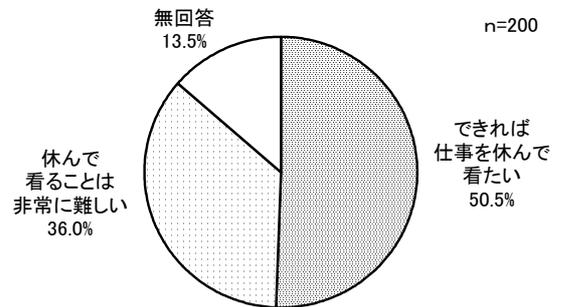
問 21-4 問 21-2 で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」52.1%、「親が仕事を休んで対応する」50.0%、「利用料がかかる・高い」37.0%などの順である。



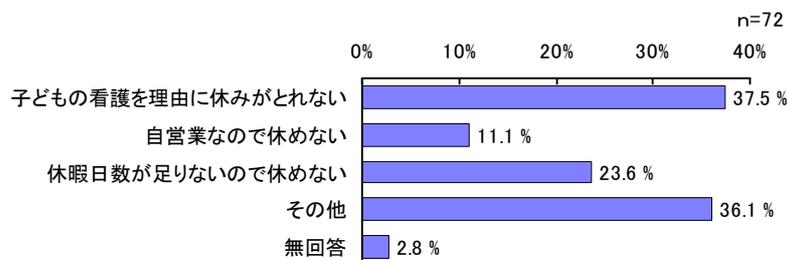
問 21-5 問 21-1 で「エ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

「できれば仕事を休んで看たい」50.5%、日数は「1日」「3日」「5日」などの順である。



問 21-6 問 21-5 で「2.休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」37.5%、「休暇日数が足りないので休めない」23.6%、「自営業なので休めない」11.1%の順である。

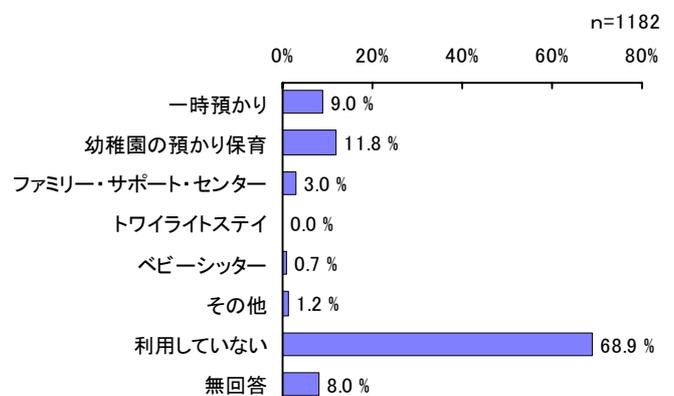


(8) 子どもの一時預かり等の利用

問 22 宛名のお子さんについて、現在、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用(買い物、リフレッシュ等)、親の通院、不規則の就労等の目的で不定期に利用している一時預かり等の事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。

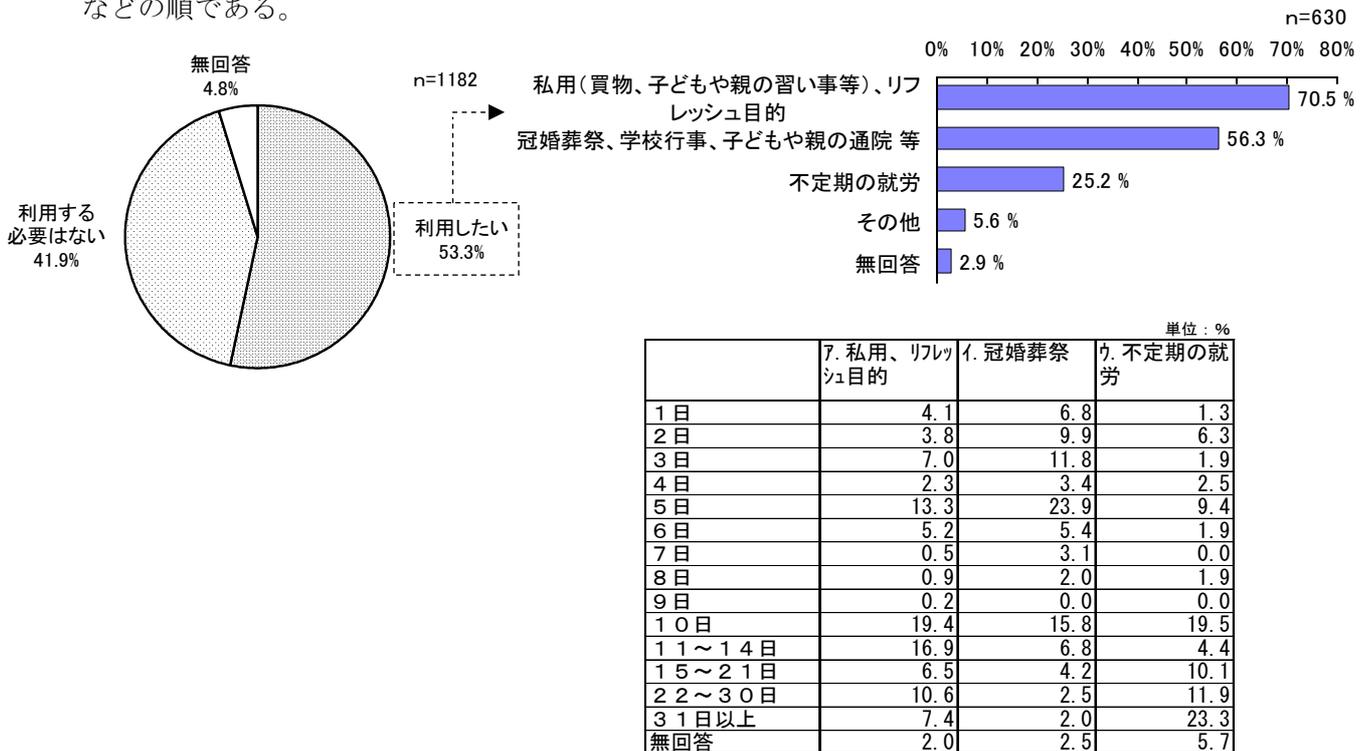
「利用していない」が68.9%である。利用は「幼稚園の預かり保育」11.8%、「一時預かり」9.0%、「ファミリー・サポート・センター」3.0%などである。

「幼稚園の預かり保育」は、「15～21日」「5日」「10日」「3日」など。「一時預かり」は「1日」「10日」「22～30日」などの順である。



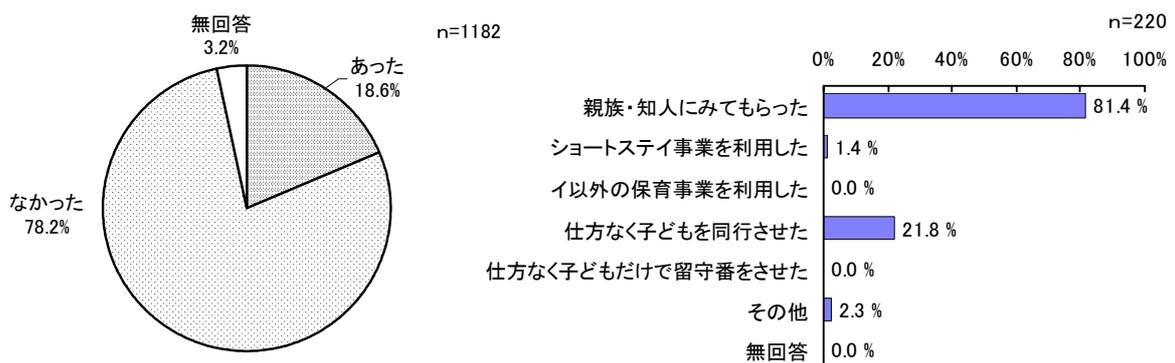
問 23 宛名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

一時預かり等の事業を「利用したい」53.3%、「利用する必要はない」41.9%である。利用目的と日数は「私用、リフレッシュ目的」70.5%、日数は「10日」「11～14日」「5日」などの順であり、次は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」56.3%、日数は「5日」「10日」「3日」などの順である。また、「不定期の就労」は25.2%であり、日数は「31日以上」「10日」「22～30日」などの順である。



問 24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

泊まりがけで家族以外でみてもらったことが「あった」は18.6%である。対処方法と日数は、「親族・知人にみてもらった」が81.4%、日数は「1日」「2日」「3日」などの順である。「仕方なく子どもを同行させた」21.8%、「ショートステイ事業を利用した」1.4%である。

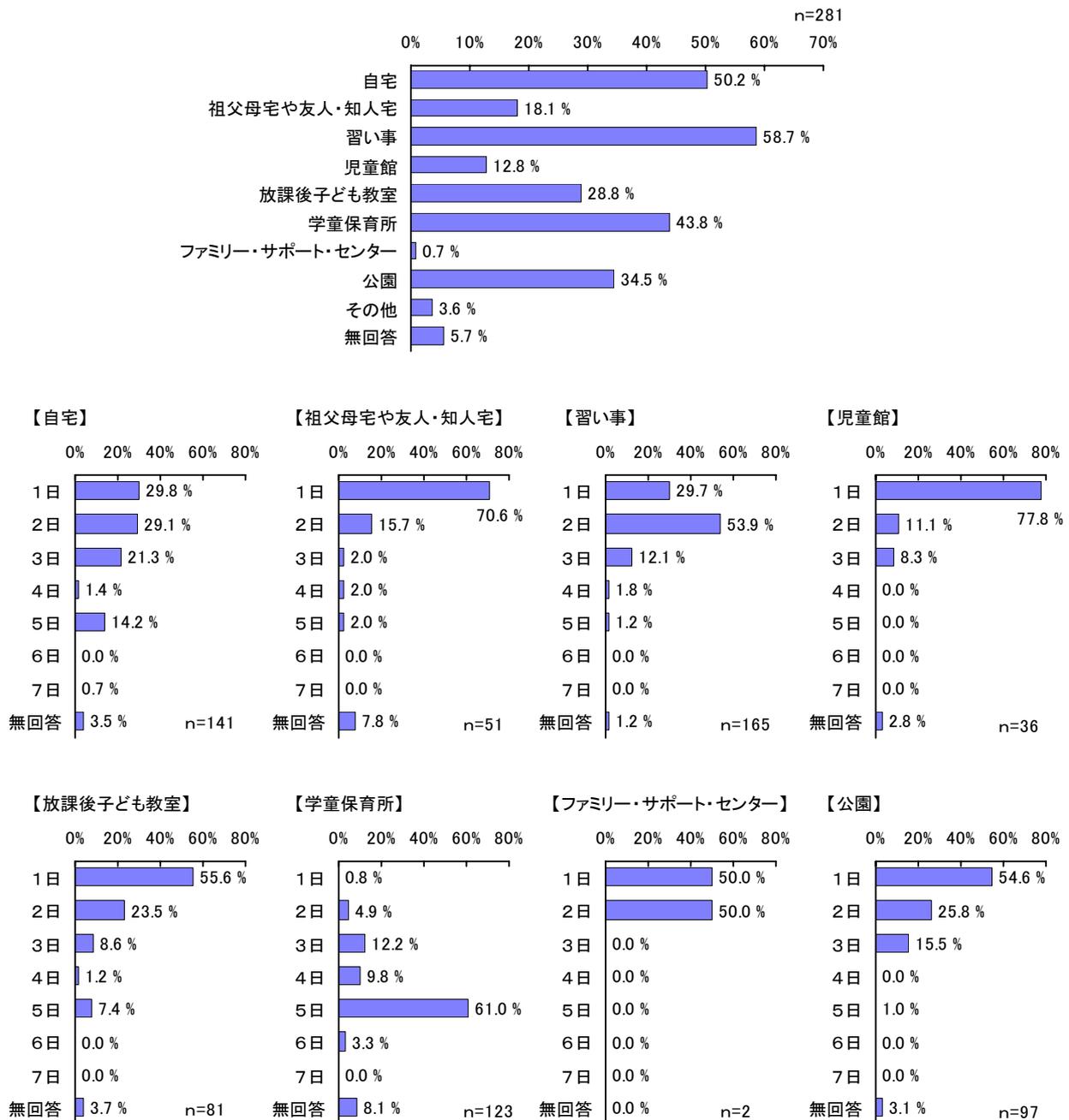


(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方(5歳以上*)

*平成21年3月以前生まれの子ども保護者

問 25 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用を希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

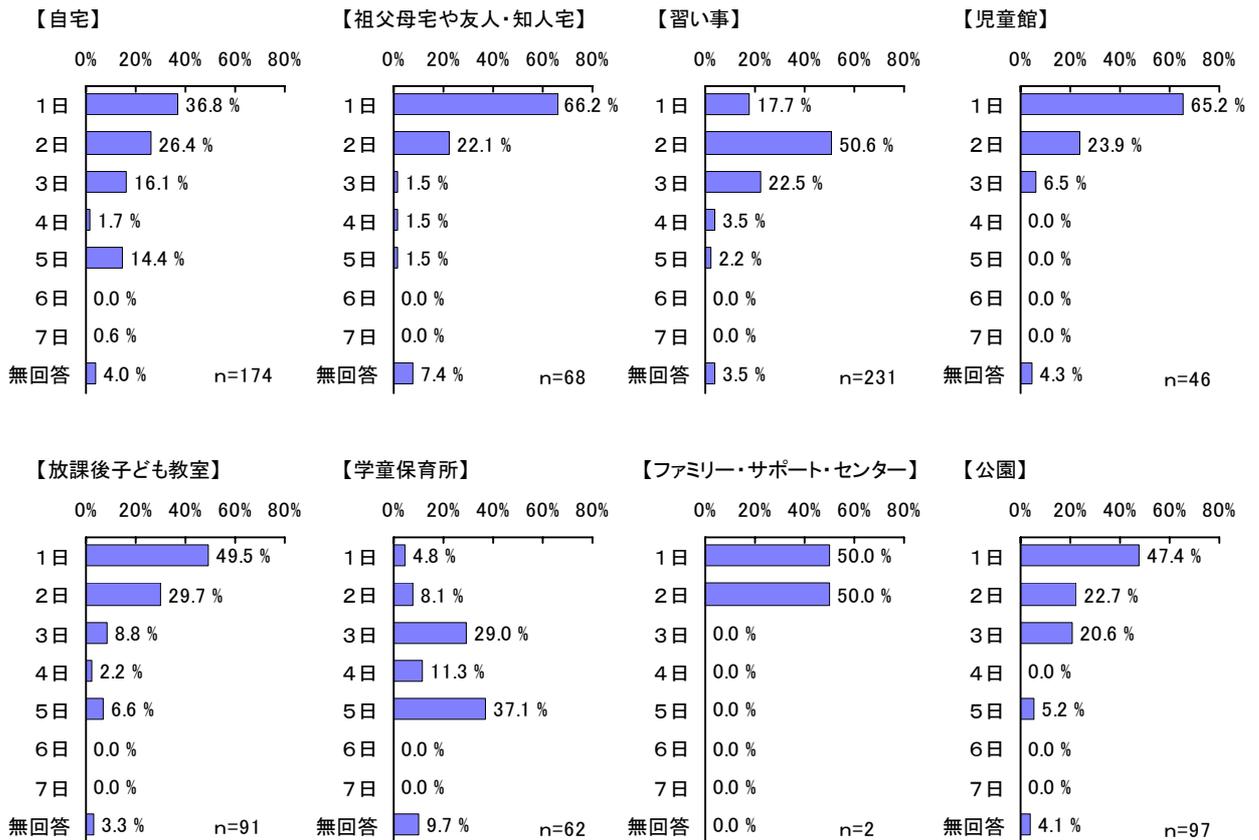
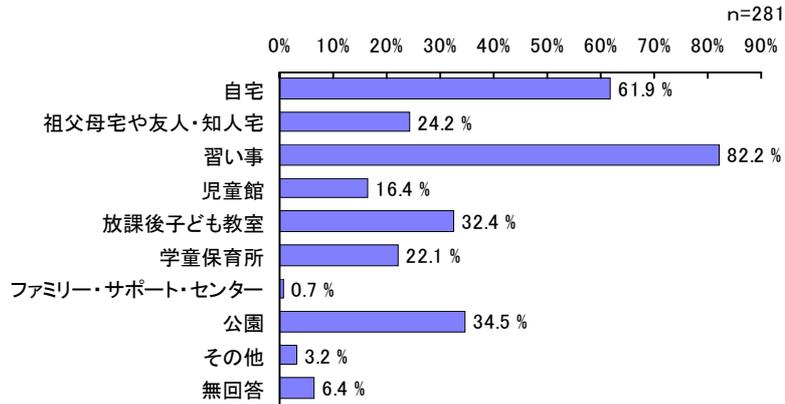
「習い事」58.7%、「自宅」50.2%、「学童保育所」43.8%、「公園」34.5%などである。希望する日数は次の通りであるが、学童保育所の時間は「18時」「17時」「19時」の順である。



家族類型でみると、「学童保育所」は「フルタイム共働き」86.8%、「ひとり親家庭」76.9%の順である。

問 26 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当ではまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「習い事」82.2%、「自宅」61.9%、「公園」34.5%、「放課後子ども教室」32.4%などである。希望する日数は次の通りであるが、学童保育所の時間は「18時」「19時」「17時」の順である。

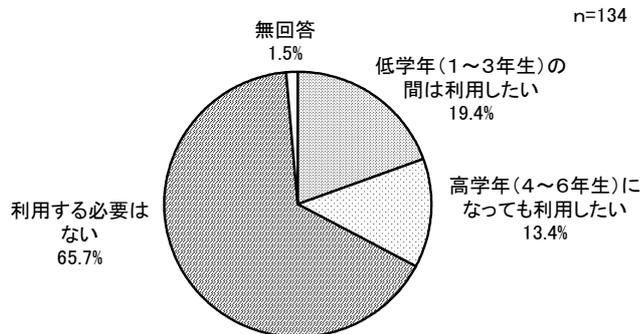


問 27 問 25 または問 26 で「6. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

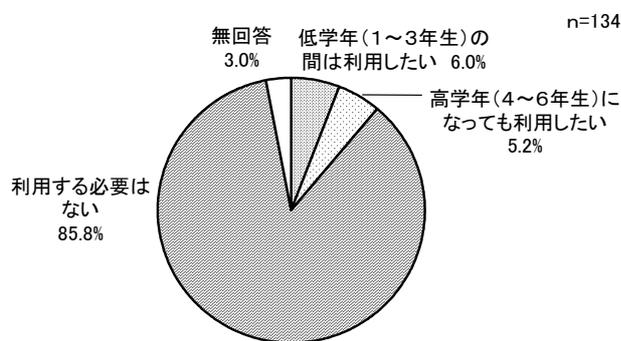
(1) 土曜日

「利用する必要はない」65.7%、利用については「低学年の間は利用したい」19.4%、「高学年になっても利用したい」13.4%である。時間帯は、「8時」「9時」などから「18時」「17時」などまでである。



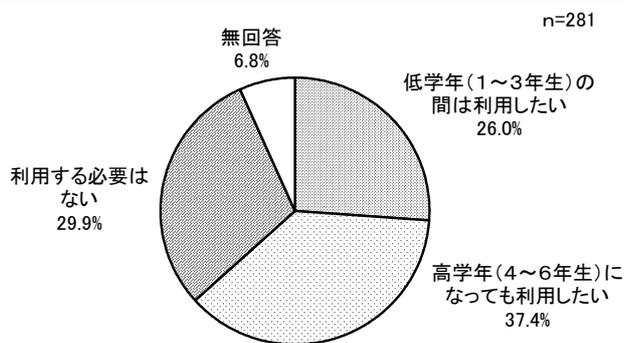
(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」85.8%である。利用については、「低学年の間は利用したい」6.0%、「高学年になっても利用したい」5.2%である。時間帯は「10時」「9時」などから「17時」「18時」などまでである。



問 28 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のみの学童保育所の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内にご記入ください。

「高学年になっても利用したい」37.4%、「低学年の間は利用したい」26.0%である。また、「利用する必要はない」は29.9%である。時間帯は、「9時」「8時」などから「18時」「17時」などまでである。



家族類型でみると、「高学年になっても利用したい」が「低学年の間は利用したい」を上回るのは「フルタイム共働き」の各47.1%、41.2%、「フルタイム・パートタイム共働き」の各51.1%、29.8%、「専業主婦(夫)家庭」の各29.0%、17.2%である。

家族類型	n=	単位:%			
		低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
フルタイム共働き	68	41.2	47.1	4.4	7.4
フルタイム・パートタイム共働き	47	29.8	51.1	17.0	2.1
専業主婦(夫)家庭	145	17.2	29.0	46.2	7.6
ひとり親家庭	13	38.5	30.8	15.4	15.4
パートタイム共働き	1	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0

(10) 職場の両立支援制度

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

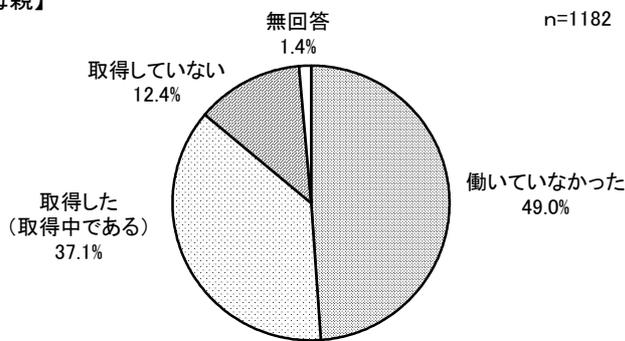
母親は「取得した」37.1%、「取得していない」12.4%、「働いていなかった」49.0%である。

取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」52.4%と過半数である。次いで「職場に育児休業の制度がなかった」15.6%、「仕事に戻るのが難しそうだった」12.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」11.6%などである。

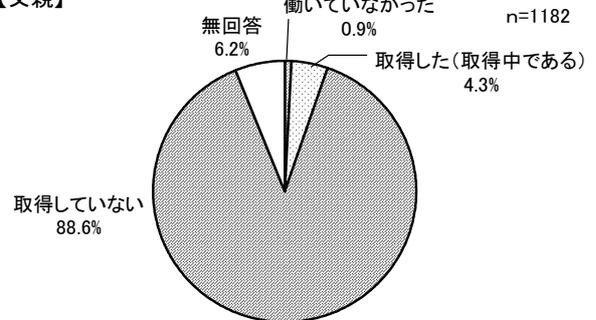
父親は「取得した」4.3%、「取得していない」88.6%、「働いていなかった」0.9%である。

取得していない理由は、「仕事が忙しかった」43.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」36.4%、「制度を利用する必要がなかった」32.0%などである。

【母親】

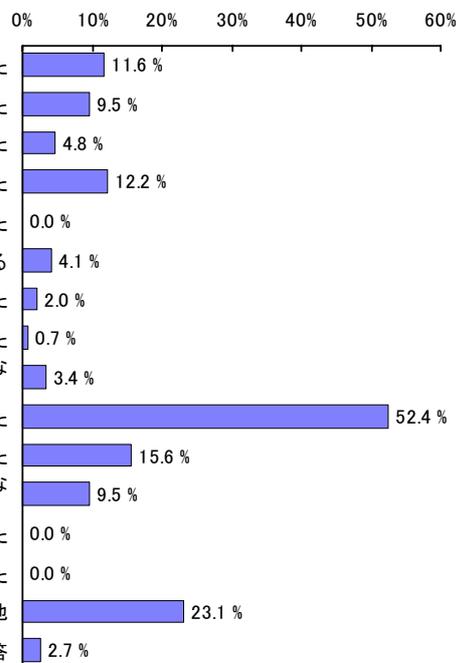


【父親】



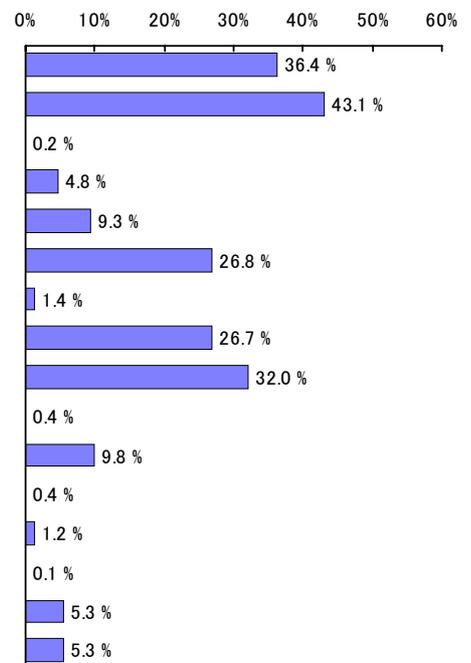
【母親】

n=147



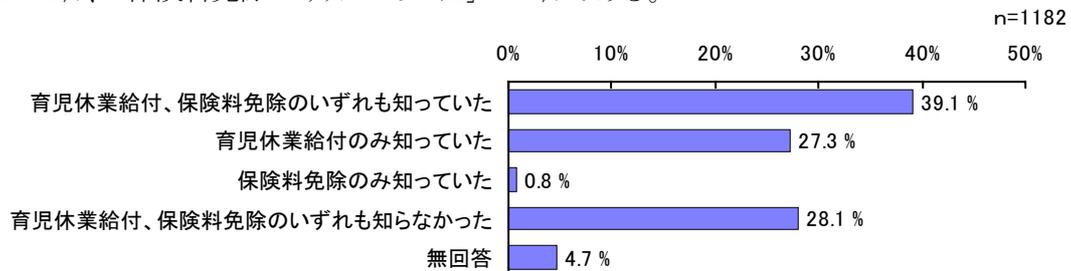
【父親】

n=1047



問 29-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いずれも知っていた」39.1%、「いずれも知らなかった」28.1%、「育児休業給付のみ知っていた」27.3%、「保険料免除のみ知っていた」0.8%である。

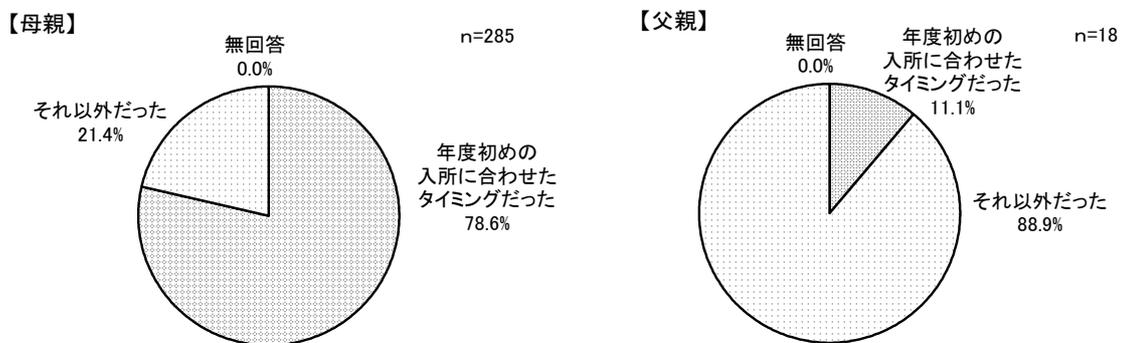


育児休業取得後、職場に復帰した方にうかがいます。

問 29-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親と父親のそれぞれについて、どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

育児休業から職場に復帰したタイミングは母親の「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」78.6%に対し、父親は「それ以外だった」が88.9%である。



問 29-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、希望時期に職場復帰できる環境が整っていた場合、何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。なお、「希望」欄には、お勤め先に、育児のため3歳まで休暇取得できる制度があった場合を想定してご記入ください。

母親と父親の職場復帰の実際と希望は次の通りである。

(1) 母親

n=285

順位	実 際		希 望	
①	7～12ヶ月	41.8%	7～12ヶ月	27.0%
②	13～18ヶ月	29.1%	13～18ヶ月	25.3%
③	0～6ヶ月	14.7%	31～36ヶ月	22.5%

(2) 父親

n=18

順位	実 際	希 望
①	0～6ヶ月 83.3%	0～6ヶ月 38.9%
②	(無回答)	7～12ヶ月 27.8%

問 29-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

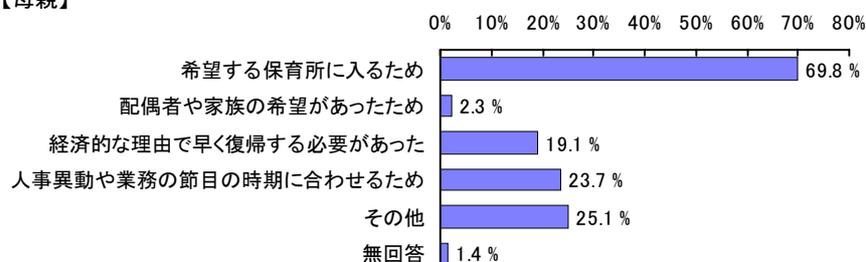
問 29-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親は、「希望する保育所に入るため」69.8%、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」23.7%などである。

父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」62.5%などである。

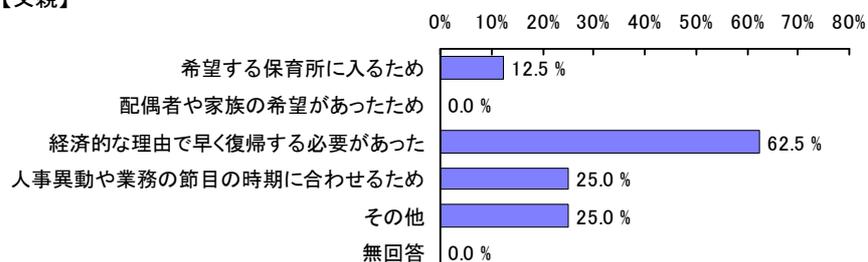
【母親】

n=215



【父親】

n=8



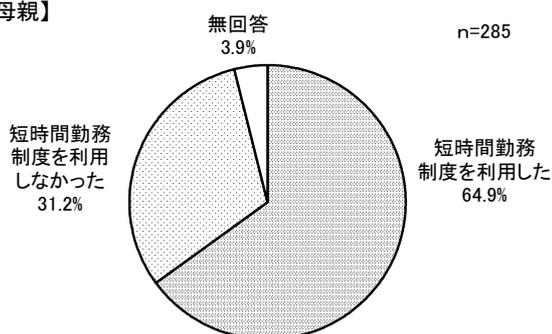
育児休業取得後、職場に復帰した方にうかがいます。

問 29-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「短時間勤務制度を利用した」は母親64.9%、父親11.1%である。

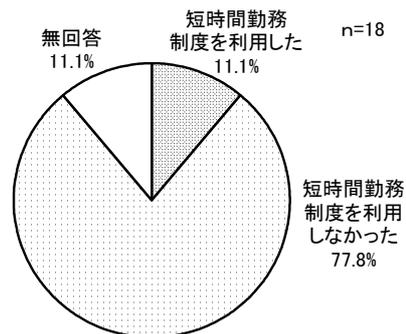
【母親】

n=285



【父親】

n=18



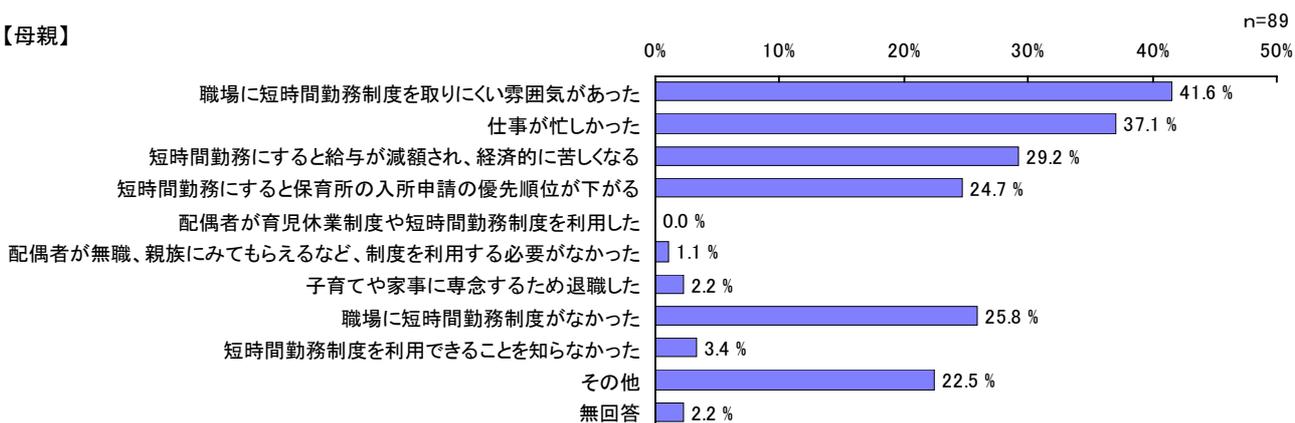
問 29-5 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 29-6 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

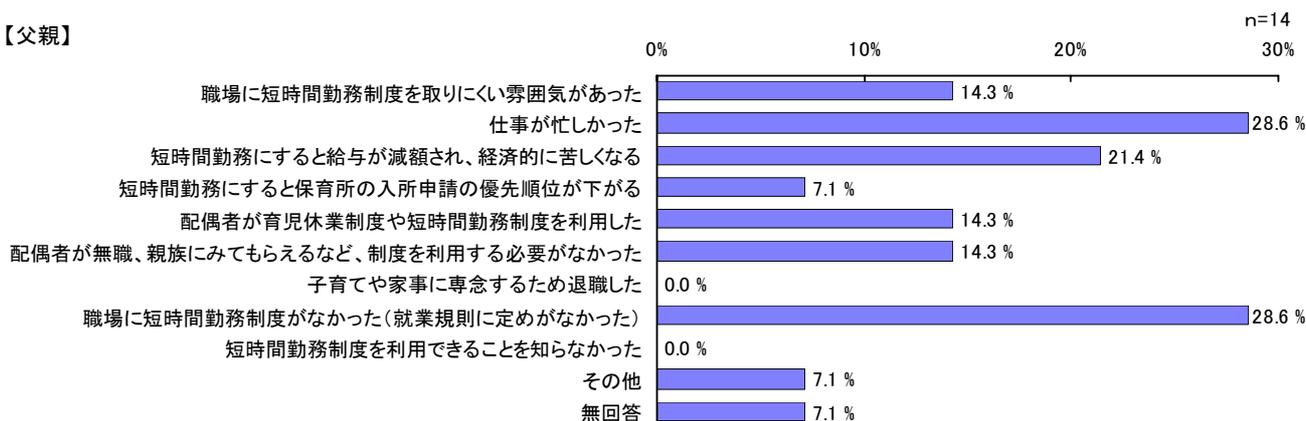
利用しなかった理由として、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」41.6%、「仕事が忙しかった」37.1%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」29.2%、「職場に短時間勤務制度がなかった」25.8%などである。

父親は、「仕事が忙しかった」、「職場に短時間勤務制度がなかった」ともに28.6%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」21.4%などである。

【母親】



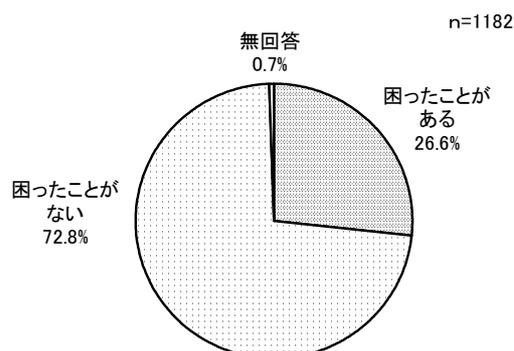
【父親】



(11) 子どものけがや病気

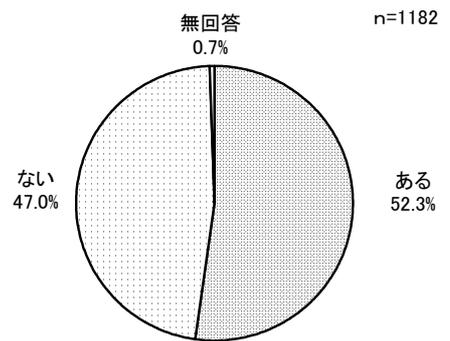
問 30 宛名のお子さんが高熱を出すなど急病の時に、すぐに診てくれる医療機関がみつからず困ったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「困ったことがある」26.6%、「困ったことがない」72.8%である。



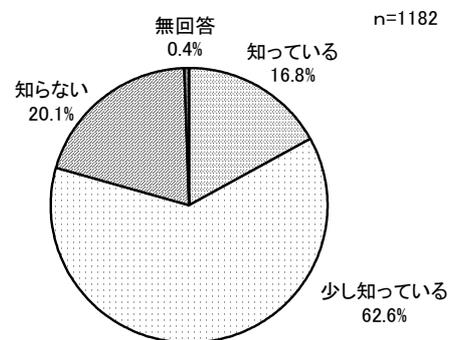
問 31 宛名のお子さんは、これまでに怪我や事故で医者にかかったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」52.3%、「ない」47.0%である。



問 32 心肺蘇生法を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

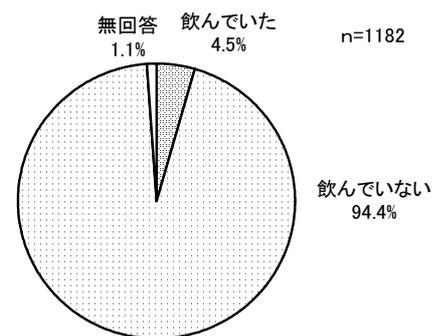
「少し知っている」62.6%、「知っている」16.8%である。これに対し、「知らない」は20.1%である。



(12) 飲酒・喫煙

問 33 妊婦中にお酒を飲んでいましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

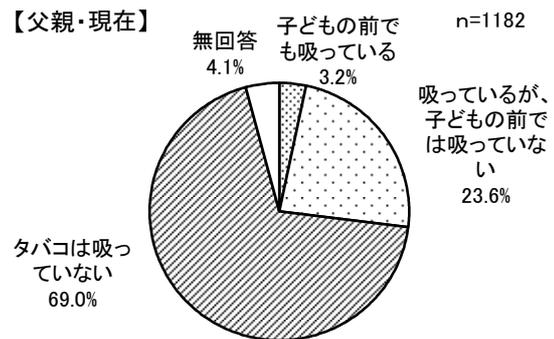
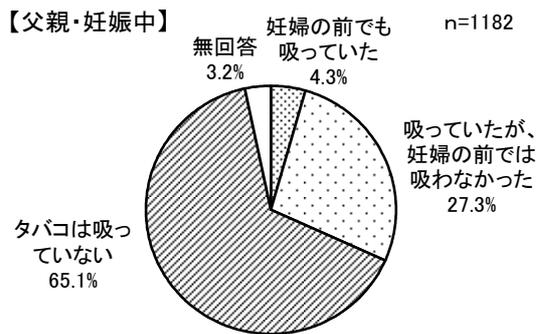
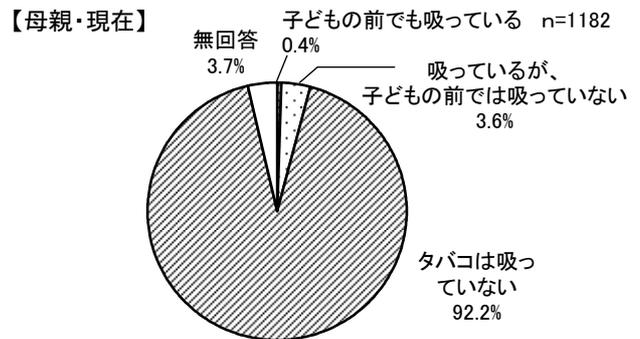
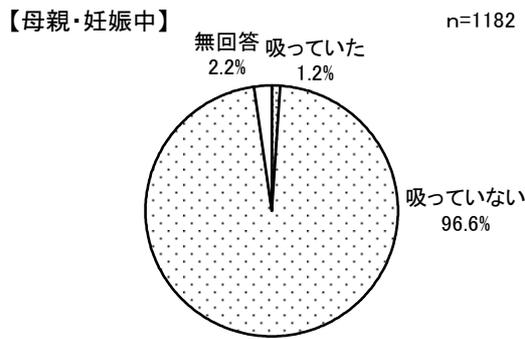
「飲んでいない」が94.4%と大半であるが、「飲んでいた」4.5%である。



問 34 妊娠中及び現在、タバコを吸っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親で妊娠中、タバコを「吸っていた」のは1.2%である。現在は「子どもの前でも吸っている」0.4%、「吸っているが、子どもの前では吸っていない」3.6%、「タバコは吸っていない」92.2%である。

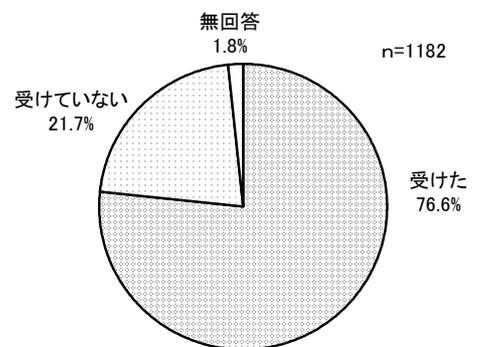
父親は、「妊婦の前でも吸っていた」4.3%、「吸っていたが、妊婦の前では吸わなかった」27.3%である。現在は、「子どもの前でも吸っている」3.2%、「吸っているが、子どもの前では吸っていない」23.6%、「タバコは吸っていない」69.0%である。



(13) 新生児訪問・乳幼児健康診査

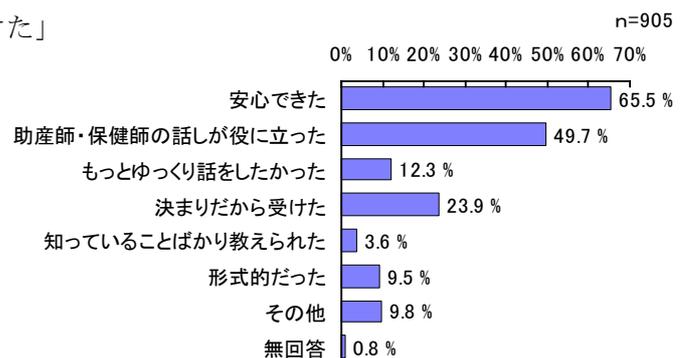
問 35 新生児訪問を受けましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「受けた」76.6%、「受けていない」21.7%である。



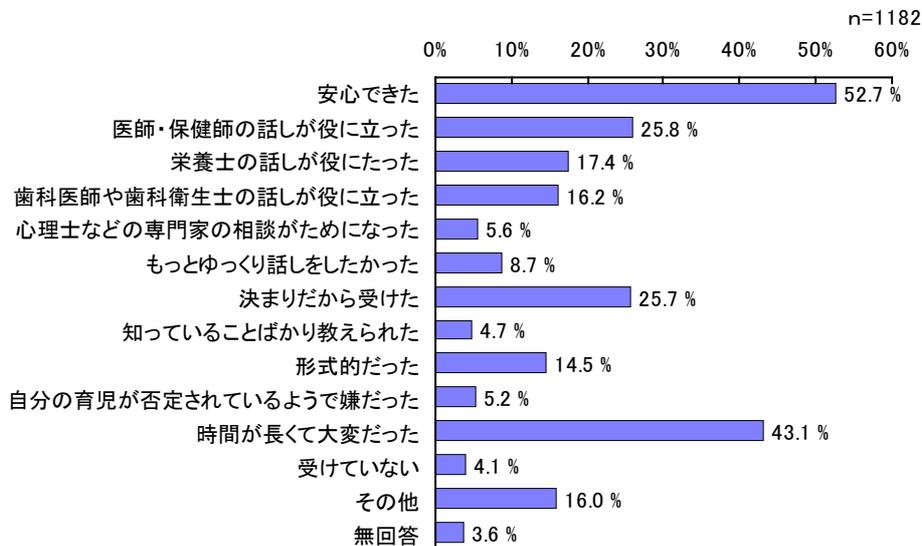
問 35-1 新生児訪問を受けて、どう思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「安心できた」65.5%、「助産師・保健師の話が役に立った」49.7%、「決まりだから受けた」23.9%などである。



問 36 乳幼児健康診査(3-4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診)について、どう思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

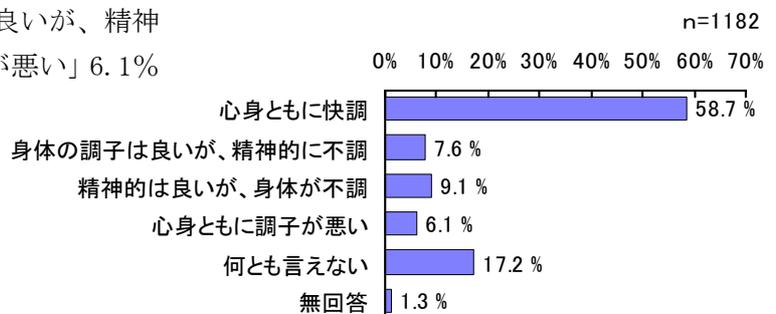
「安心できた」52.7%、「時間が長くて大変だった」43.1%、「医師・保健師の話が役に立った」25.8%、「決まりだから受けた」25.7%などである。



(14) 子育て全般

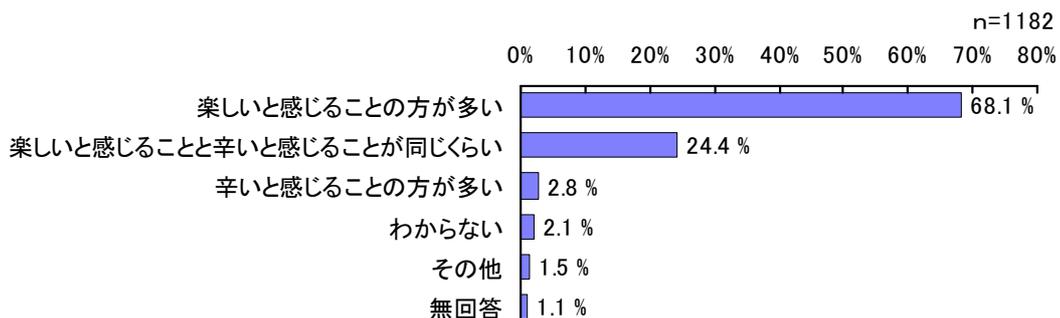
問 37 子育てに日常的に関わっている方の気持ちや身体の調子はいかがですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「心身ともに快調」58.7%、「精神的は良いが、身体が不調」9.1%、「身体の調子は良いが、精神的に不調」7.6%、「心身ともに調子が悪い」6.1%などである。



問 38 子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」68.1%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」24.4%、「辛いと感じることの方が多い」2.8%である。



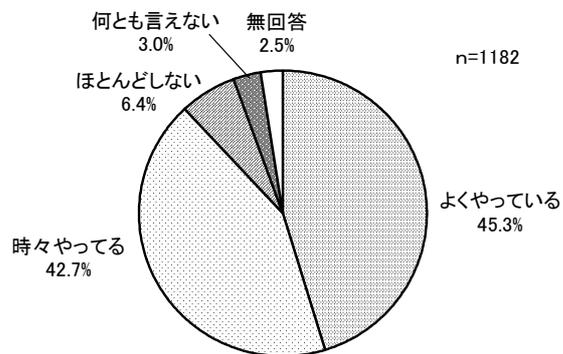
家族類型でみると、「楽しいと感じることの方が多い」は、「フルタイム共働き」が73.4%と最も多く、次いで「専業主婦(夫)家庭」の66.7%、「ひとり親家庭」の64.3%、「フルタイム・パートタイム共働き」の61.2%などである。

単位:%

		n=	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	辛いと感じることの方が多い	わからない	その他	無回答
家族類型	フルタイム共働き	354	73.4	18.9	2.3	2.5	1.4	1.4
	フルタイム・パートタイム共働き	147	61.2	29.9	4.1	2.0	2.0	0.7
	専業主婦(夫)家庭	604	66.7	26.3	3.0	1.8	1.5	0.7
	ひとり親家庭	28	64.3	32.1	0.0	0.0	0.0	3.6
	パートタイム共働き	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

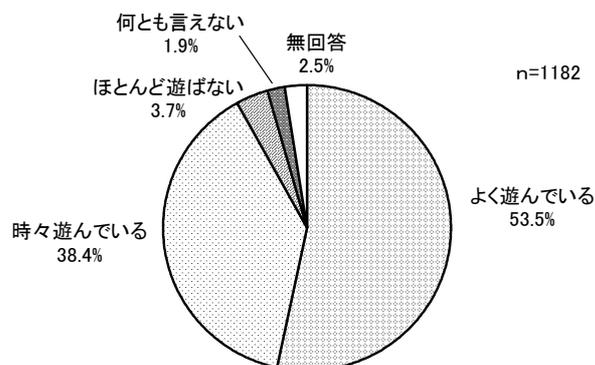
問 39 父親は育児をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「よくやっている」45.3%、「時々やっている」42.7%、「ほとんどしない」6.4%などである。



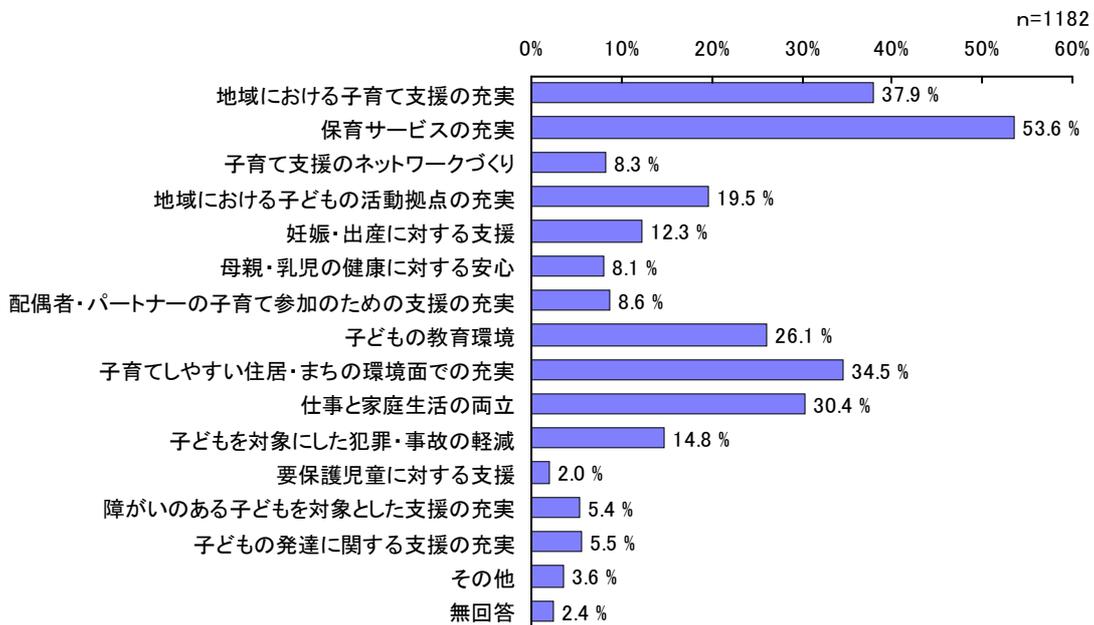
問 40 父親はお子さんとよく遊んでいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「よく遊んでいる」53.5%、「時々遊んでいる」38.4%、「ほとんど遊ばない」3.7%などである。



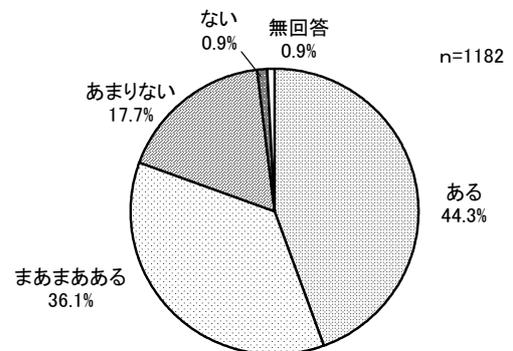
問 41 あなたは、子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

「保育サービスの充実」53.6%、次いで「地域における子育て支援の充実」37.9%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」34.5%、「仕事と家庭生活の両立」30.4%などである。



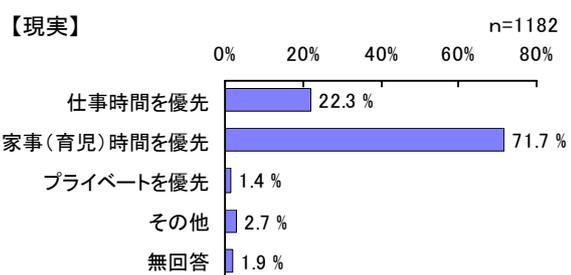
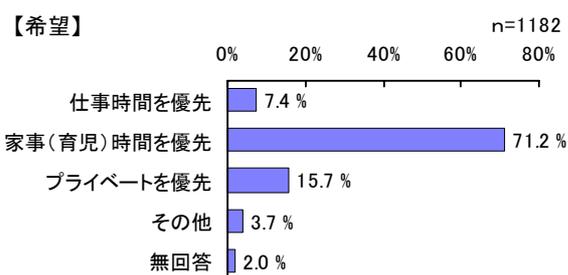
問 42 お子さんとゆったりと過ごせる時間がありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」44.3%、「まあまあある」36.1%、「あまりない」17.7%、「ない」0.9%である。



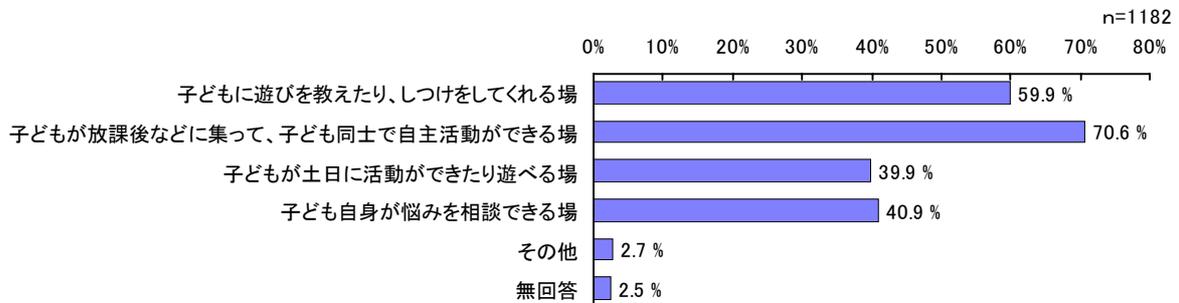
問 43 あなたの生活の中で、最も優先するものは次のうちどれですか。(1)希望と(2)現実それぞれについて1つずつ選んで番号をご記入ください。

希望と現実では「プライベート」を削って「仕事時間を優先」していることがわかる。



問 44 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

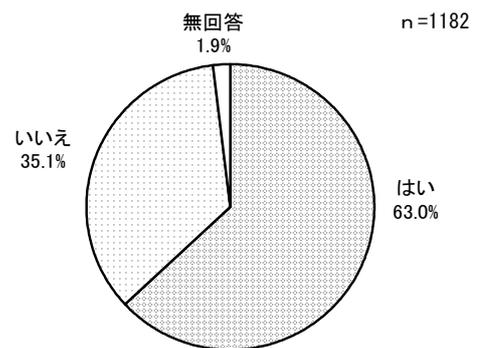
「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動ができる場」70.6%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」59.9%、「子ども自身が悩みを相談できる場」40.9%、「子どもが土日に活動できたり遊べる場」39.9%である。



問 45 児童虐待に関する下記の設問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

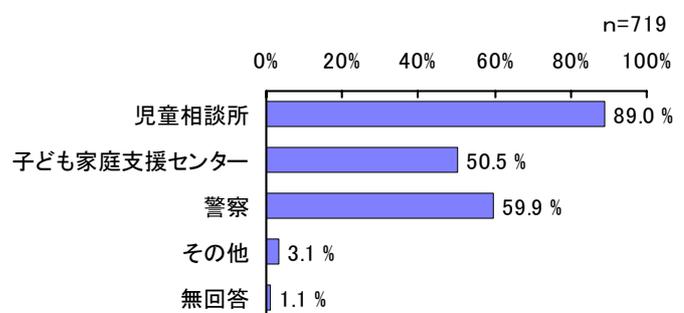
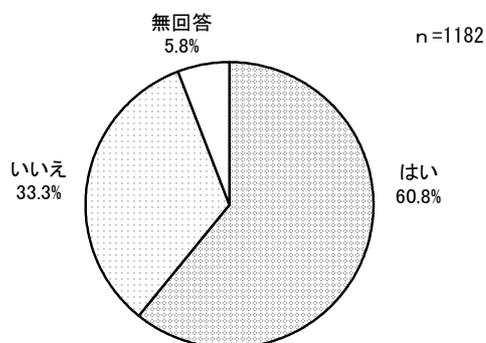
(1)「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)をご存じですか。

「はい」63.0%、「いいえ」35.1%である。



(2)児童虐待を発見した場合の通報先をご存じですか。

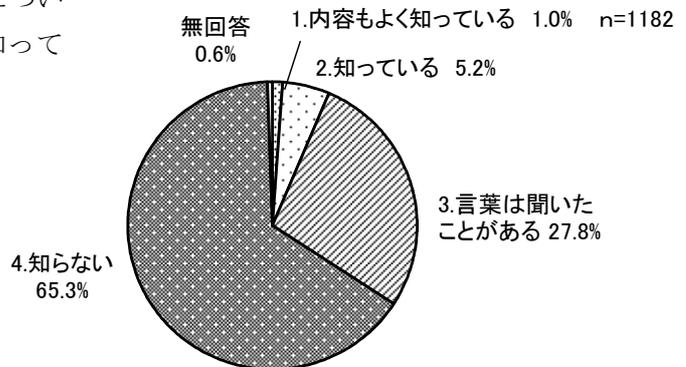
「はい」60.8%、「いいえ」33.3%である。通報先は「児童相談所」89.0%、「警察」59.9%、「子ども家庭支援センター」50.5%である。



(15) 小金井市子どもの権利に関する条例関連

問 46 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

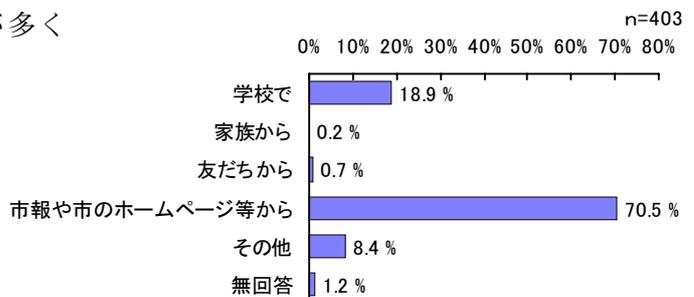
「知らない」65.3%である。知っているについては、「内容もよく知っている」1.0%、「知っている」5.2%である。



問 46-1 問 46 で「1」～「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。

「小金井市子どもの権利に関する条例」をどこで知りましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

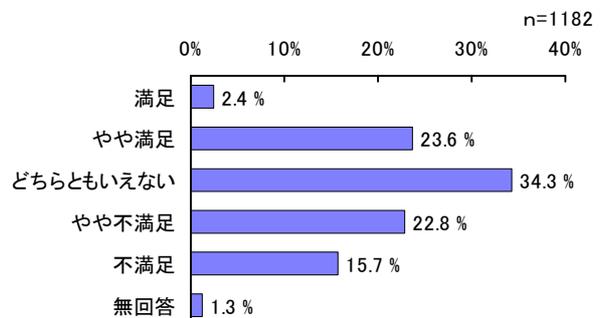
「市報や市のホームページ等から」が多く70.5%、次いで「学校で」18.9%である。



(16) 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般

問 47 小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「満足」2.4%、「やや満足」23.6%、合わせた『満足』は26.0%に対し、「不満足」15.7%、「やや不満足」22.8%、合わせた『不満足』は38.5%である。

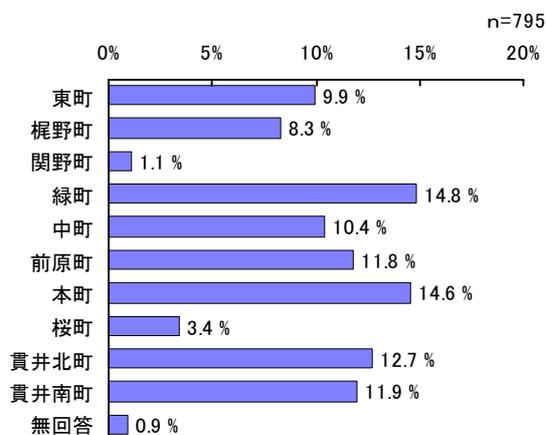


2 就学児童調査

(1) 子どもと家族の状況

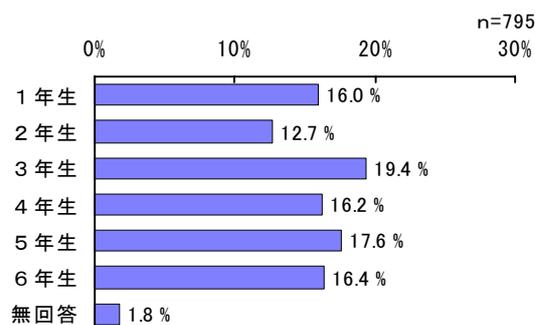
問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

「緑町」14.8%、「本町」14.6%、「貫井北町」12.7%、「貫井南町」11.9%、「前原町」11.8%などである。



問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

「3年生」が19.4%と最も多く、次いで「5年生」17.6%、「6年生」16.4%、「4年生」16.2%、「1年生」16.0%などである。
(各歳平成25年4月現在の年齢とした。)

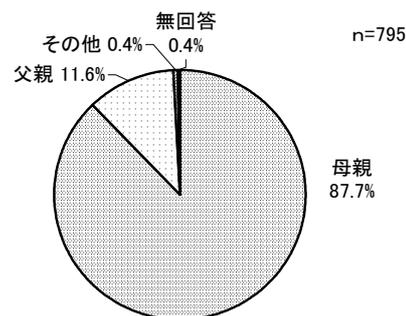


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだいは「2人」54.8%、「1人」22.3%、「3人」18.7%などである。末子の年齢は「9歳」13.0%、「7歳」11.1%などである。(各歳4月1日現在で算出したもの。)
(各歳平成26年4月現在の年齢とした。)

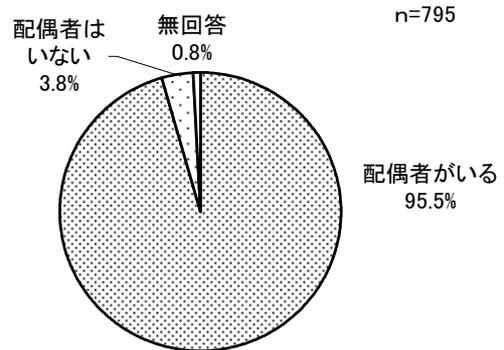
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」87.7%、「父親」11.6%、「その他」0.4%である。



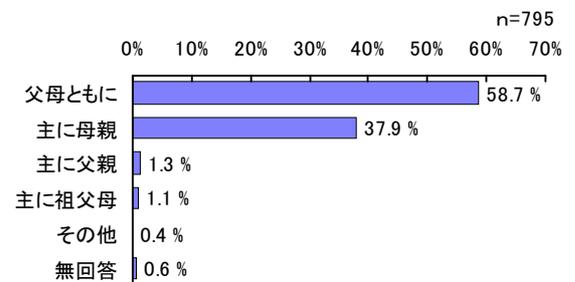
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」95.5%である。



問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

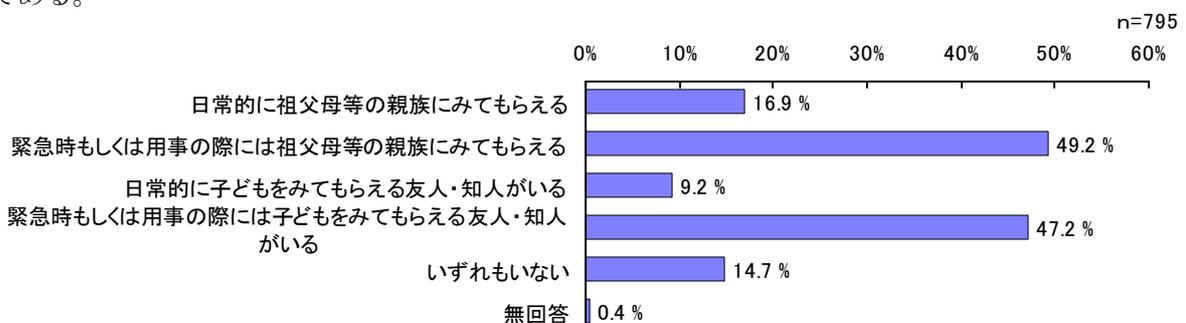
「父母ともに」58.7%、「主に母親」37.9%などである。



(2) 子どもの育ちをめぐる環境

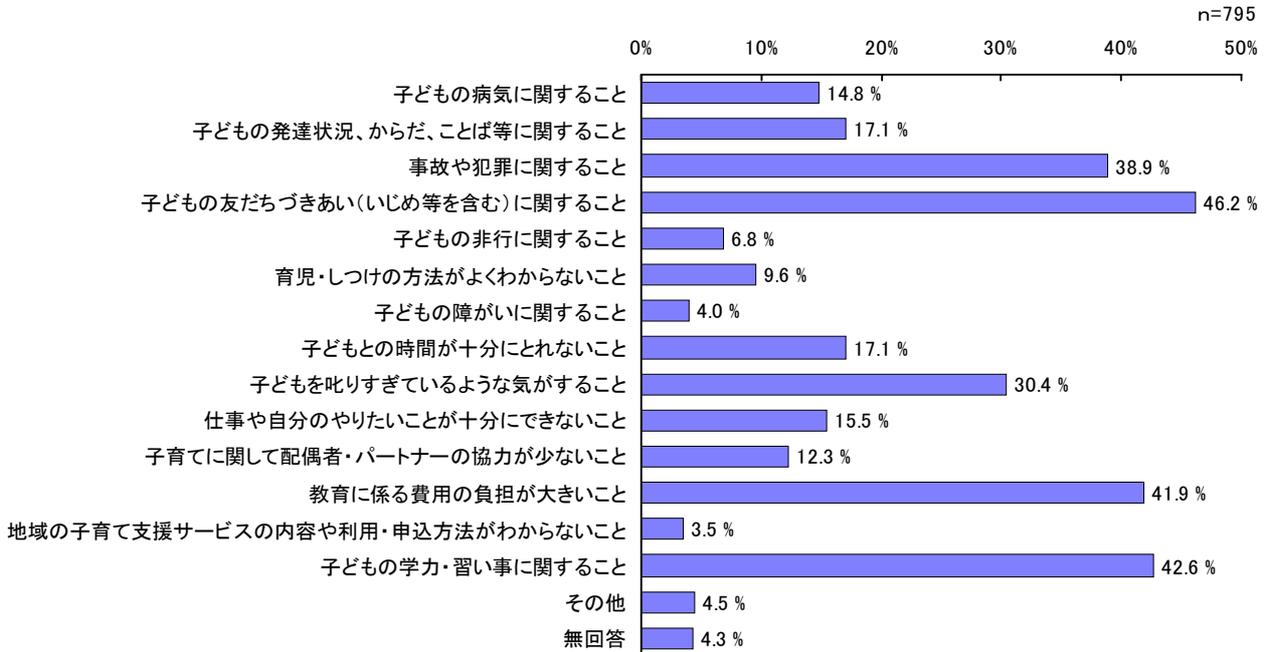
問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族、友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

緊急時もしくは用事の際に「祖父母等の親族にみてもらえる」49.2%、「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」47.2%である。これに対し、日常的に「祖父母等の親族にみてもらえる」は16.9%、「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は9.2%である。また、「いずれもない」は14.7%である。



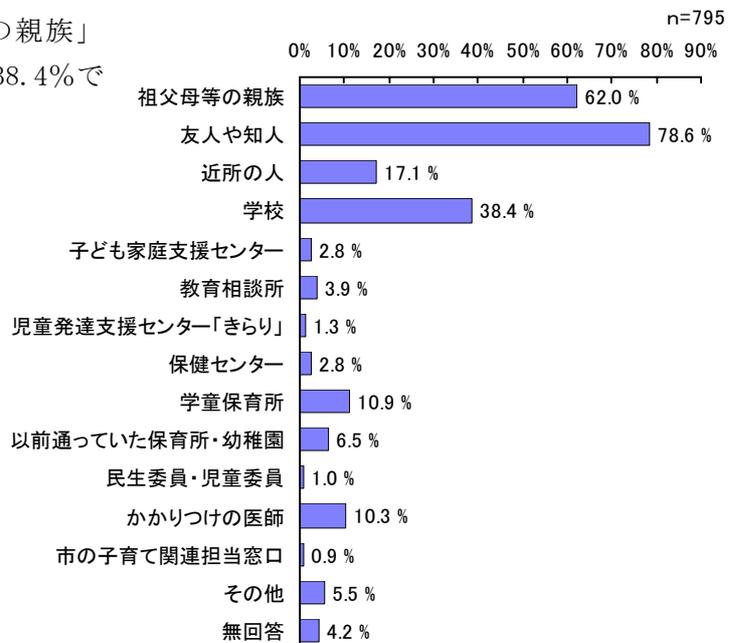
問8 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの友だちづきあいに関すること」46.2%、「子どもの学力・習い事に関すること」42.6%、「教育に係る費用の負担が大きいこと」41.9%、「事故や犯罪に関すること」などである。



問9 子育て(教育を含む)をする上で、相談できる人はいますか。また、相談したことはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」78.6%、「祖父母等の親族」62.0%が多くあげられ、次いで「学校」38.4%である。



問 10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、市役所など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な回答は、以下の通りである。

- 学童・放課後の預かり・居場所 (53 件)
- 相談先、話を聞いてほしい (48 件)
- 一時預かり (47 件)
- 金銭的支援 (35 件)
- 学力向上、放課後勉強を教えてくれる場 (18 件)
- 施設や習い事など情報の発信、学校の紹介 (14 件)
- 安全で安心して遊べる場 (11 件)
- 社会の理解、会社の理解 (10 件)
- 特別な支援が必要な子どもへの施策 (8 件)
- 地域の見守り (7 件)
- 街灯を多くするなど街の環境面の整備 (4 件)
- 病児保育 (2 件)
- イベントの開催 (2 件)
- 異世代交流 (2 件)
- その他 (25 件)

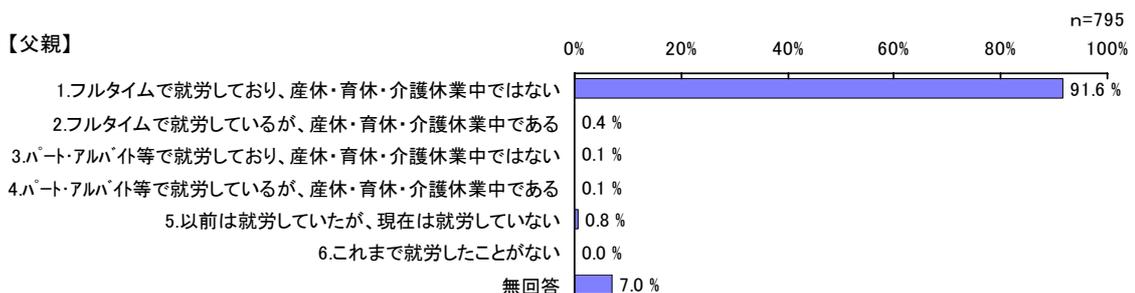
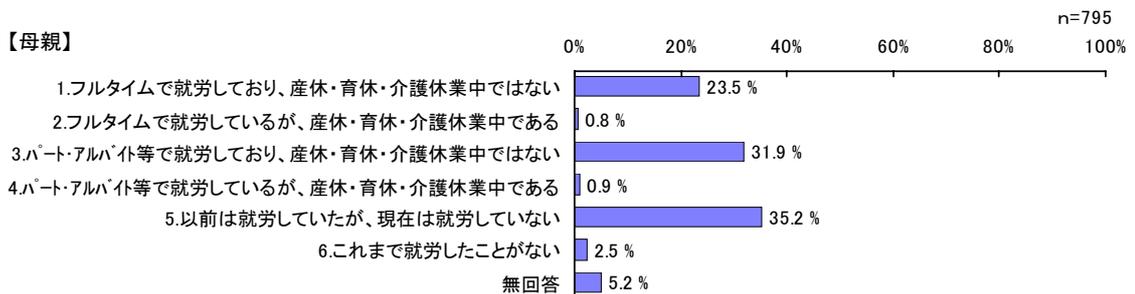
(3) 保護者の就労状況

※ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労のことです。「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことです。

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」35.2%が最も多い。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」31.9%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」23.5%である。産休・育休・介護休業中を含めた『フルタイム』は24.3%、『パート・アルバイト等』は36.1%である。

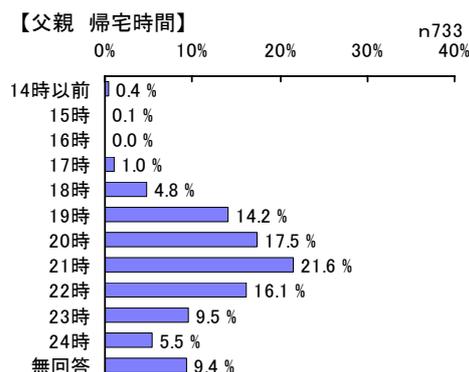
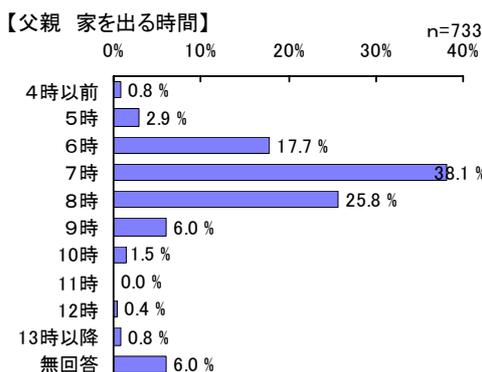
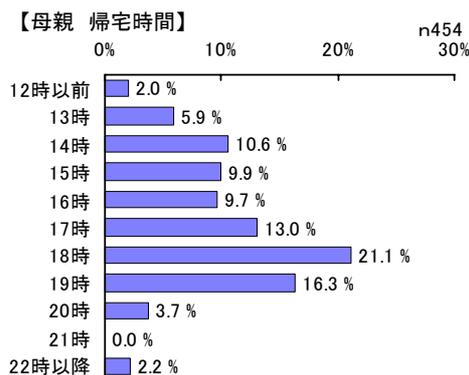
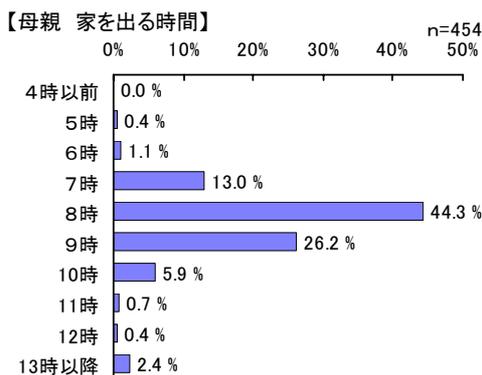
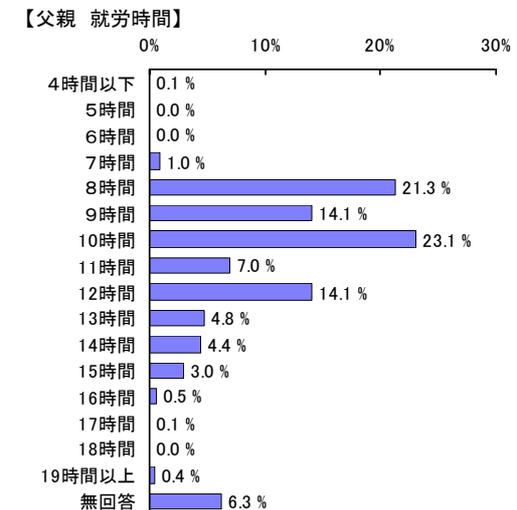
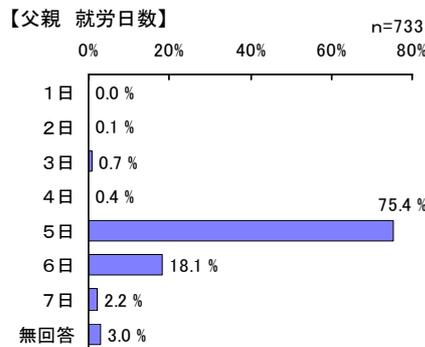
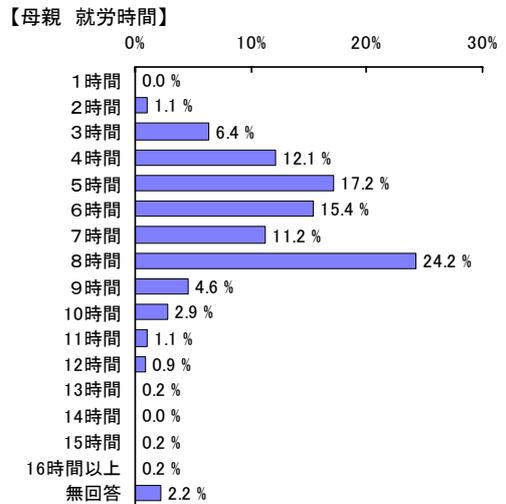
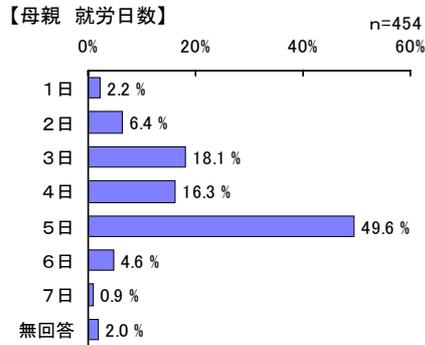
父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」91.6%が最も多く9割を超える。



問 11-1 問 11 で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

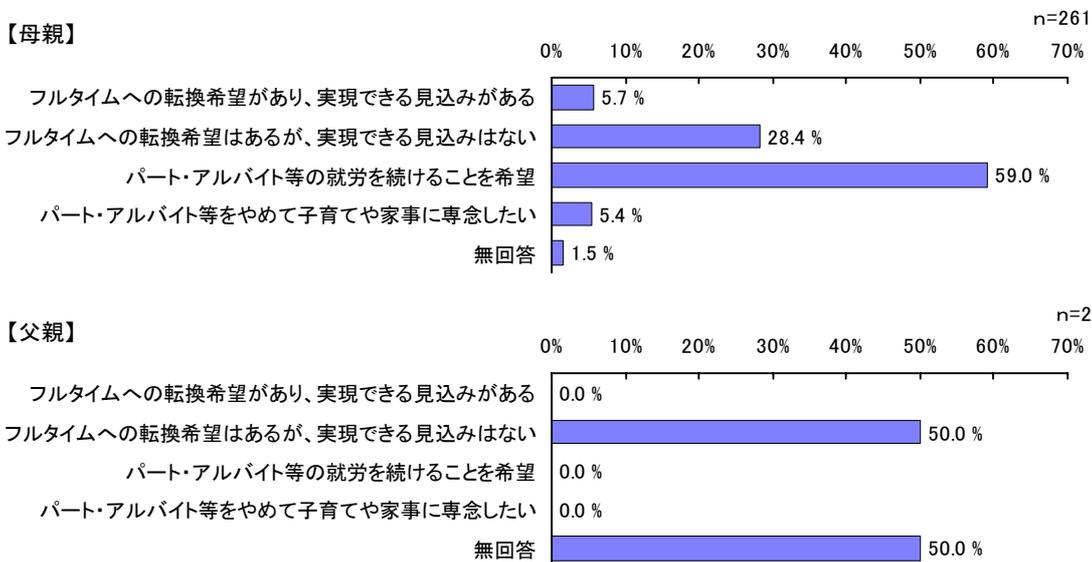
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親、父親の1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間、家を出る時間、帰宅時刻は次の通りである。



問 12 問 11 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

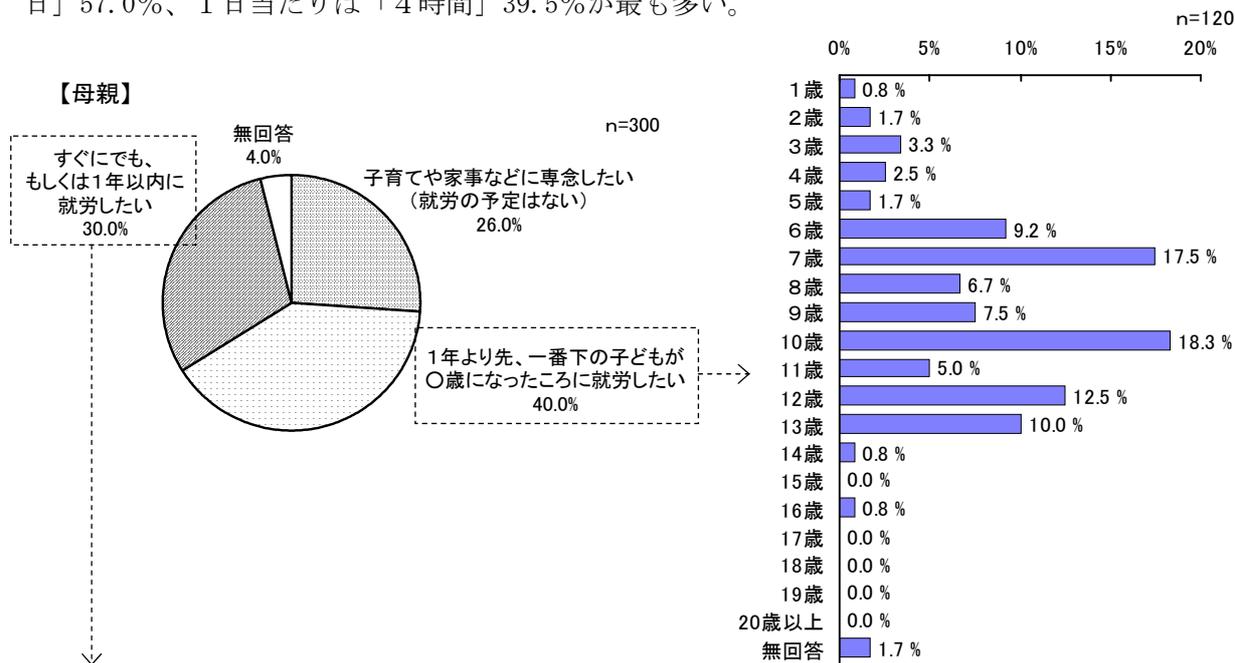
母親のフルタイムへの転換希望は、「実現できる見込みがある」「実現できる見込みはない」合わせても 34.1%にとどまる。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」54.0%が最も多い。

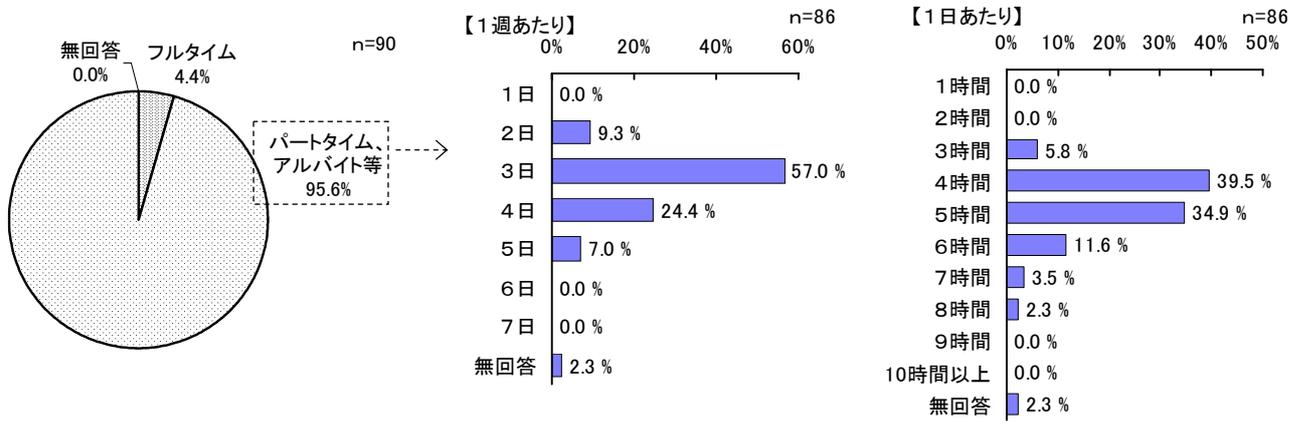


問 13 問 11 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい」40.0%が最も多い。子どもの年齢は「10歳」18.3%、「7歳」17.5%の順である。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」30.0%、「子育てや家事などに専念したい」26.0%である。

希望する就労形態は95.6%が「パートタイム・アルバイト等」である。1週当たりの日数は「3日」57.0%、1日あたりは「4時間」39.5%が最も多い。



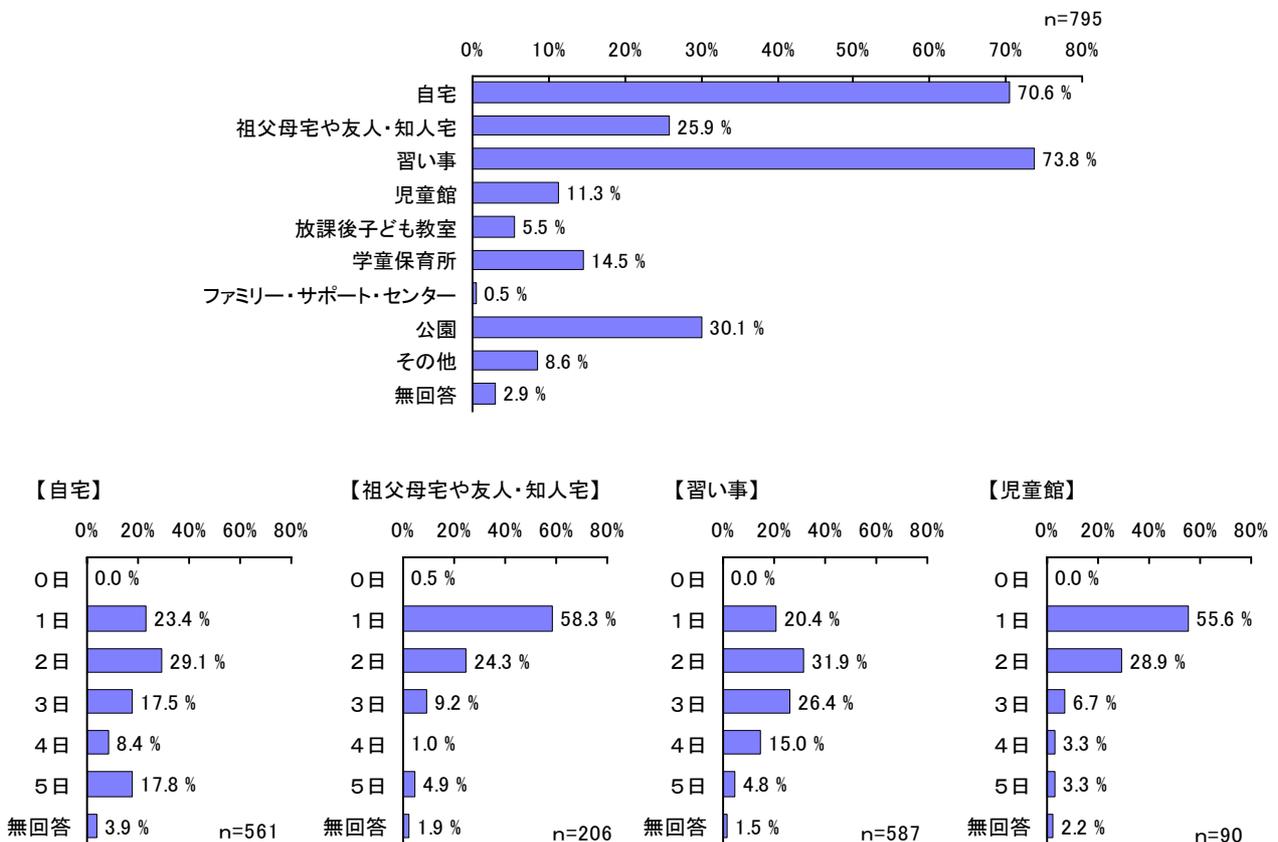


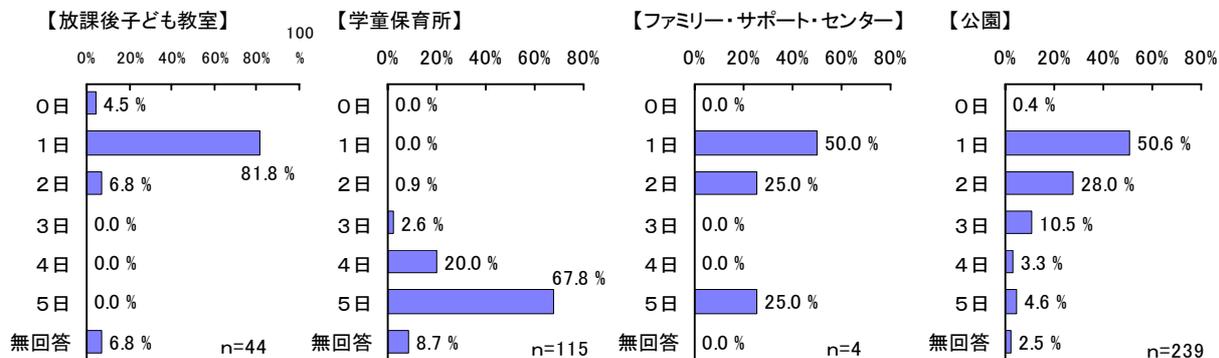
父親は、6人中6人がすべて「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」としており、希望する就労形態は「フルタイム」が6人中4人、「パート・アルバイト等」が同2人である。

(4) 子どもの放課後の過ごし方

問 14 宛名のお子さんについて、現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。「児童館」「学童保育所」の場合には、利用を希望する時間も、口内に数字でご記入ください。

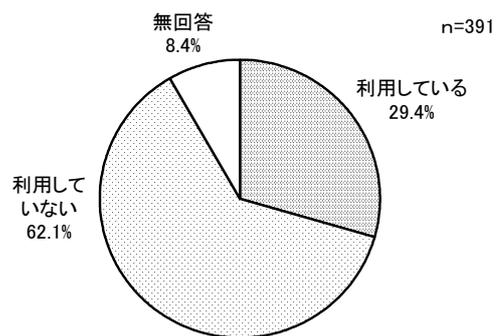
「習い事」73.8%、「自宅」70.6%、「公園」30.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」25.9%などである。週あたりの日数は次の通りである。なお、時間については、児童館は「17時」82.2%、学童保育所は「17時」70.4%である。





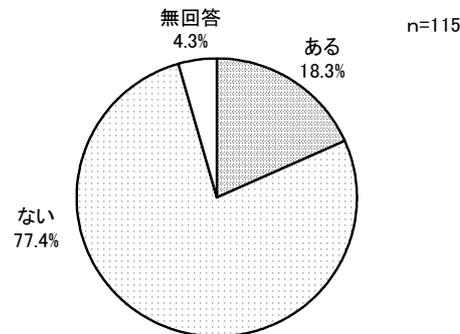
問 15 宛名のお子さんが小学校1～3年生(障がいのあるお子さんは4年生まで)の方にうかがいます。宛名のお子さんについて、現在、学童保育所を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」29.4%、「利用していない」62.1%である。学年で見ると「1年生」31.5%、「2年生」30.7%、「3年生」26.0%の順である。



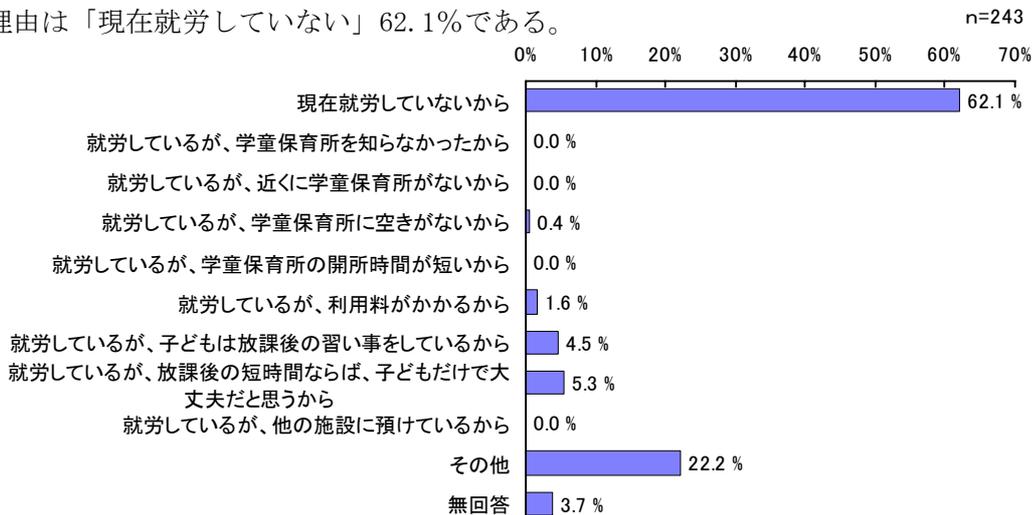
問 15-1 問 15で「1. 利用している」をお選びの方へ
宛名のお子さんについて、土曜日の学童保育所の利用はありますか。

「ある」は18.3%、「ない」が77.4%である。



問 15-2 問 15で「2. 利用していない」をお選びの方へ
利用していない理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

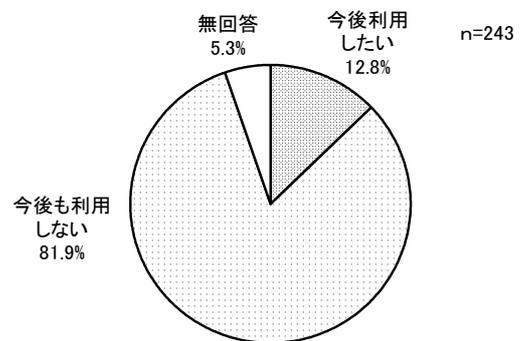
主な理由は「現在就労していない」62.1%である。



問 15-3 問 15 で「2. 利用していない」をお選びの方へ

宛名のお子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

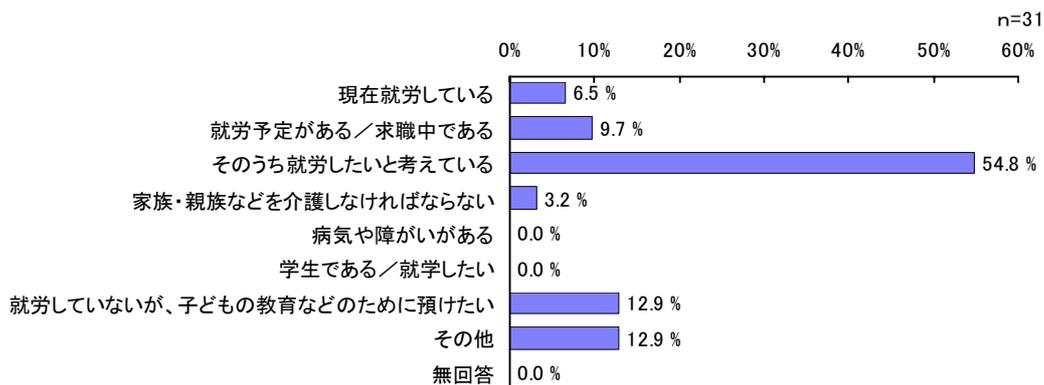
「今後利用したい」12.8%、「今後も利用しない」81.9%である。



問 15-4 問 15-3 で「1. 今後利用したい」をお選びの方へ

宛名のお子さんについて、学童保育所を、今後利用したい理由について、お答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「そのうち就労したいと考えている」54.8%が過半数である。「就労していないが、子どもの教育などのために預けたい」12.9%、「就労予定がある／求職中である」9.7%などである。

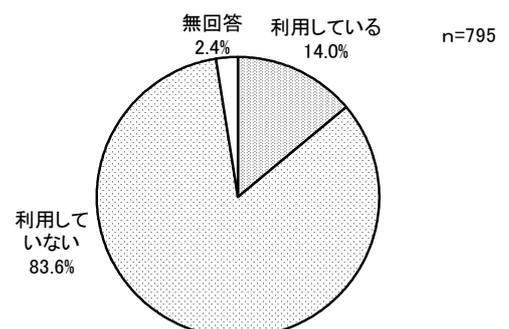


問 16 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、現在、「放課後子ども教室」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に学校の空き教室等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての子どもが無料で利用できます。

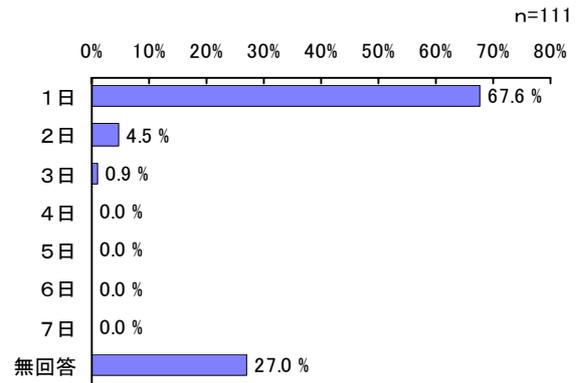
「利用している」14.0%、「利用していない」83.6%である。学年で見ると「2年生」22.8%、「1年生」20.5%、「4年生」17.1%、「3年生」15.6%などである。



問 16-1 問 16 で「1. 利用している」をお選びの方へ

宛名のお子さんについて、放課後子ども教室の利用日数はどれくらいですか。

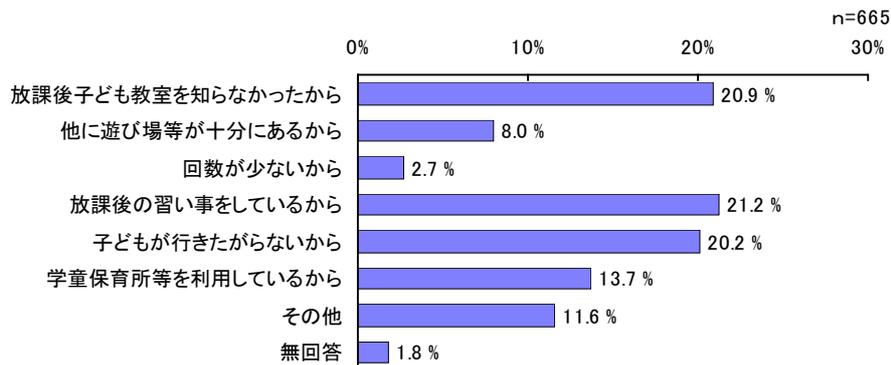
週に「1日」67.6%が最も多い。うち土曜の利用は「ある」17.1%、「ない」65.8%である。



問 16-2 問 16 で「2. 利用していない」をお選びの方へ

利用していない理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

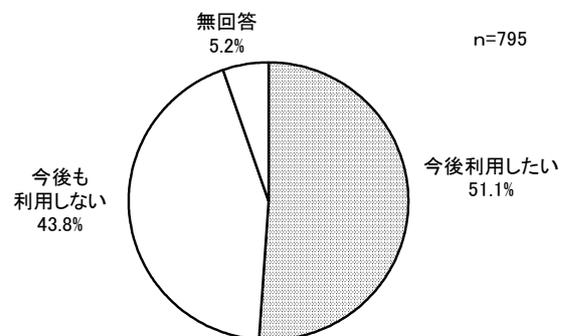
「放課後の習い事をしているから」21.2%、「放課後子ども教室を知らなかった」20.9%、「子どもが行きたがらない」20.2%などである。



問 16-3 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、今後、放課後子ども教室を利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「今後利用したい」51.1%が「今後も利用しない」43.8%を上回る。

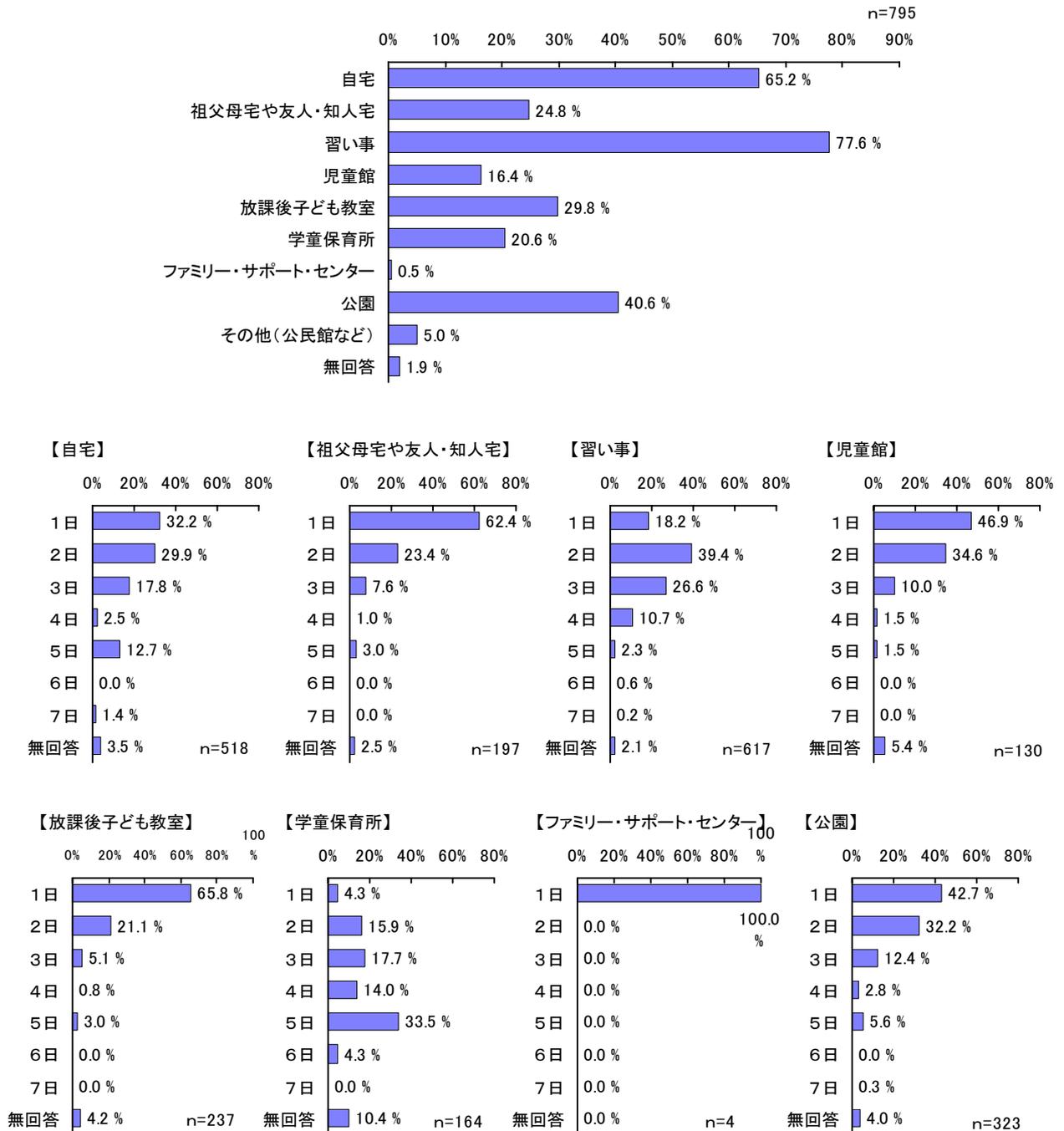


問 17 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、今後、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童館」「学童保育所」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

「習い事」77.6%、「自宅」65.2%が多く、次いで「公園」40.6%、「放課後子ども教室」29.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」24.8%などである。

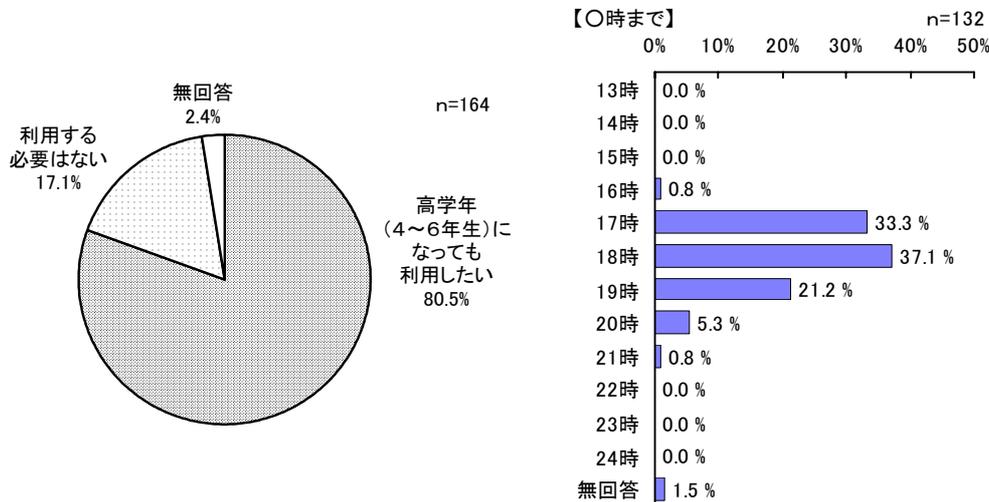
1週当たりの日数は、次の通りである。なお、時間については、児童館は「17時」61.5%、学童保育所は「17時」37.2%、「18時」29.3%などである。



問 17-2 問 17 で「6. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、小学校4年生から6年生までの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。当てはまる番号一つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内にご記入ください。

「高学年になっても利用したい」が 80.5%である。利用したい時間帯は、「18 時」37.1%、「17 時」33.3%、「19 時」21.2%などである。

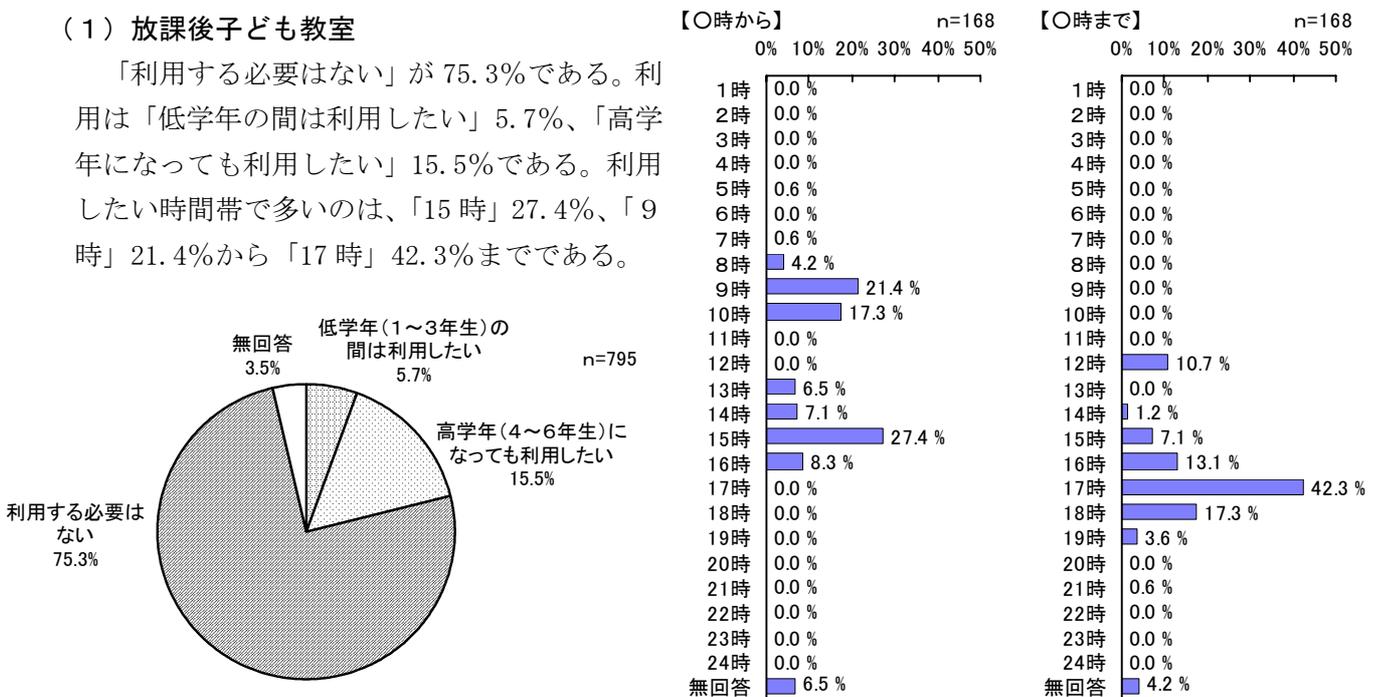


問 18 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、「放課後子ども教室」または「学童保育所(事業の利用には一定の利用料がかかります)」の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号一つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内にご記入ください。

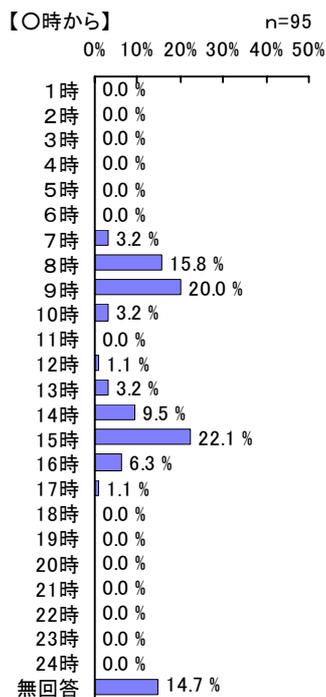
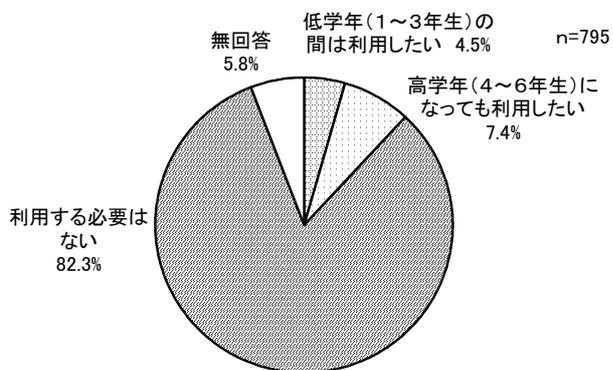
(1) 放課後子ども教室

「利用する必要はない」が 75.3%である。利用は「低学年の間は利用したい」5.7%、「高学年になっても利用したい」15.5%である。利用したい時間帯で多いのは、「15 時」27.4%、「9 時」21.4%から「17 時」42.3%までである。



(2) 学童保育所

「利用する必要はない」が82.3%である。利用は「低学年の間は利用したい」4.5%、「高学年になっても利用したい」17.4%である。利用したい時間帯で多いのは、「15時」22.1%、「9時」20.0%から「17時」32.6%、「18時」31.6%までである。

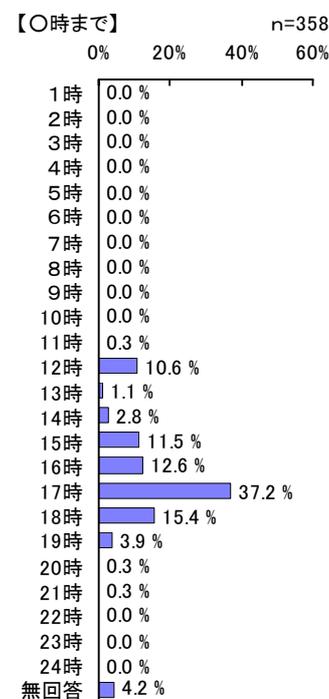
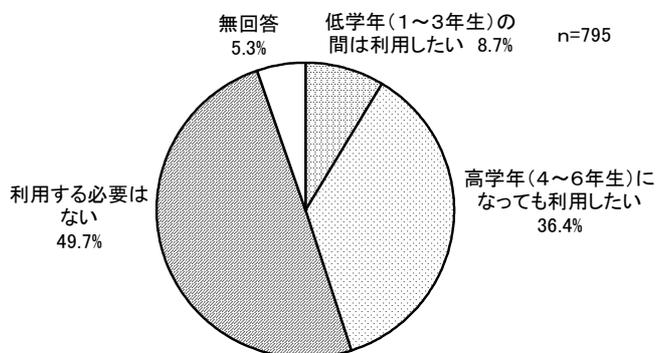


問 19 全ての方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のみの「放課後子ども教室」または「学童保育所(事業の利用には一定の利用料がかかります)」の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、□内にご記入ください。

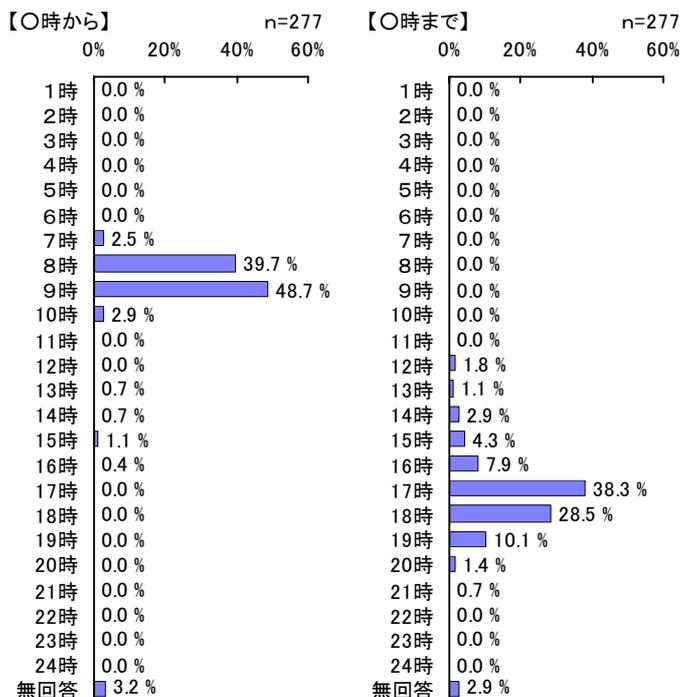
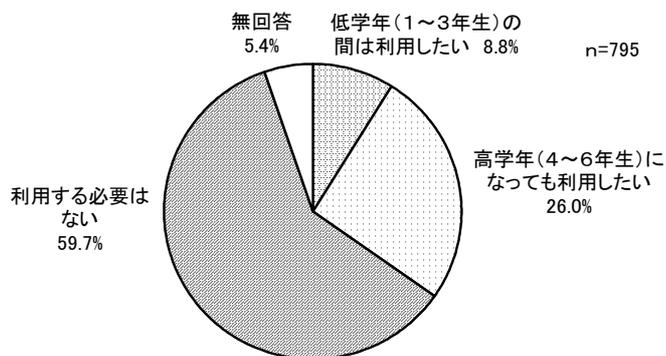
(1) 放課後子ども教室

「利用する必要はない」49.7%である。利用は「低学年の間は利用したい」8.7%、「高学年になっても利用したい」36.4%である。利用したい時間帯で多いのは、「9時」57.0%から「17時」37.2%までである。



(2) 学童保育所

「利用する必要はない」59.7%である。利用は「低学年の間は利用したい」8.8%、「高学年になっても利用したい」26.0%である。利用したい時間帯で多いのは、「9時」48.7%、「8時」39.7%から「17時」38.3%、「18時」28.5%までである。

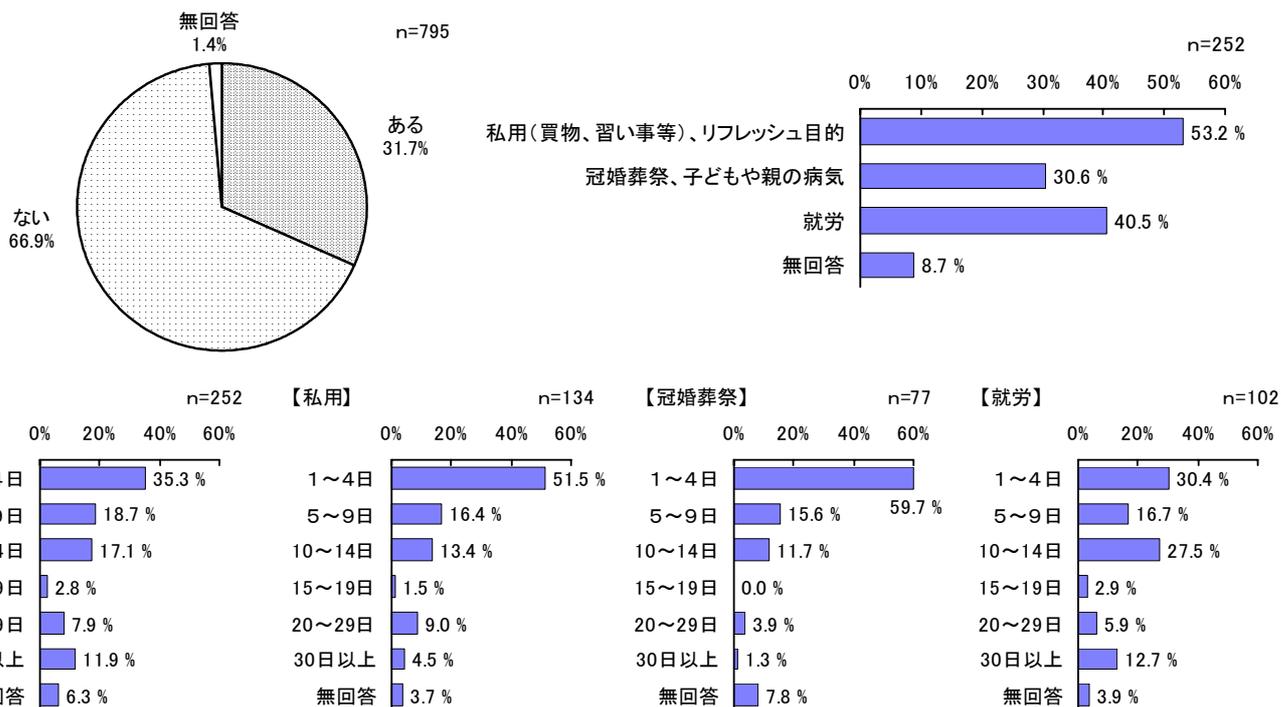


(5) 子どもの一時預かり等の利用

問 20 この1年間で私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※半日程度についても1日としてカウントしてください。

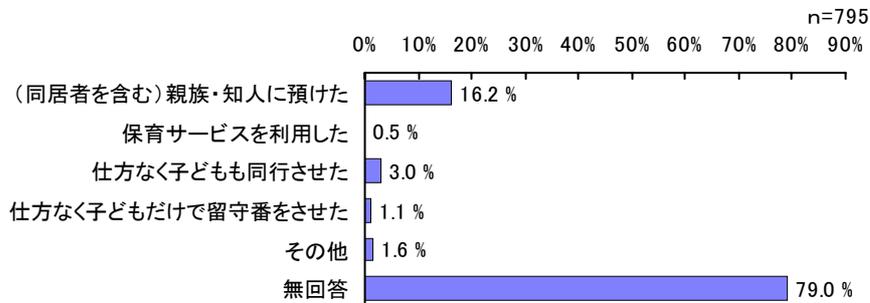
「ある」31.7%、「ない」66.9%である。内容は、「私用、リフレッシュ目的」53.2%、「就労」40.5%、「冠婚葬祭、子どもや親の病気」30.6%である。

日数は、年間「1~4日」35.3%、「5~9日」18.7%などであり、内訳は次の通りである。



問 21 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。あった場合には、当てはまる番号すべてに○をつけて、対処方法と概ねの日数を記入して下さい。

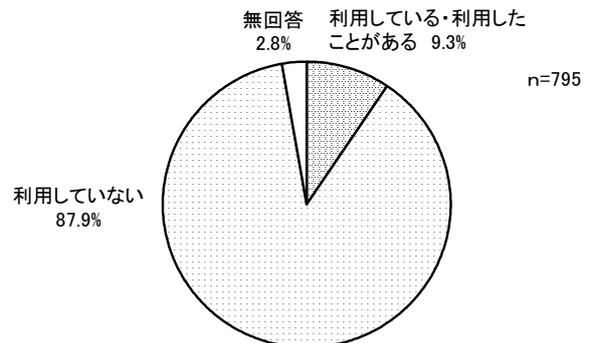
対処方法では無回答が 79.0%であったが、「親族・知人に預けた」が 16.2%で最も多い。それぞれの日数は、次の通りである。



(6) ファミリー・サポート・センターの利用

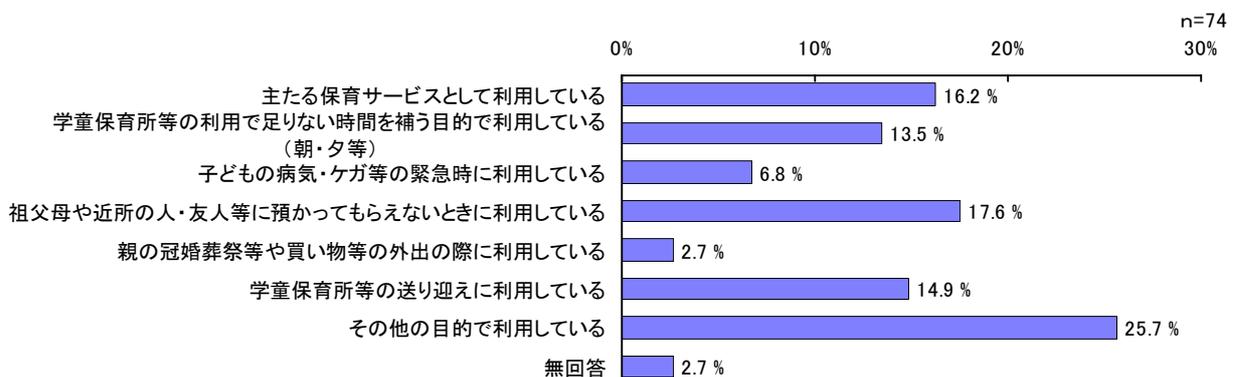
問 22 ファミリー・サポート・センターを利用していますか、または、過去に利用したことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※登録はしたが、利用したことがない場合は「2. 利用していない」を選んで下さい。

「利用していない」が 87.9%、「利用している・利用したことがある」9.3%である。



問 22-1 問 22 で「1. 利用している・利用したことがある」をお選びの方へどのような目的で利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

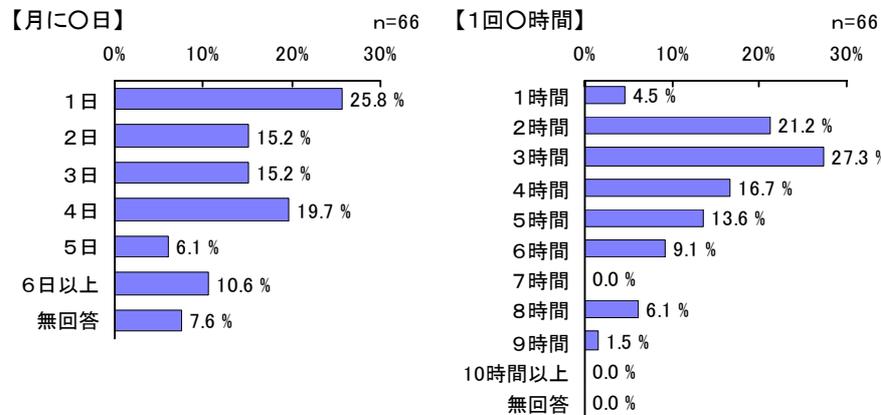
「その他の目的で利用している」25.7%、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」17.6%、「主たる保育サービスとして利用している」16.2%などである。



問 22-2 問 22 で「2. 利用していない」をお選びの方へ

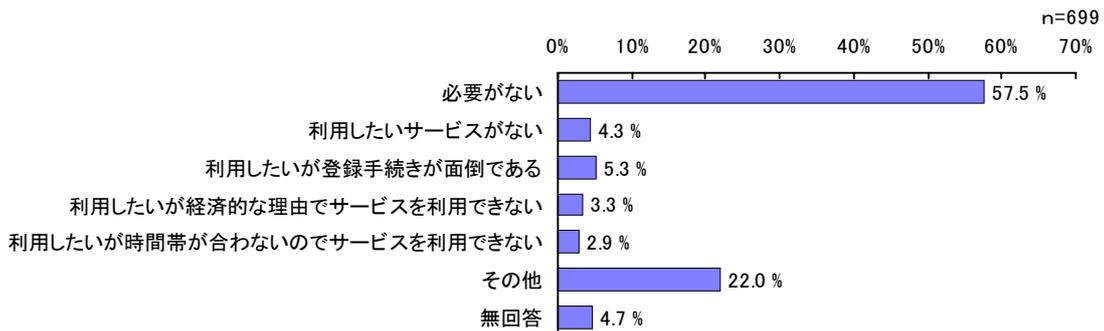
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に「1日」25.8%、「4日」19.7%、「2日」「3日」15.2%などである。



問 22-3 ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

「必要がない」57.5%などである。



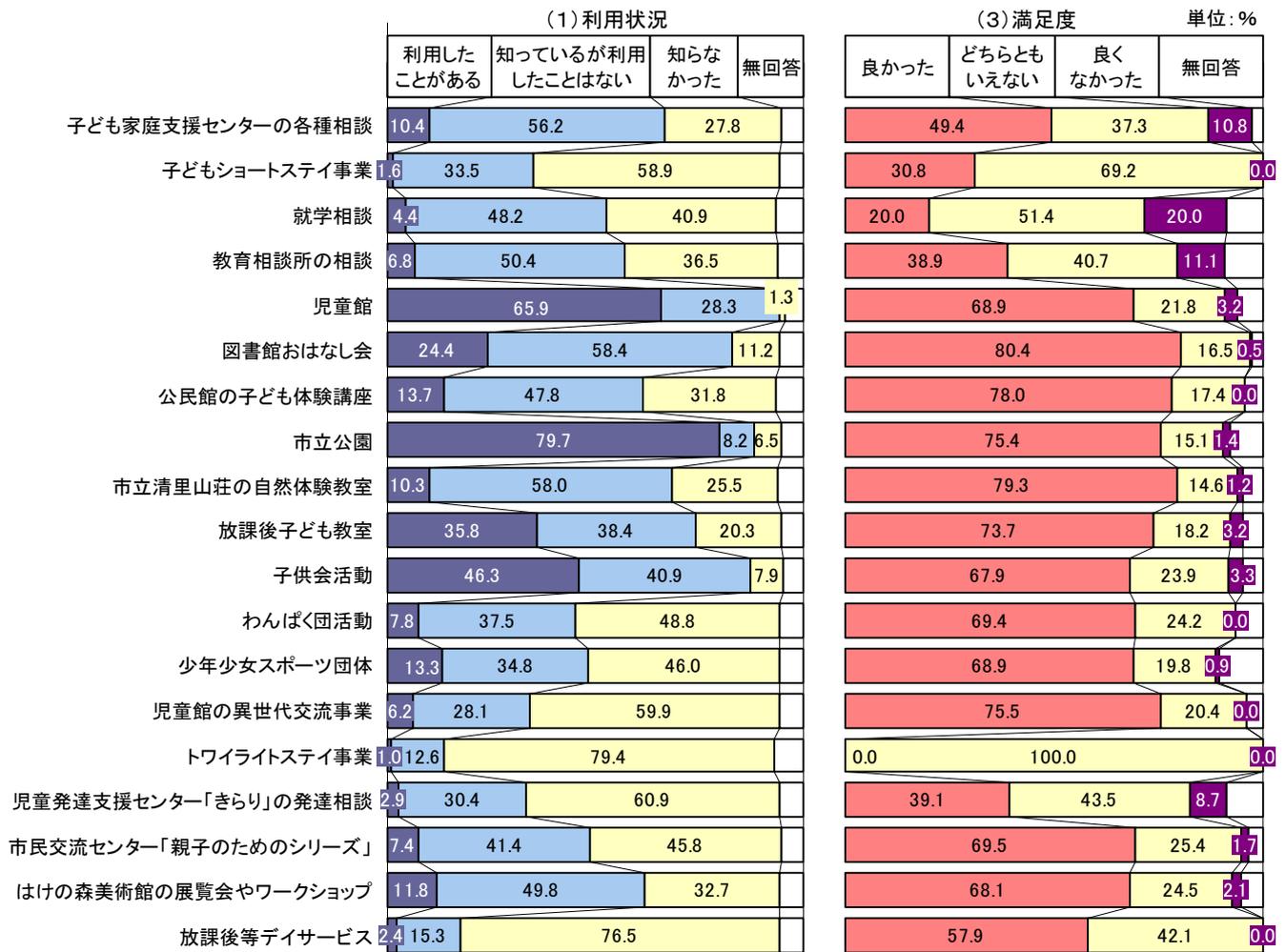
(7) 子育て全般

問 23 下記のサービスや事業の(1)利用状況、(2)利用希望、(3)満足度について、それぞれあてはまるもの1つに〇をつけてください。(2)については、「今後利用したい」場合に〇をつけてください。(3)については、(1)で「1」に〇をつけた方のみお答えください。

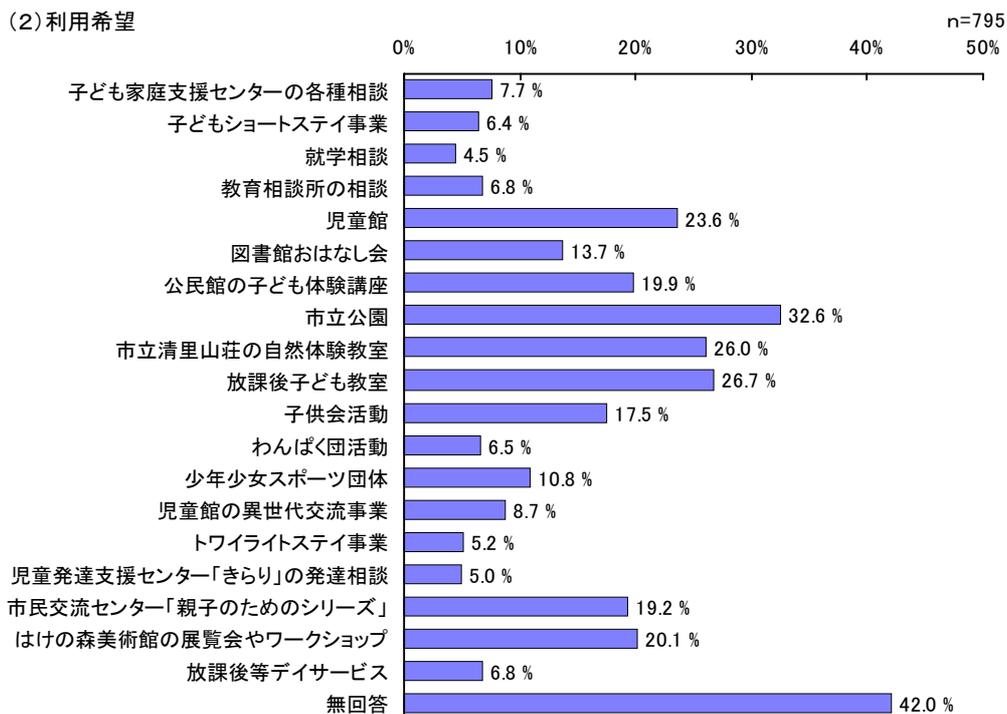
「利用したことがある」は「市立公園」79.7%、「児童館」65.9%、「子供会活動」46.3%、「放課後子ども教室」35.8%の順である。「知らなかった」が多いのは「トワイライトステイ事業」79.4%、「放課後等デイサービス」76.5%、「児童発達支援センター『きらり』の発達相談」60.9%などである。

利用希望は、「市立公園」32.6%、「放課後子ども教室」26.7%、「市立清里山荘の自然体験教室」26.0%、「児童館」23.6%などである。

利用の満足度は多くのサービスや事業でそれぞれ「良かった」が60%~80%を占めるが、「就学相談」20.0%、「子どものショートステイ事業」30.8%、「教育相談所の相談」38.9%、「児童発達支援センター『きらり』の発達相談」はやや少ない。

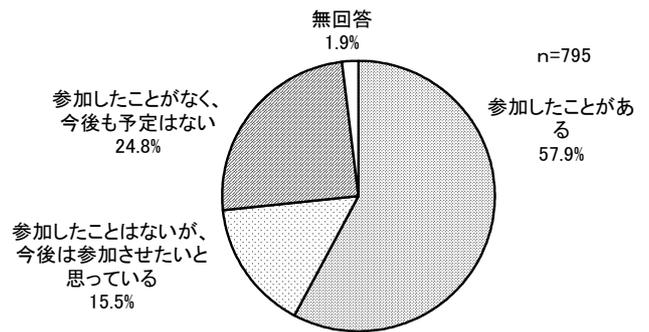


(2) 利用希望



問 24 宛名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

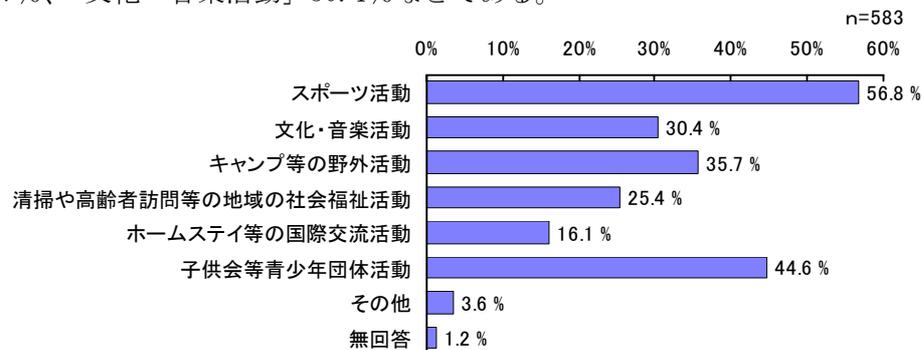
「参加したことがある」57.9%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」15.5%、「参加したことがなく、今後も予定はない」24.8%である。



問 24-1 問 24 で「1」または「2」をお選びの方へ

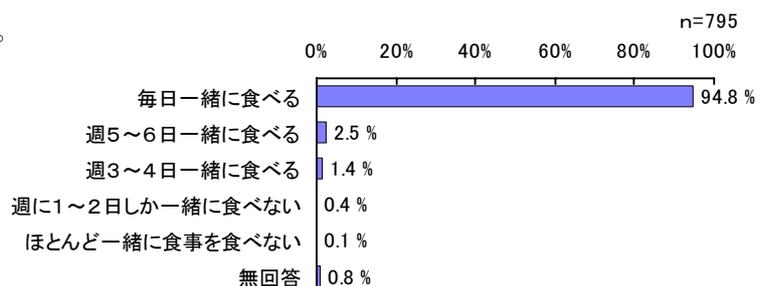
お子さんが参加したことがある、もしくは参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

参加の活動は、「スポーツ活動」56.8%、「子供会等青少年団体活動」44.6%、「キャンプ等の野外活動」35.7%、「文化・音楽活動」30.4%などである。



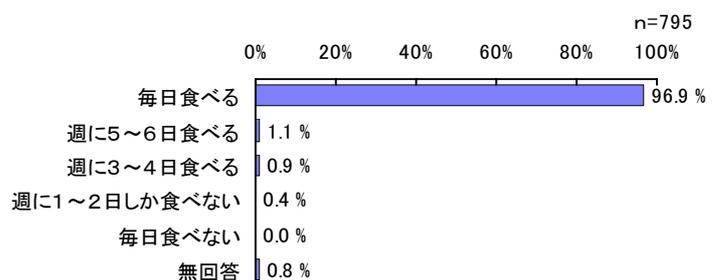
問 25 宛名のお子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。朝食または夕食のどちらかでも一緒に食事をとっている場合は、1日と数えてください。

「毎日一緒に食べる」94.8%である。



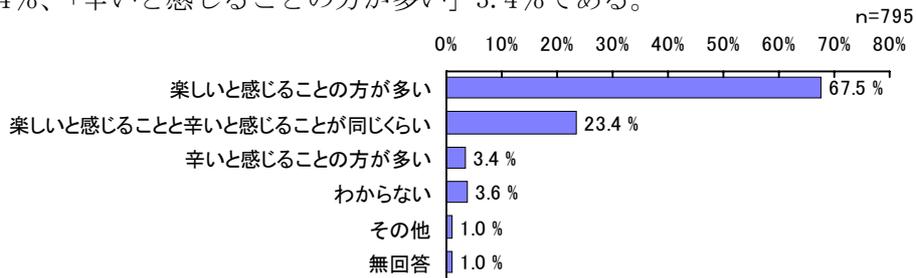
問 26 宛名のお子さんは、毎日朝食をとっていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「毎日食べる」96.9%である。



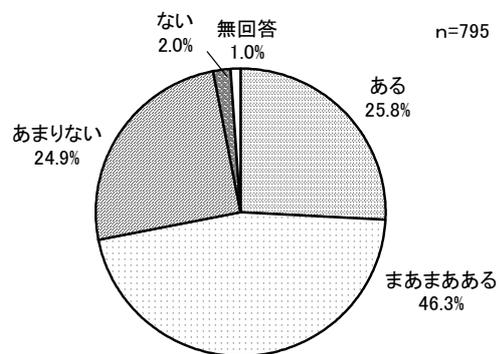
問 27 子育てに日常的に関わっている方にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」67.5%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」23.4%、「辛いと感じることの方が多い」3.4%である。



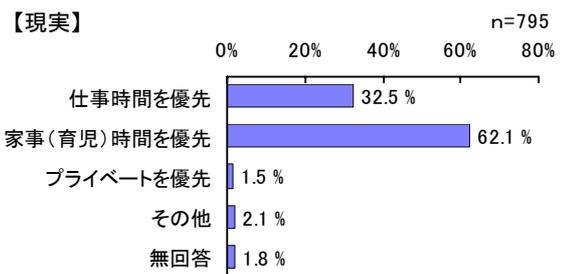
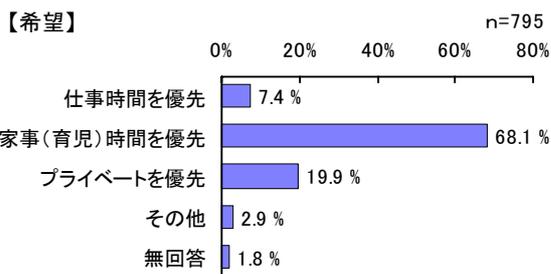
問 28 お子さんとゆったりと過ごせる時間がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」25.8%、「まあまあある」46.3%、「あまりない」24.9%、「ない」2.0%である。



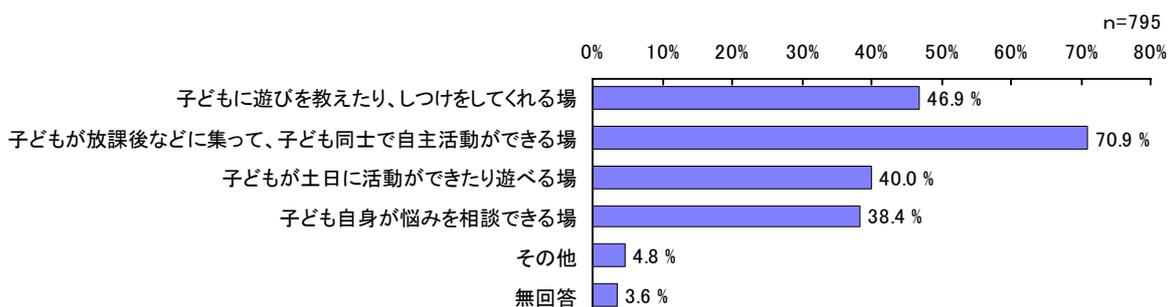
問 29 あなたの生活の中で、最も優先するものは次のうちどれですか。(1)希望と(2)現実それぞれについて1つずつ選んで番号をご記入ください。

仕事時間を優先している人は、現実では32.5%いるが、希望は7.4%に減少している。一方、家事(育児)時間、プライベートを優先は、現実より希望が多くなっている。



問 30 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

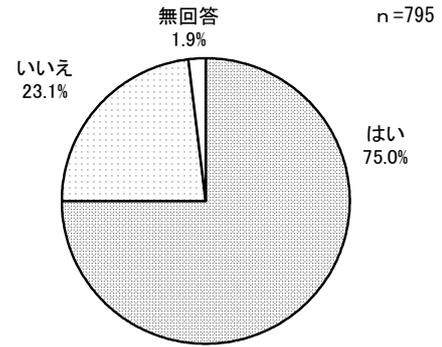
最も多いのが「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動ができる場」70.9%である。



問 31 児童虐待に関する下記の設問について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

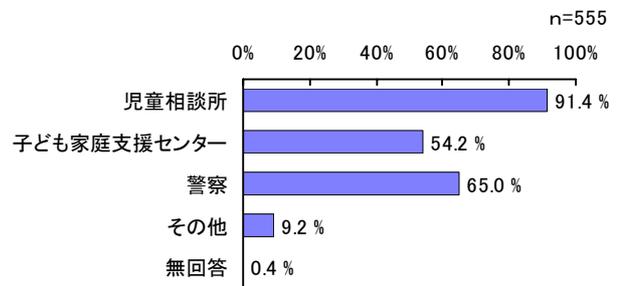
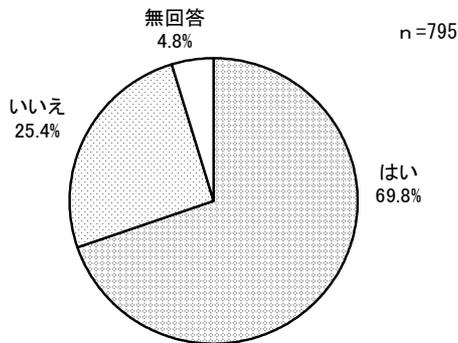
(1) 「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)をご存じですか。

「はい」75.0%、「いいえ」23.1%である。



(2) 児童虐待を発見した場合の通報先をご存じですか。

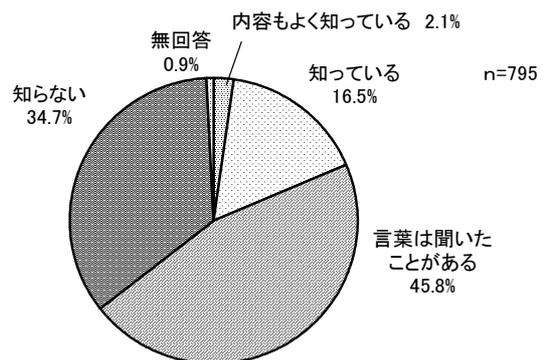
「はい」69.8%、「いいえ」25.4%である。通報先で最も多いのが「児童相談所」91.4%、次いで「警察」65.0%、「子ども家庭支援センター」54.2%である。



(8) 小金井市子どもの権利に関する条例関連

問 32 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

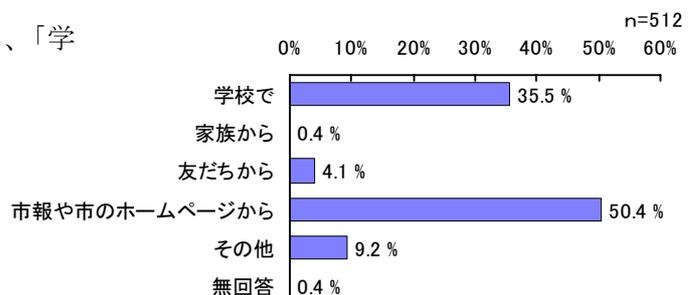
「内容もよく知っている」2.1%、「知っている」16.5%、「言葉は聞いたことがある」45.8%、「知らない」34.7%である。



問 32-1 問 32 で「1」～「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。

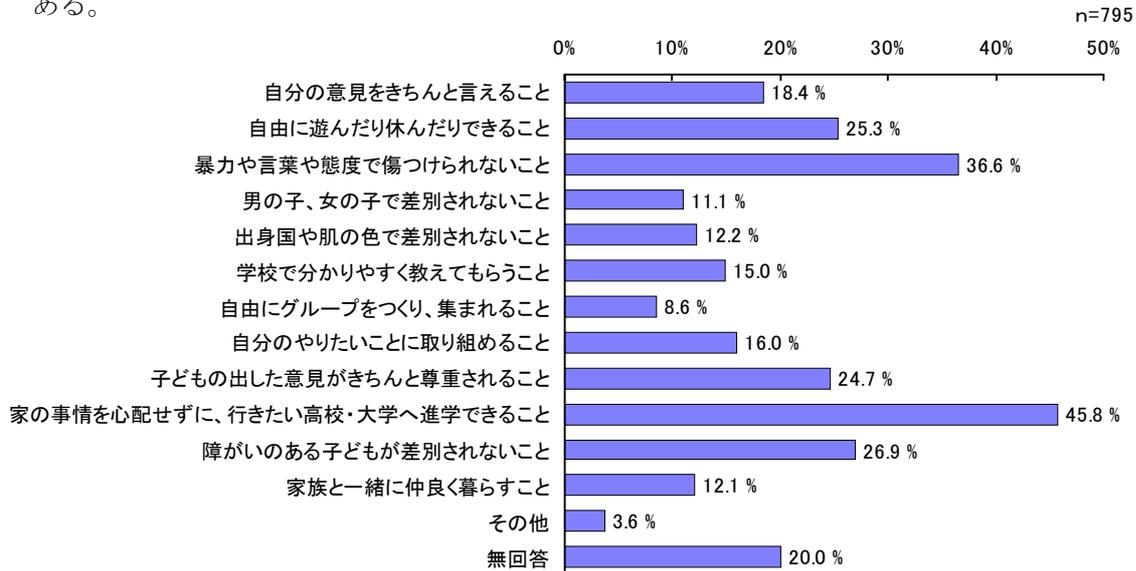
「小金井市子どもの権利に関する条例」をどこで知りましたか。(1つに○)

「市報や市のホームページから」50.4%、「学校で」35.5%が主なところである。



問 33 ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

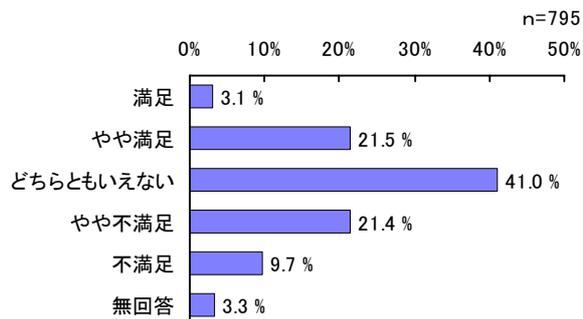
「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学へ進学できること」45.8%、次いで「暴力や言葉や態度で傷つけられないこと」36.6%、「障がいのある子どもが差別されないこと」26.9%などである。



(9) 小金井市の子育て環境や子育て支援施策全般

問 34 小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

「満足」3.1%。「やや満足」21.5%、合わせた『満足』は24.6%である。これに対し、「不満足」9.7%、「やや不満足」21.4%、合わせた『不満足』は31.1%である。

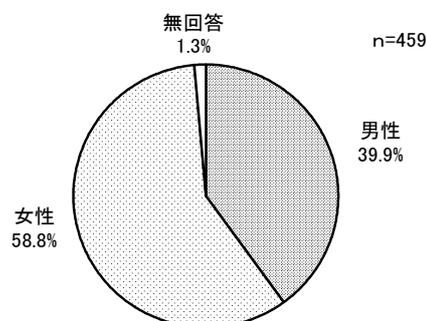


3 中学校・高校生年代の青少年調査

(1) あなた自身のこと

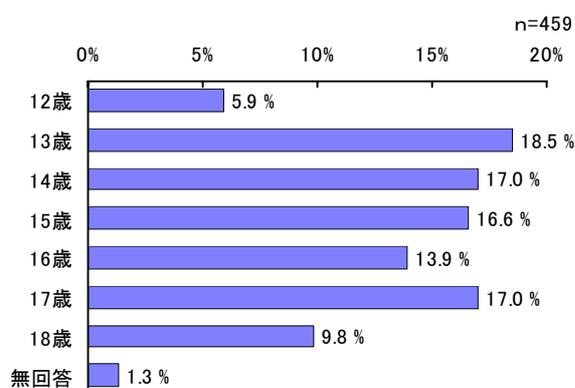
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

「男性」39.9%、「女性」58.8%である。



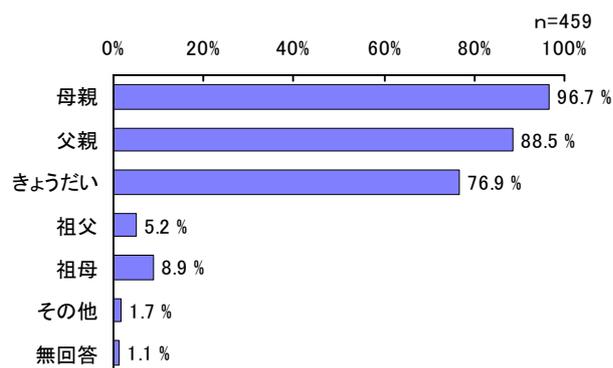
問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「13歳」18.5%、「14歳」「17歳」17.0%、「15歳」16.6%などである。



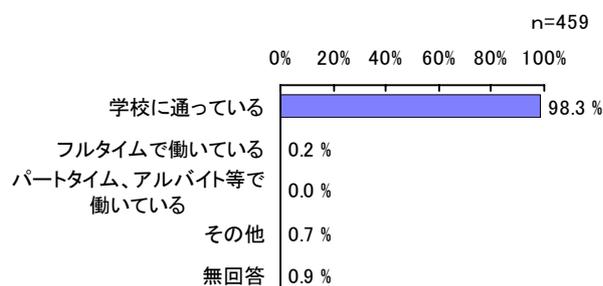
問3 あなたと同居している方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「母親」96.7%、「父親」88.5%、「きょうだい」76.9%、「祖父」5.2%、「祖母」8.9%である。



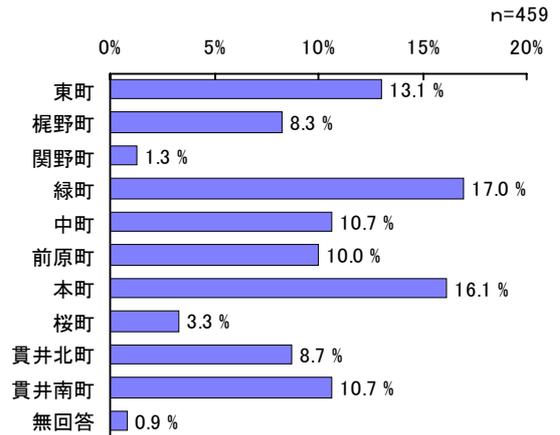
問4 あなたは、学校に通っていますか。働いていますか。(1つに○)

「学校に通っている」98.3%である。



問5 あなたは、どの地区に住んでいますか。(1つに○)

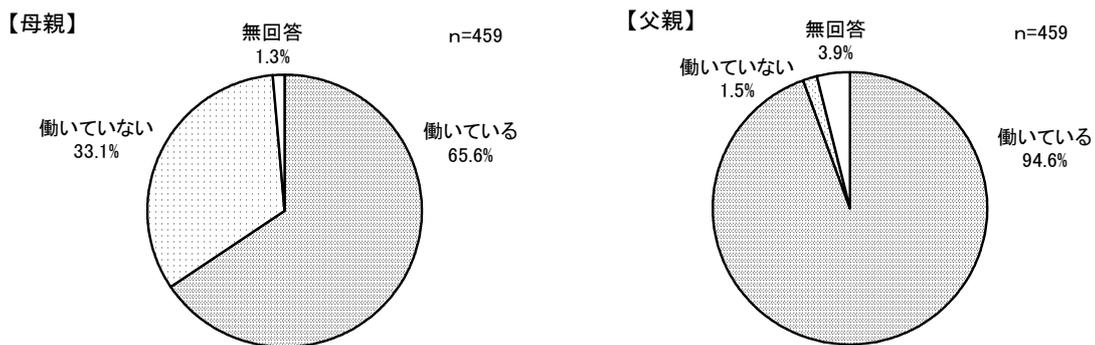
「緑町」17.0%、次いで「本町」16.1%、「東町」13.1%、「中町」「貫井南町」10.7%などである。



(2) 両親の就労状況

問6 あなたのご両親は働いていますか。(それぞれ1つに○)

母親については、「働いている」65.6%、「働いていない」33.1%である。
父親は「働いている」が94.6%である。



(3) 放課後や休日の過ごし方

問7 ふだん、放課後や休日をどのように過ごしていますか。過ごし方で一番多いものについて、下の枠内に「どこで」「どのように」に分けて具体的にご記入ください。

(1) 放課後

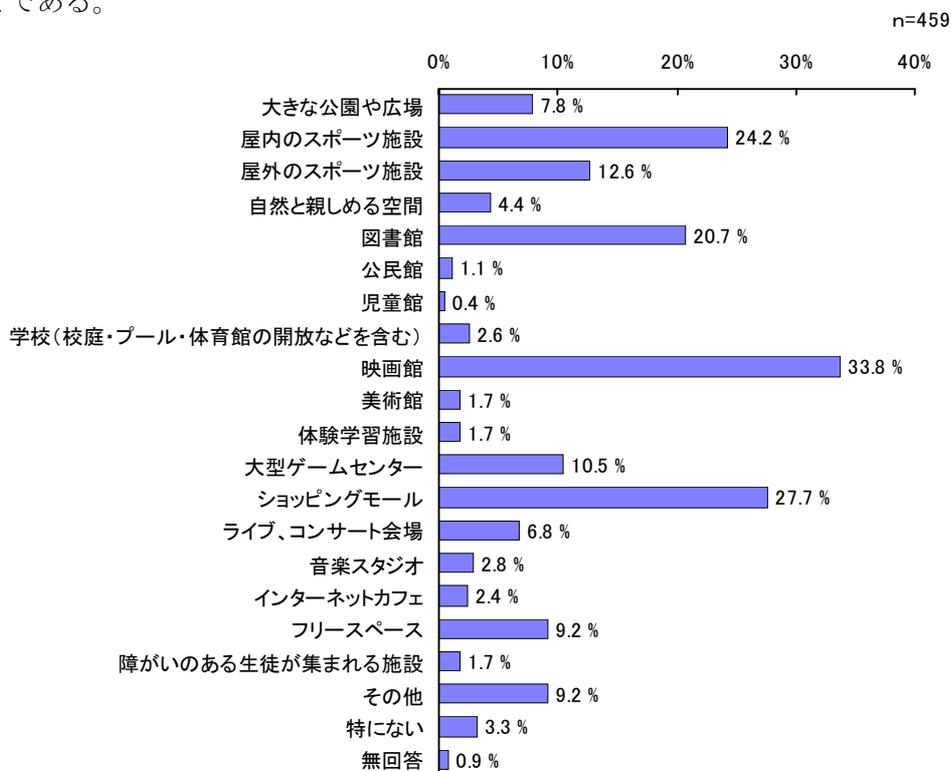
- ◇学校で・・・○部活をしている (234 件)
 - 勉強/受験勉強している (17 件)
 - スポーツをしたり、遊んでいる (14 件)
 - その他 (生徒会活動など) (4 件)
- ◇家で・・・○スポーツをしたり、遊んでいる (54 件)
 - 勉強/受験勉強している (51 件)
 - その他 (寝ている、無回答など) (23 件)
- ◇塾・予備校で・・・○勉強/受験勉強している (59 件)
- ◇店・コンビニ等で・・・○アルバイト (11 件)
- ◇公園や祖父母の家等で○スポーツをしたり、遊んでいる、暇つぶし (21 件)
- ◇その他 (サッカーのクラブチーム等) の場所で・・・○活動している等 (6 件)

(2) 休日

- ◇家で・・・・・・・・・・○勉強／受験勉強している (110 件)
 - スポーツをしたり、遊んでいる (94 件)
 - その他 (寝ている、無回答など) (52 件)
- ◇学校で・・・・・・・・・・○部活をしている (94 件)
 - 勉強／受験勉強している (2 件)
 - スポーツをしたり、遊んでいる (2 件)
 - その他 (1 件)
- ◇塾、予備校で・・・・・・・・○勉強／受験勉強している (57 件)
- ◇友人宅、屋外等で・・・・○スポーツをしたり、遊んでいる、暇つぶし (45 件)
- ◇街や外出先で・・・・・・○遊ぶ、買い物する、家族と行くなど (45 件)
- ◇店、コンビニ等で・・・・○アルバイト (9 件)
- ◇公園で・・・・・・・・・・○遊ぶ、運動している (6 件)
- ◇図書館で・・・・・・・・・・○勉強している、本を読んでいる (3 件)
- ◇その他 (グラウンド等) の場所で・・・・○練習、活動している等 (8 件)

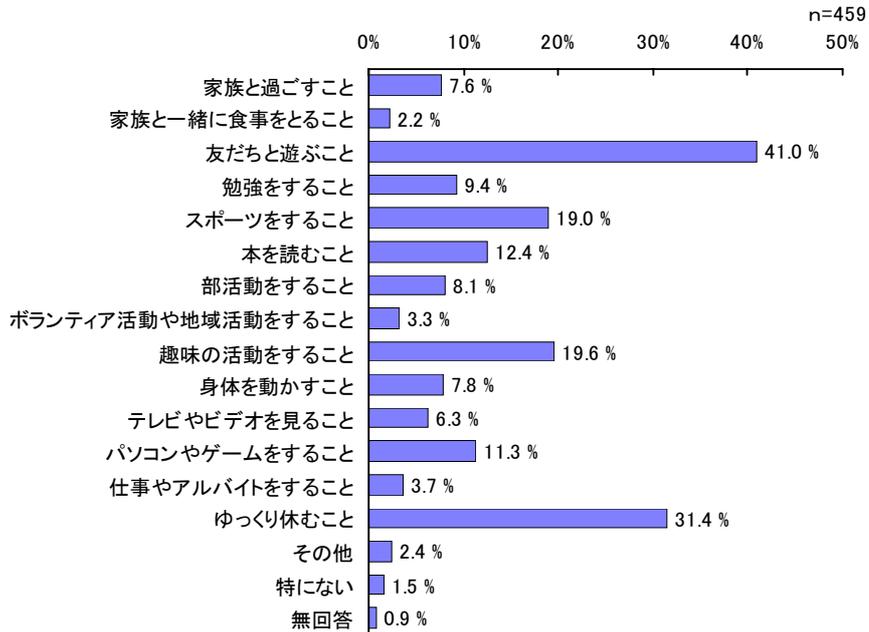
問8 放課後や休日を過ごすのに、どのような施設や遊び場が市内にあるとうれしいですか。(2つまでに○)

「映画館」33.8%、「ショッピングモール」27.7%、「屋内のスポーツ施設」24.2%、「図書館」20.7%などである。



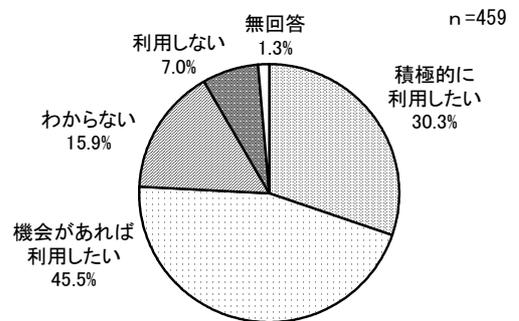
問9 あなたが日ごろ、もっとしたいと思っていることは何ですか。(2つまでに○)

「友だちと遊ぶこと」41.0%、次いで「ゆっくり休むこと」31.4%、「趣味の活動をする事」19.6%、「スポーツをする事」19.0%、「本を読むこと」12.0%などである。



問10 みなさんが、音楽やスポーツなど自主的な活動を通して交流でき、仲間と集まって活動できるような施設が市内にあったら利用したいですか。(1つに○)

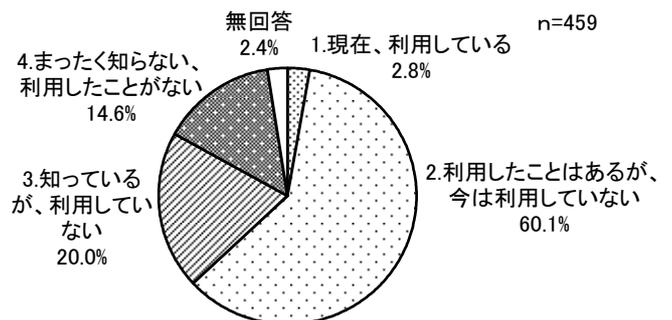
「積極的に利用したい」30.3%、「機会があれば利用したい」45.5%、「利用しない」7.0%である。



(4) 児童館の利用と要望

問11 児童館を利用したことはありますか。(1つに○)

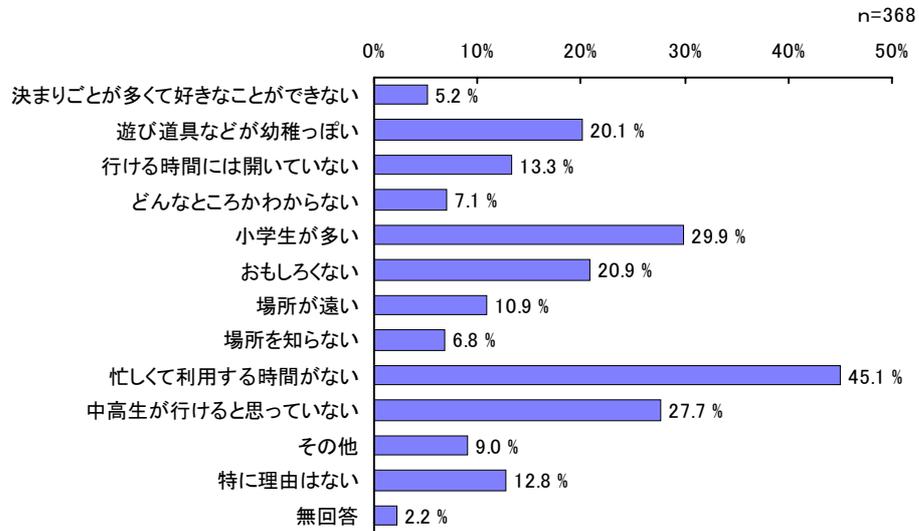
「現在利用している」2.8%、「利用したことはあるが、今は利用していない」60.1%、「知っているが、利用していない」20.0%、「まったく知らない、利用したことがない」14.6%である。



問 11-1 問 11 で「2」または「3」をお選びの方へ

児童館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

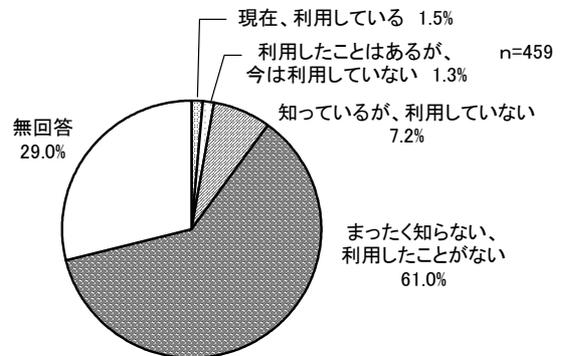
最も多いのが「忙しくて利用する時間がない」45.1%、次いで「小学生が多い」29.9%、「中高生が行けると思っていない」27.7%、「おもしろくない」20.9%、「遊び道具などが幼稚っぽい」20.1%などである。



問 12 児童館の中・高校生世代対応事業・夜の児童館「Space@NUKUI」「ぷれいす HIGAJI」を利用したことはありますか。(1つに○)

※「Space@NUKUI」「ぷれいす HIGAJI」・・・貫井南児童館、東児童館で行っている中・高校生世代のための 20 時までの開館延長事業です。

「現在利用している」1.5%、「利用したことはあるが、今は利用していない」7.2%、「まったく知らない、利用したことがない」61.0%である。『利用』はわずか 2.8%である。



問 12-1 問 12 で「2」または「3」をお選びの方へ

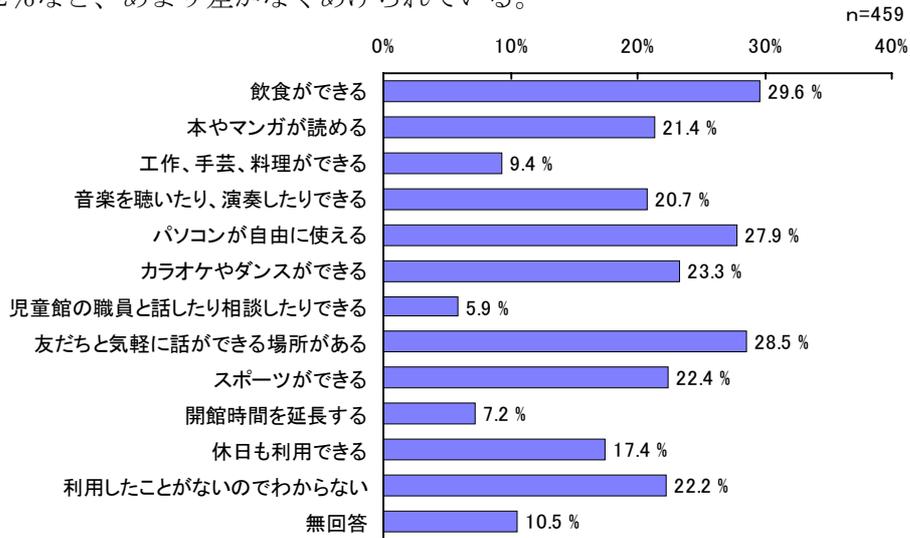
夜の児童館「Space@NUKUI」「ぷれいす HIGAJI」を利用しない理由は何ですか。下の枠内に具体的に記入してください。

主な内容は、下記のとおりである。

- 時間がないから (8 件)
- 遠い・場所が分からない (6 件)
- 興味がないから (4 件)
- 勉強が忙しいから (3 件)
- その他 (4 件)
- つまらないから (6 件)
- 夜遅いから (5 件)
- 学校、部活が忙しいから (4 件)
- 参加しづらいから (2 件)

問 13 児童館に対し、何を要望しますか。(あてはまるものすべてに○)

「飲食ができる」29.6%、「友だちと気軽に話ができる場所がある」28.5%、「パソコンが自由に使える」27.9%、「カラオケやダンスができる」23.3%、「スポーツができる」22.4%、「休日も利用できる」22.2%など、あまり差がなくあげられている。



(5) 小金井市の事業や施設

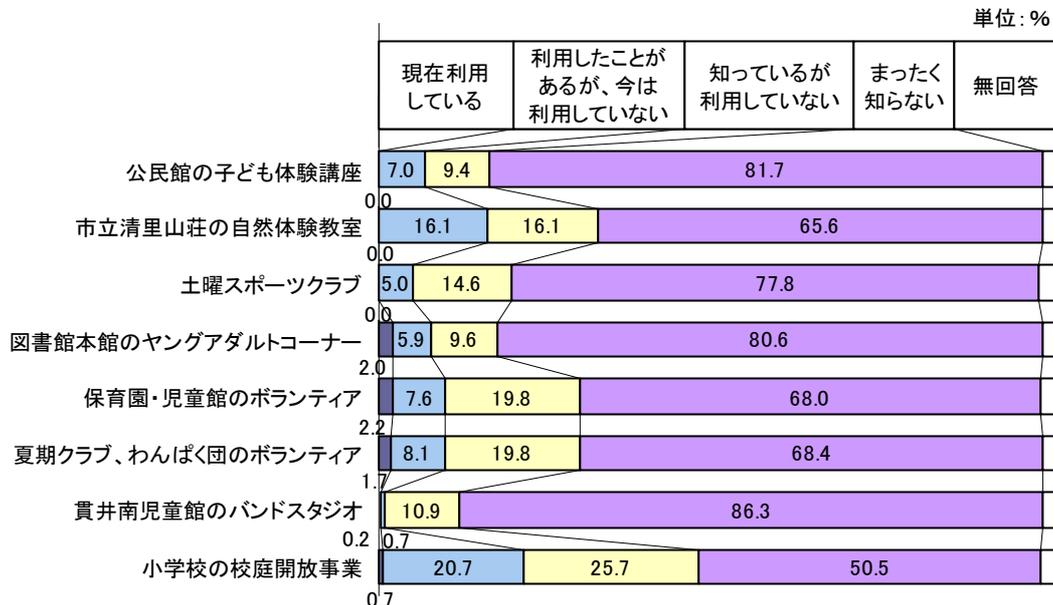
問 14 下記のサービスや事業についてお聞きします。

- 利用(参加)状況、(2)利用(参加)希望について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。
- ((1)で「1」または「2」をお選びの方へ)満足度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。
- ((1)で「2」または「3」をお選びの方へ)利用(参加)していない理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。利用していないサービスや事業が複数ある場合は、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 利用(参加)状況

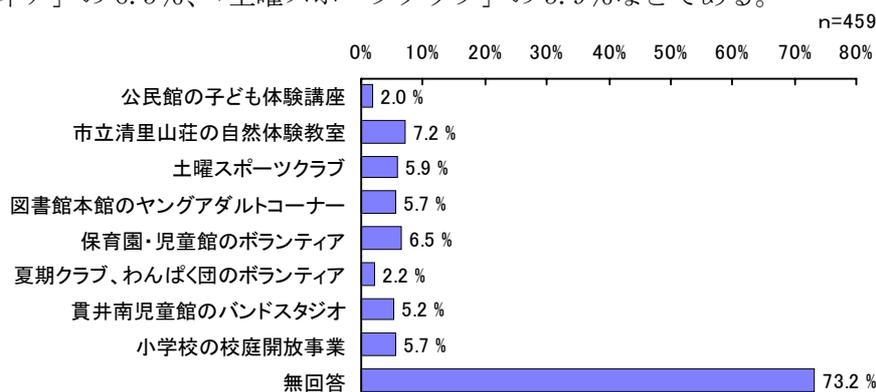
「現在利用している」と「利用したことがあるが、今は利用していない」を合わせた『利用あり』は「市立清里山荘の自然体験教室」16.1%、「保育園・児童館のボランティア」「夏期クラブ、わんぱく団のボランティア」9.8%、「図書館本館のヤングアダルトコーナー」7.9%などである。

「まったく知らない」は「貫井南児童館のバンドスタジオ」86.3%、「公民館の子ども体験講座」81.7%、「図書館本館のヤングアダルトコーナー」80.6%などに多い。



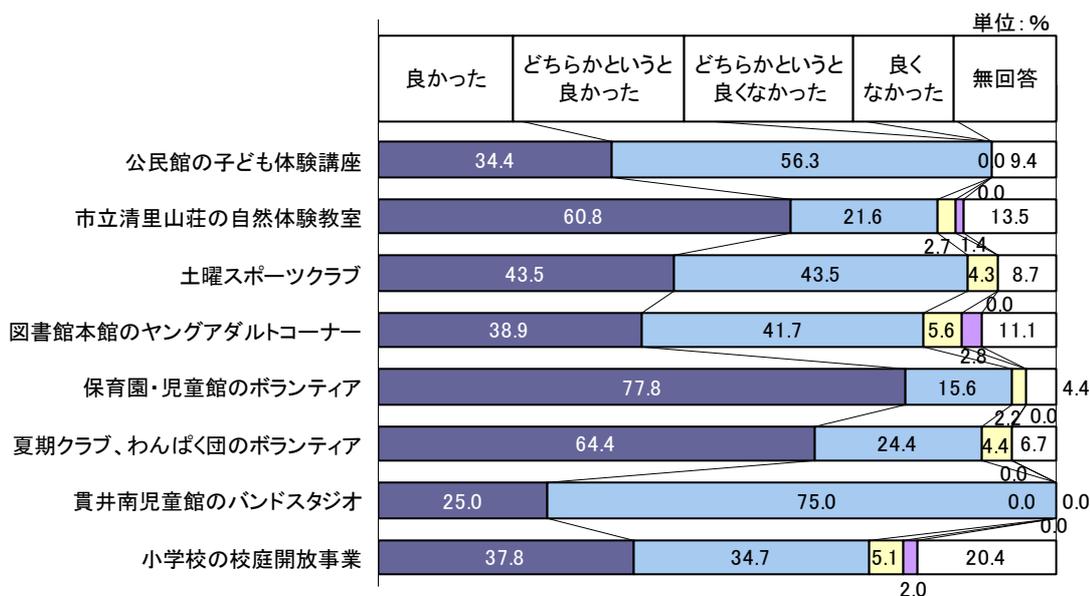
(2) 利用（参加）希望

利用希望はいずれも1ヶタである。「市立清里山荘の自然体験教室」の7.2%、「保育園・児童館のボランティア」の6.5%、「土曜スポーツクラブ」の5.9%などである。



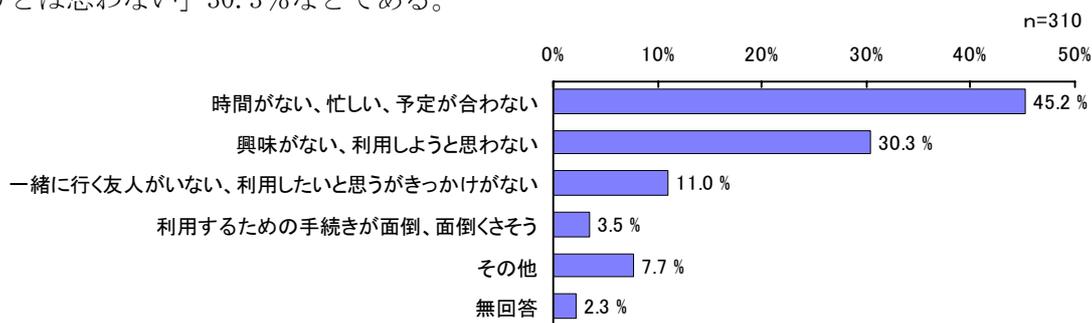
(3) 満足度

「良かった」と「どちらかという良かった」を合わせた『良かった』は、「貫井南児童館のバンドスタジオ」100.0%、「保育園・児童館のボランティア」93.4%、「公民館の子ども体験講座」90.7%など、いずれも満足度は高い。



(4) 利用（参加）していない理由

利用していない理由は、「時間がない、忙しい、予定が合わない」45.2%、「興味がない、利用しようと思わない」30.3%などである。



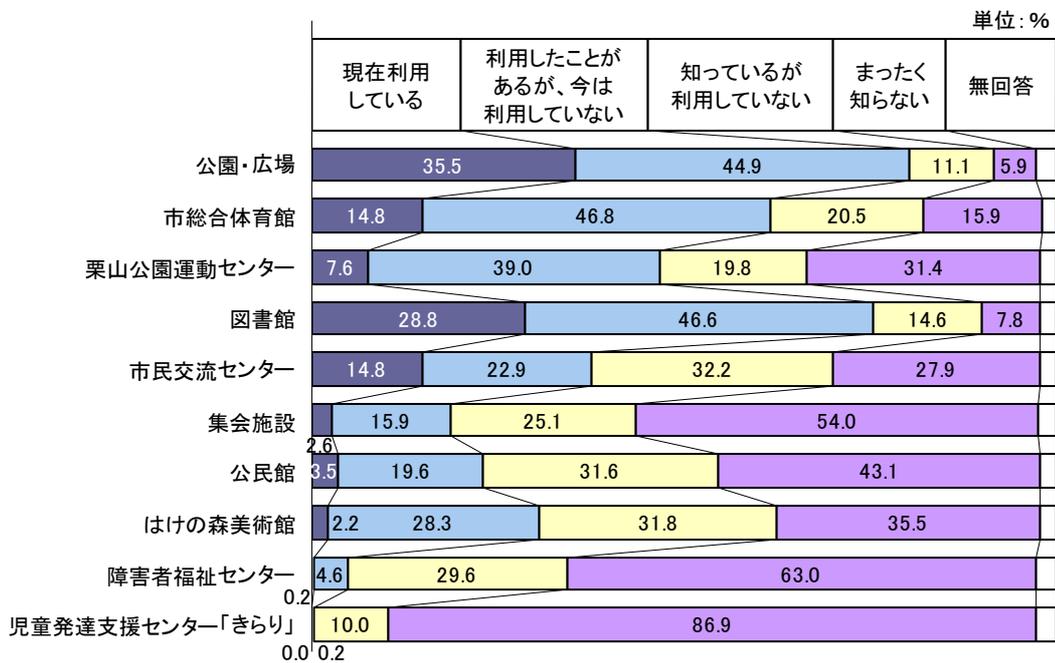
問 15 下記の施設等で実施しているサービスや事業についてお聞きします。

- (1) 利用(参加)状況、(2) 利用(参加)希望について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。
 (3) ((1)で「1」または「2」をお選びの方へ) 満足度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。
 (4) ((1)で「2」または「3」をお選びの方へ) 利用(参加)していない理由についてあてはまるもの1つに○をつけてください。利用していない施設等が複数ある場合は、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 利用(参加) 状況

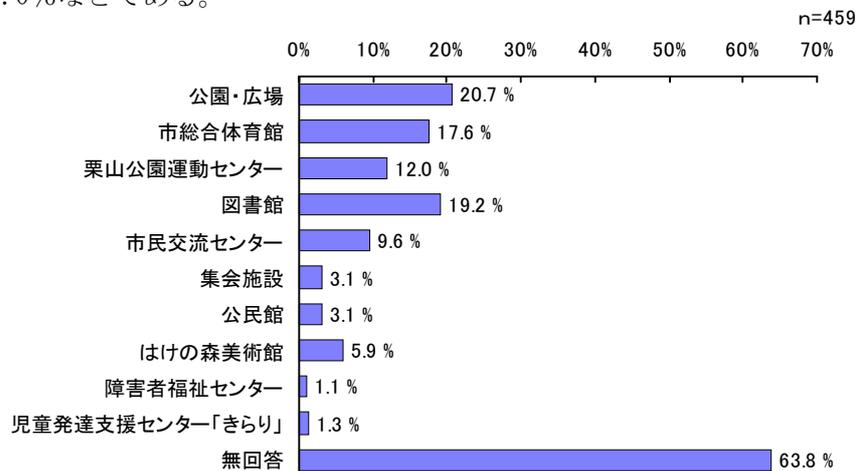
「現在利用している」が多いのは、「公園・広場」35.5%と「図書館」28.8%である。「利用したことがあるが、今は利用していない」を合わせた『利用あり』は「公園・広場」の80.4%、「図書館」の75.4%、「市総合体育館」の61.6%などである。

一方、「まったく知らない」は「児童発達支援センターきらり」86.9%、「障害者福祉センター」63.0%、「集会施設」54.0%などである。



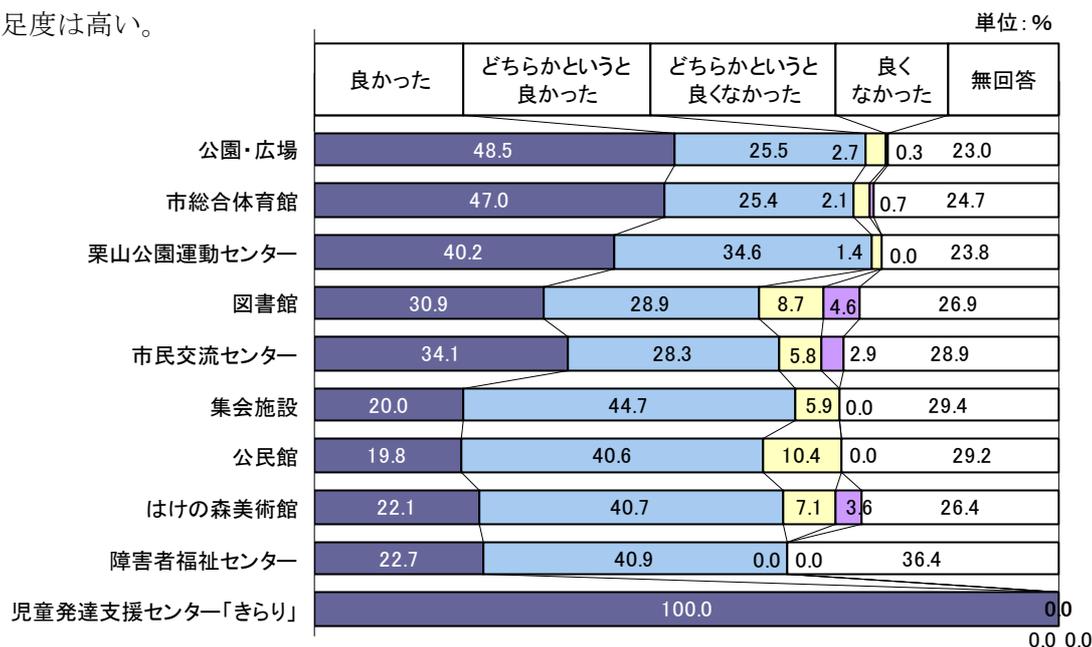
(2) 利用(参加) 希望

利用希望は、「公園・広場」20.7%、「図書館」19.2%、「市総合体育館」17.6%、「栗山公園運動センター」12.0%などである。



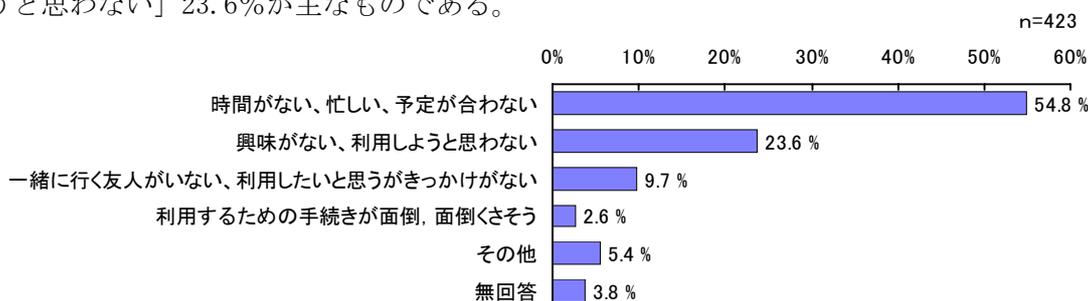
(3) 満足度

「良かった」と「どちらかという良かった」を合わせた『良かった』は、「栗山公園運動センター」74.8%、「公園・広場」74.0%、「市総合体育館」72.4%、「集会施設」64.7%など、いずれも満足度は高い。



(4) 利用（参加）していない理由

利用していない理由は、「時間がない、忙しい、予定が合わない」54.8%、「興味がない、利用しようと思わない」23.6%が主なものである。



問 15-1 どの施設の内容を充実してほしいですか。下の枠内に具体的に記入してください。施設は上表にな
いものでもかまいません。

主な内容は、下記のとおりである。

◇図書館（216件）

- 図書館を増やす・立地をよくする
- 蔵書を増やす・新しい本を増やす
- 希望の本、漫画・CD・DVDなどジャンルを置く、増やす
- 自習室・学習スペース
- 飲食・その他のスペース
- 開館時間について
- 蔵書・設備・館内を綺麗に、もっと広く
- その他

◇公園（50件）

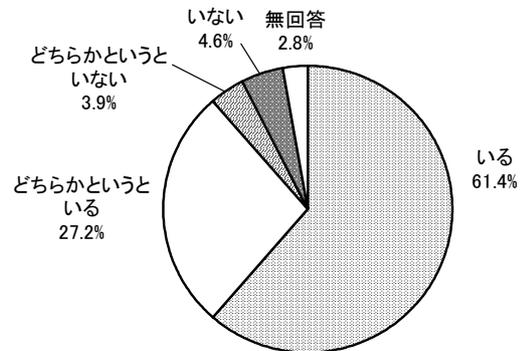
- 遊具、トイレやベンチなどの設備をよくする、増やす
- ボール遊びなどルールについて
- 料金について
- その他
- 広くしてほしい

- ◇交流センター (46 件) ○勉強スペース ○広くする
- 館内・設備をよくする、増やす ○その他のスペース
- その他
- ◇体育館 (31 件) ○館内・設備をよくする、増やす ○広くする
- 教室や講座、サークル ○体育館を増やす、近くに
- 開館時間 ○ルール・利用方法について
- その他
- ◇スポーツ施設 (16 件) ○設備をよくする、増やす ○数を増やす、家の近くに
- ルール・利用方法について ○その他
- ◇市内のお店 (6 件) ○アミューズメント ○その他
- ◇児童館 (5 件) ○中高生の利用について ○その他
- ◇東小金井駅 (3 件) ○お店を増やす ○もっと遊べるように
- ◇公民館 (3 件) ○もっと楽しめるように ○本を増やす
- ◇その他 (15 件)

(6) 日々の生活の問題など

問 16 悩んだとき、相談する人はいますか。(1つに○)

相談する人は「いる」61.4%、「どちらかというといふ」27.2%、合わせた『いる』は88.6%である。

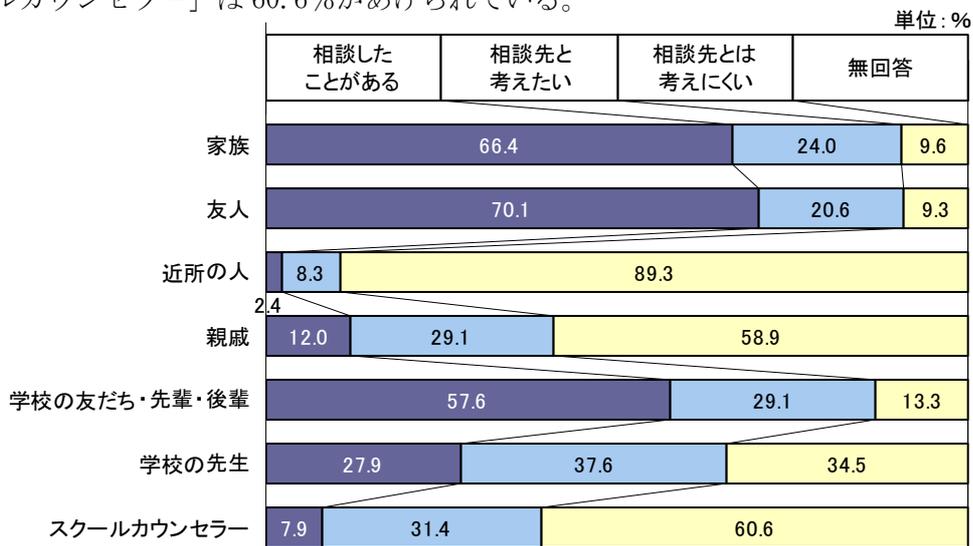


n=459

問 16-1 悩みごとや困ったことの(1)相談先と(2)相談結果について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。(2)は、(1)で「1」に○をつけた方のみお答えください。

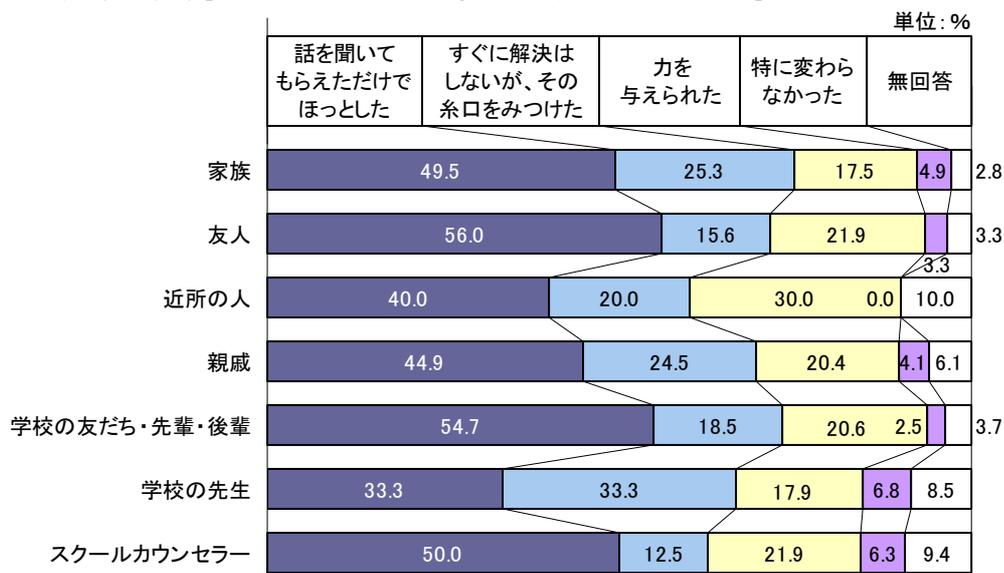
(1) 相談先

「相談したことがある」の相談先は、「友人」70.1%、「家族」66.4%、「学校の友だち・先輩・後輩」57.6%の順である。「相談先と考えたい」が多いのは、「学校の先生」37.6%、「スクールカウンセラー」31.4%であるが、同時に「相談先とは考えにくい」に対しても「学校の先生」は34.5%、「スクールカウンセラー」は60.6%があげられている。



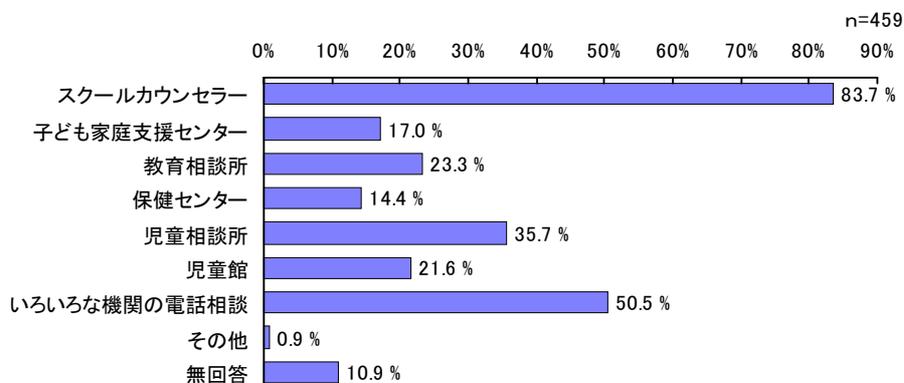
(2) 相談結果

いずれの相談先も「話を聞いてもらえただけで、ほっとした」が最も多い。「友人」56.0%、「学校の友だち・先輩・後輩」54.7%などである。「特に変わらなかった」はいずれも1ケタである。



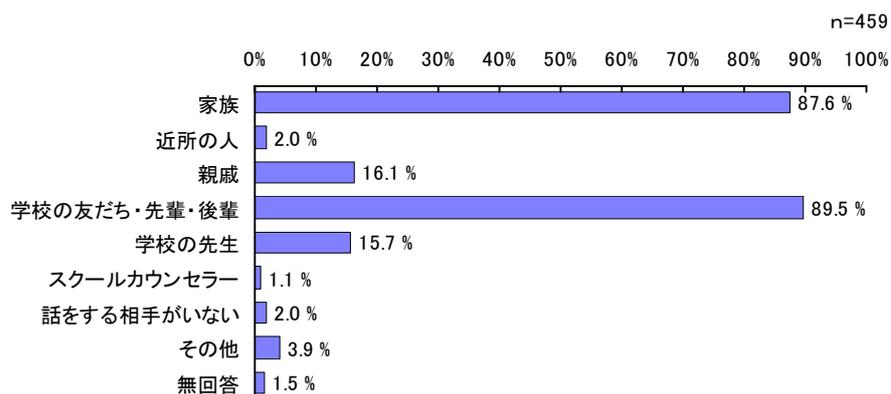
問 17 悩みごとや困ったことがある場合、次のような相談する場所があることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

相談先を知っているかについては、「スクールカウンセラー」83.7%、「いろいろな機関の電話相談」50.5%、「児童相談所」35.7%、「教育相談所」23.7%などである。



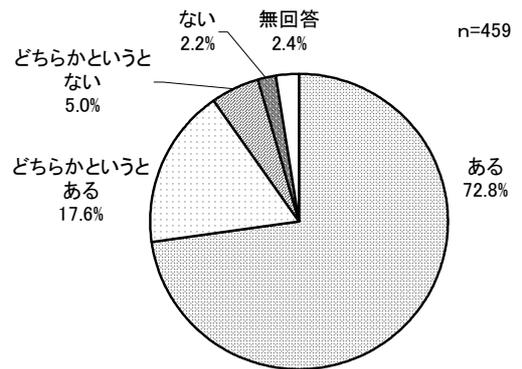
問 18 うれしいことがあった時、誰に話をしますか。(あてはまるものすべてに○)

「学校の友だち・先輩・後輩」89.5%、「家族」87.6%が主なところである。



問 19 自分がほっとする居場所がありますか。(1つに○)

「ある」72.8%、「どちらかというところある」17.6%、合わせた『ある』は90.4%である。



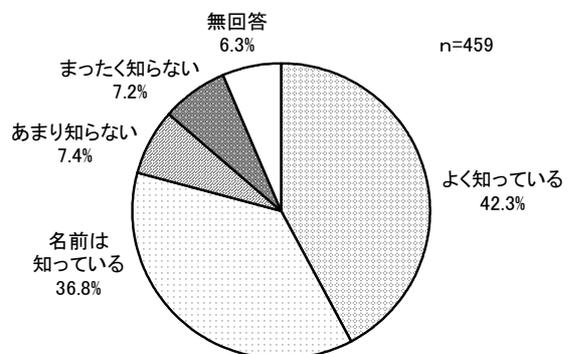
問 19-1(問 19 で「1」または「2」をお選びの方へ)ほっとする居場所を具体的に記入してください。

主な内容は、下記のとおりである。

- | | | |
|--------------------|---------------|-----------------|
| ○家・リビング (277 件) | ○自分の部屋 (69 件) | ○学校・教室 (62 件) |
| ○友達のそば・友達の家 (28 件) | ○布団 (21 件) | ○公園・公共施設 (15 件) |
| ○風呂 (9 件) | ○トイレ (7 件) | ○部活 (6 件) |
| ○家族のそば (6 件) | ○親戚の家 (5 件) | ○塾 (4 件) |
| ○家で一人になれる場所 (3 件) | ○その他 (33 件) | |

問 20 登下校時の不審者からの一時的緊急避難場所「子どもを見守る家(カンガルーのポケット)」を知っていますか。(1つに○)

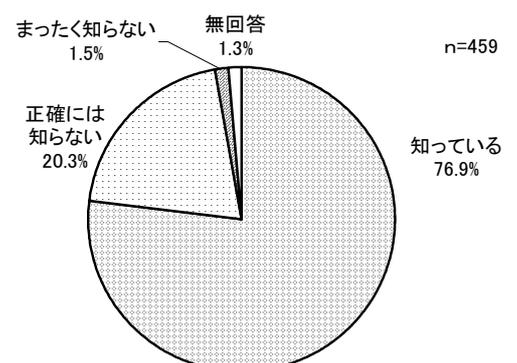
「よく知っている」42.3%、「名前は知っている」36.8%、「あまり知らない」7.4%、「まったく知らない」7.2%である。



(7) 自身の健康

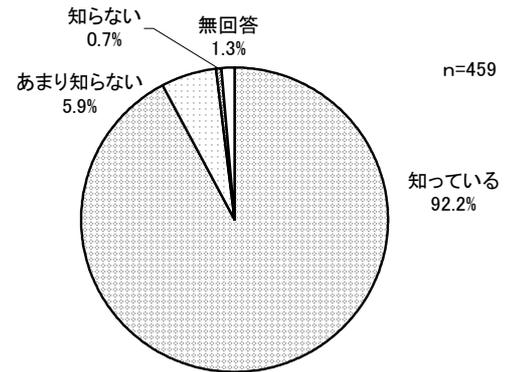
問 21 薬物乱用の有害性について正確に知っていますか。(1つに○)

「知っている」76.9%、「正確には知らない」20.3%、「まったく知らない」1.5%である。



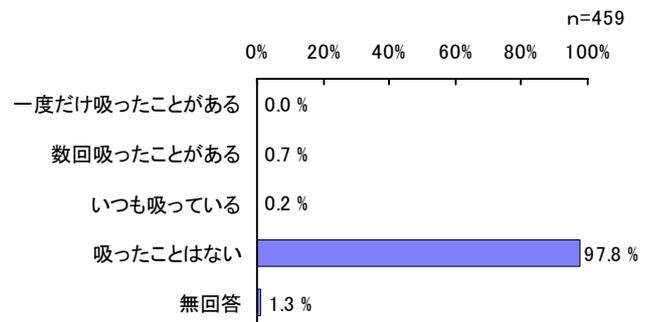
問 22 喫煙の害について知っていますか。(1つに○)

「知っている」92.2%、「あまり知らない」5.9%、「知らない」0.7%である。



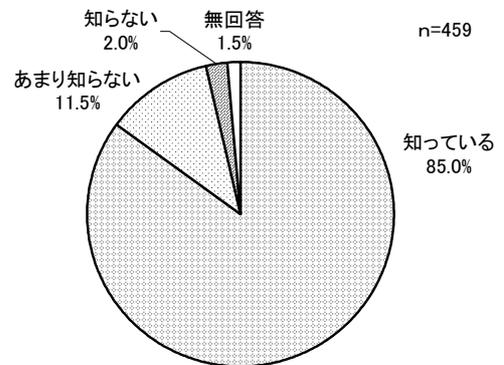
問 23 タバコを吸ったことがありますか。(1つに○)

「吸ったことはない」が 97.8%であり、「数回吸ったことがある」0.7%、「いつも吸っている」0.2%である。



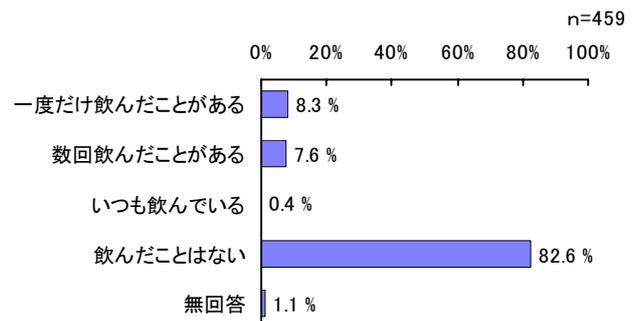
問 24 未成年者がお酒を飲むことの害を知っていますか。(1つに○)

「知っている」85.0%、「あまり知らない」11.5%、「知らない」2.0%である。



問 25 お酒を飲んだことがありますか。(1つに○)

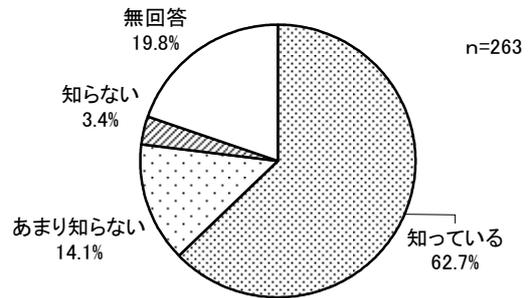
「飲んだことはない」が 82.6%であるが、「一度だけ飲んだことがある」8.3%、「数回飲んだことがある」7.6%である。



問 26 高校生年代の方にうかがいます。

性感染症等が体に及ぼす影響について知っていますか。(1つに○)

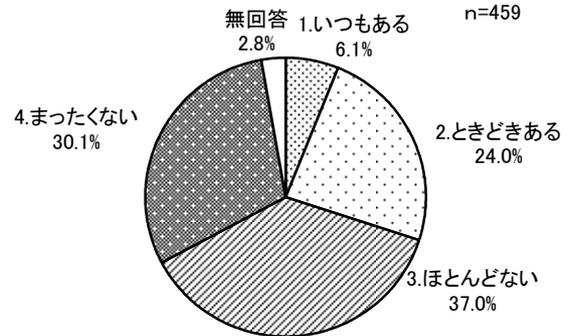
「知っている」62.7%、「あまり知らない」14.1%、「知らない」3.4%である。



(8) 異世代交流

問 27 ふだんの生活のなかで家族や親戚以外に乳幼児(小学校に入る前の子どもたち)や高齢者とふれあう機会がありますか。(1つに○)

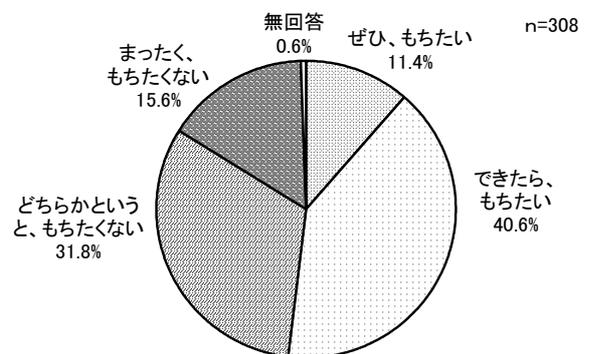
「いつもある」6.1%、「ときどきある」24.0%、合わせた『ある』は30.1%であり、約3人に1人となる。



問 27-1 問 27 で「3」または「4」をお選びの方にうかがいます。

乳幼児や高齢者と関わりをもってみたいと思いますか。(1つに○)

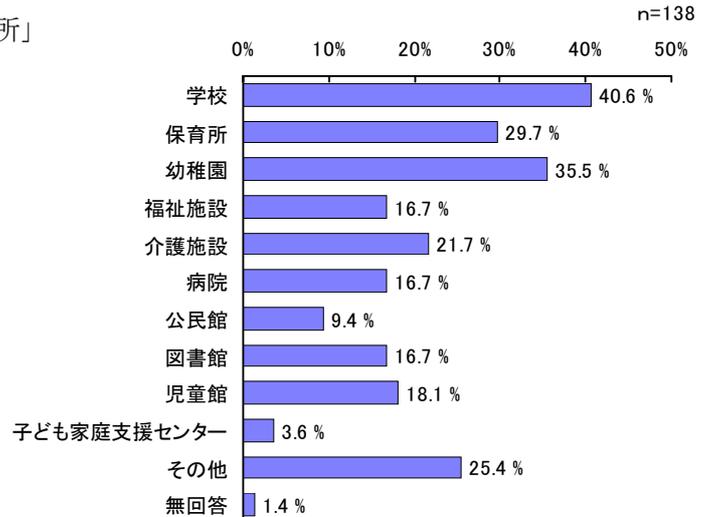
「ぜひ、もちたい」11.4%、「できたら、もちたい」40.6%、合わせた『もちたい』は52.0%、約2人に1人となる。



問 27-2 問 27 で「1」または「2」をお選びの方にうかがいます。

乳幼児や高齢者と関わりをもつならば、どのようなところがいいですか。(あてはまるものすべてに○)

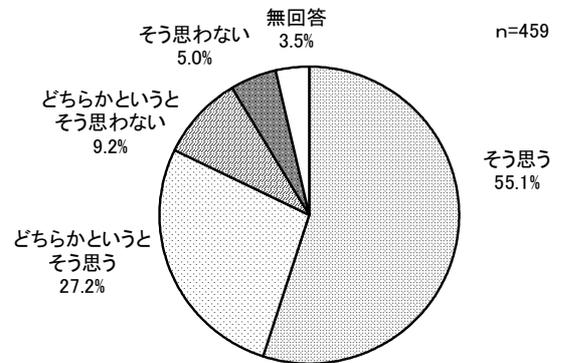
「学校」40.6%、「幼稚園」35.5%、「保育所」29.7%、「介護施設」21.7%などである。



(9) 将来のこと

問 28 将来、親になってみたいですか。(1つに○)

「そう思う」55.1%、「どちらかというと思う」27.2%、「どちらかというと思わない」9.2%、「そう思わない」5.0%である。



問 28-1 そのように思う理由は何ですか。下の枠内に具体的に記入してください。

主な内容は、下記のとおりである。

【そう思う・どちらかというと思う理由】

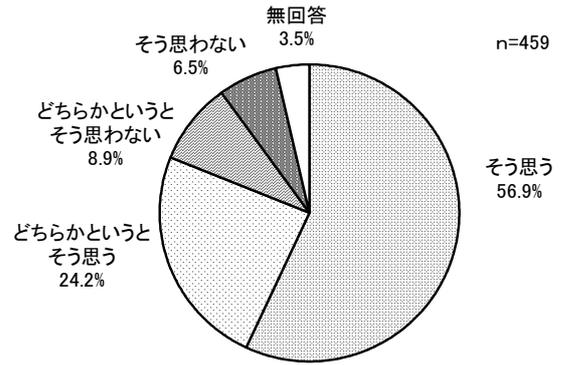
- | | |
|---------------------|------------------------|
| ○楽しそう・遊びたい (53件) | ○子どもが好き、かわいい (48件) |
| ○家族がほしい・孤独は嫌 (47件) | ○子どもがほしい、育てたい (45件) |
| ○当たり前・自然 (20件) | ○自分の親・家庭のようになりたい (17件) |
| ○自分も成長したい (12件) | ○人生を充実させたい (12件) |
| ○子孫を残したい (12件) | ○親の大変さを知りたい (10件) |
| ○子どもに教えたい、伝えたい (9件) | ○責任が重い・大変そうだがなりたい (5件) |
| ○自分の親を喜ばせたい (4件) | ○結婚できたら親になりたい (4件) |
| ○何となく (3件) | ○その他 (17件) |

【そう思わない・どちらかというと思わない理由】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ○責任が重い・大変そう (11件) | ○子供が苦手、育てるのが嫌 (9件) |
| ○親になりたくない、一人暮らしがいい (8件) | |
| ○願望がない (5件) | ○結婚できるか分からない (1件) |
| ○何となく (1件) | ○その他 (12件) |

問 29 将来、子どもを育ててみたいですか。(1つに○)

「そう思う」56.9%、「どちらかというと思う」24.2%、「どちらかというと思わない」8.9%、「そう思わない」6.5%である。



問 29-1 そのように思う理由は何ですか。下の枠内に具体的に記入してください。

主な内容は、下記のとおりである。

【そう思う・どちらかというと思う理由】

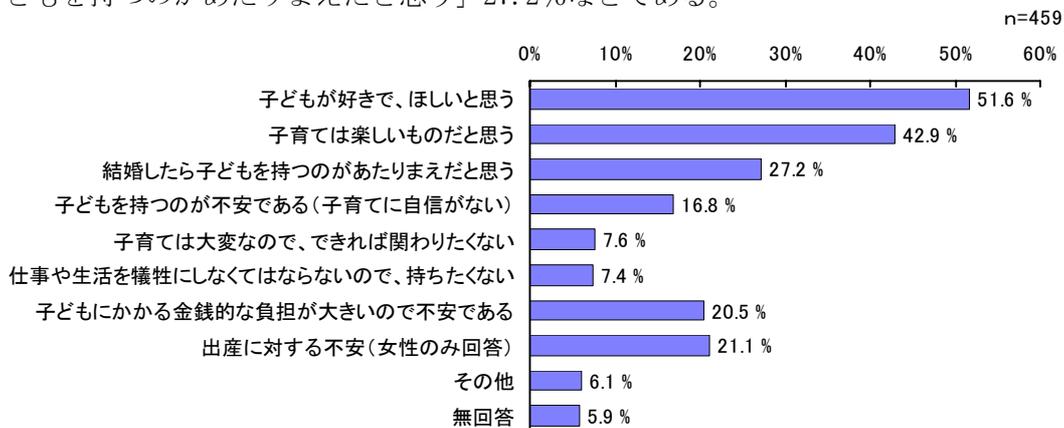
- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ○子どもが好き、かわいい (97 件) | ○楽しそう、一緒に遊びたい (60 件) |
| ○子どもの成長をみたい、育てたい (38 件) | ○自分も成長できる、経験したい (33 件) |
| ○親の気持ち、苦労を理解したい (15 件) | ○経験させたい、教えたい (13 件) |
| ○子孫を残したい、少子化だから (13 件) | ○当然のこと (12 件) |
| ○親になりたい、家族をもちたい (7 件) | ○自分の親をみて、そう思った (5 件) |
| ○親に孫をみせたい (2 件) | ○何となく (1 件) |
| ○その他 (21 件) | |

【そう思わない・どちらかというと思わない理由】

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| ○子どもが好きではない／苦手だから (13 件) | ○大変だから (10 件) |
| ○面倒 (10 件) | ○自分のことを優先したい (4 件) |
| ○自分には無理／自信がない (5 件) | ○お金がかかる (2 件) |
| ○仕事をしたいから (2 件) | ○自分の時間を削ってまで子どもを育てたくない (1 件) |
| ○今の社会が不安だから (1 件) | ○その他 (5 件) |

問 30 あなたは、子どもをもつことについて、どのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

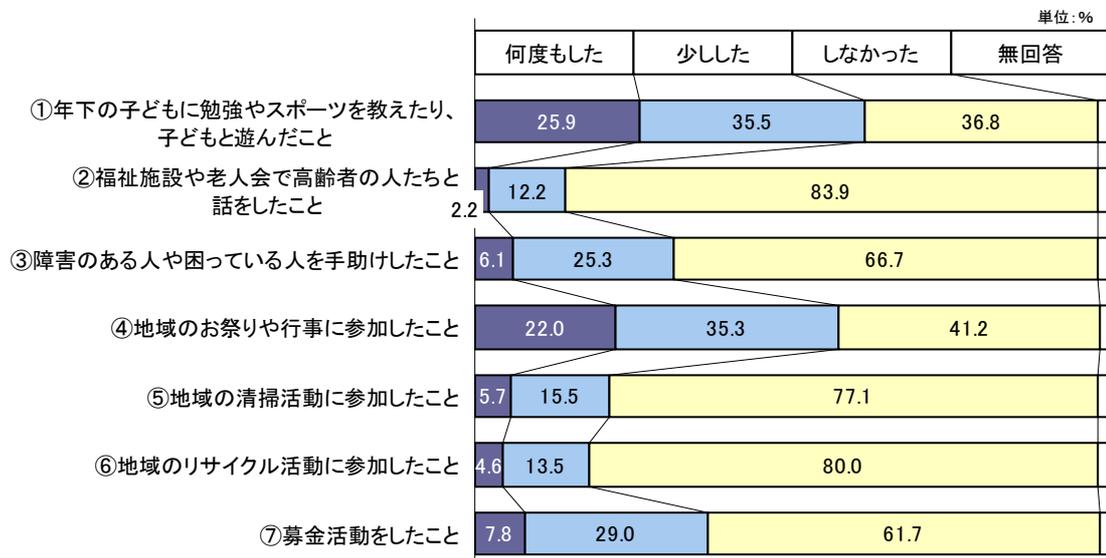
「子どもが好きで、ほしいと思う」51.6%、「子育ては楽しいものだと思う」42.9%、「結婚したら子どもを持つのがあたりまえだと思う」27.2%などである。



(10) 各種体験活動

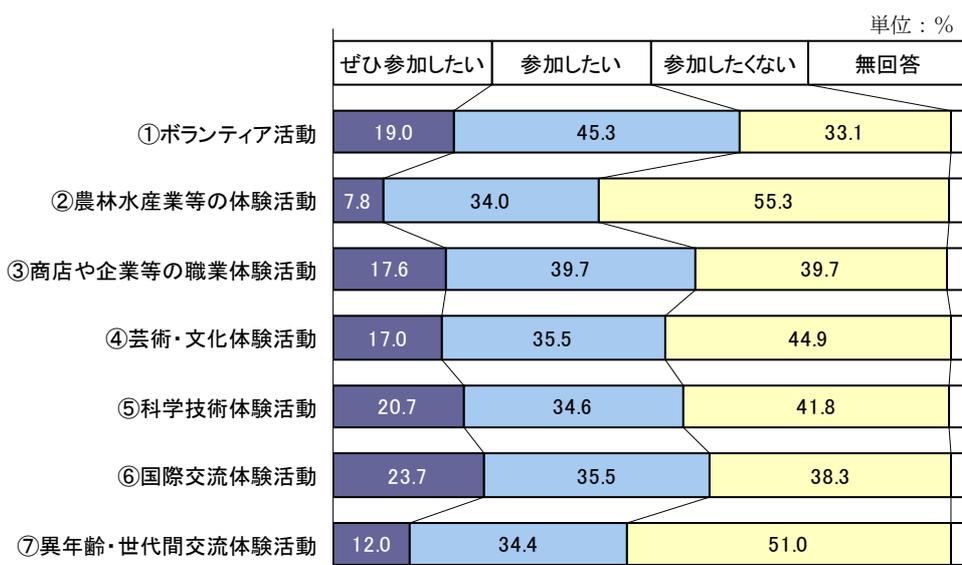
問 31 あなたは最近1年間で次のことをそれぞれどれくらいしましたか。(それぞれ1つに○)

いずれの活動も「しなかった」が「何度しました」や「少しした」を上回る。「何度しました」は、「年下の子どもに勉強やスポーツを教えたり、子どもと遊んだこと」が最も多く25.9%、次いで「地域のお祭りや行事に参加したこと」22.0%が多い。



問 32 あなたは次のような体験の機会があれば、参加したいですか。(それぞれ1つに○)

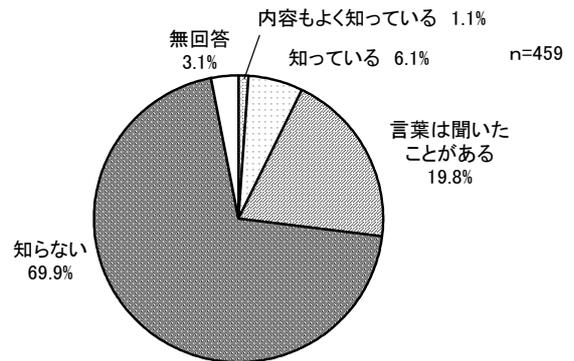
「ぜひ参加したい」は「国際交流体験活動」23.7%、「科学技術体験活動」20.7%、「ボランティア活動」19.0%などである。「参加したい」を合わせた『参加したい』は「ボランティア活動」64.3%、「国際交流体験活動」59.2%、「商店や企業等の職業体験活動」56.7%などである。



(11) 小金井市子どもの権利に関する条例関連

問 33 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに○)

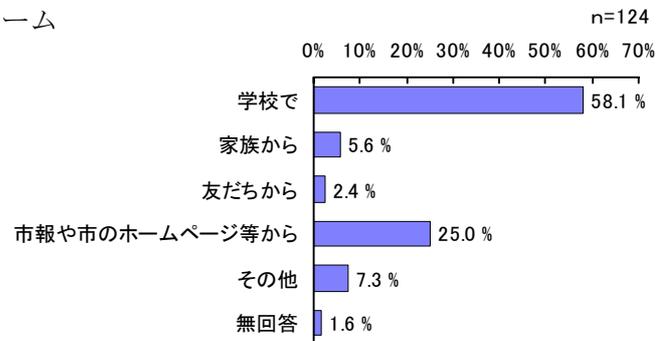
「内容もよく知っている」1.1%、「知っている」6.1%、「言葉は聞いたことがある」19.8%、「知らない」69.9%である。



問 33-1 問 33 で「1」～「3」をお選びの方へ

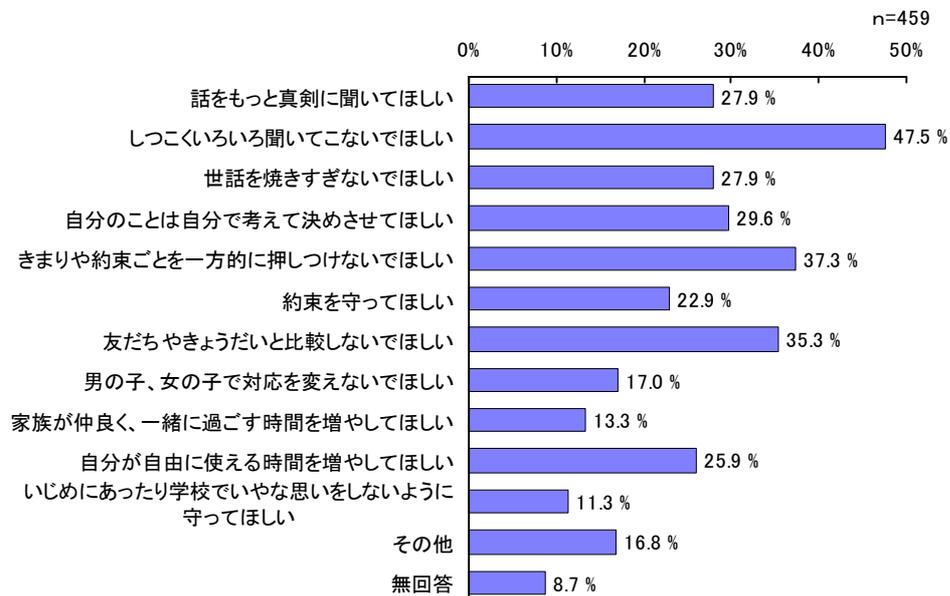
「小金井市子どもの権利に関する条例」をどこで知りましたか。(1つに○)

「学校で」58.1%、次いで「市報や市のホームページ等から」25.0%が主なところである。



問 34 あなたが大人に心がけてほしいことはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」47.6%、「きまりや約束ごとを一方向的に押しつけないでほしい」37.3%、「友だちやきょうだいと比較しないでほしい」35.3%などである。

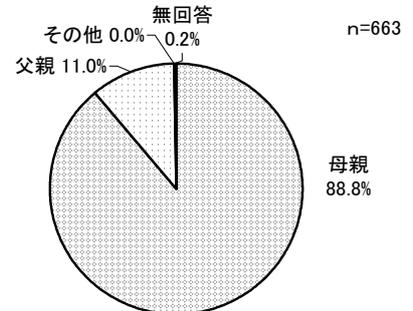


4 中学校・高校生年代の保護者調査

(1) あなた自身のこと

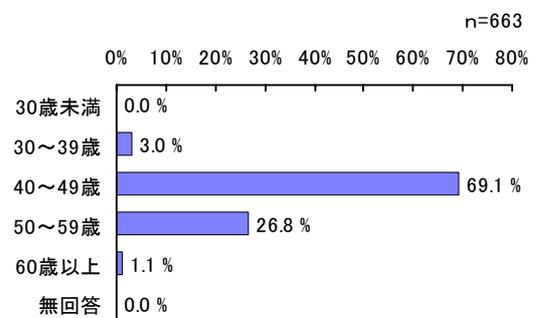
問1 この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「母親」88.8%、「父親」11.0%である。



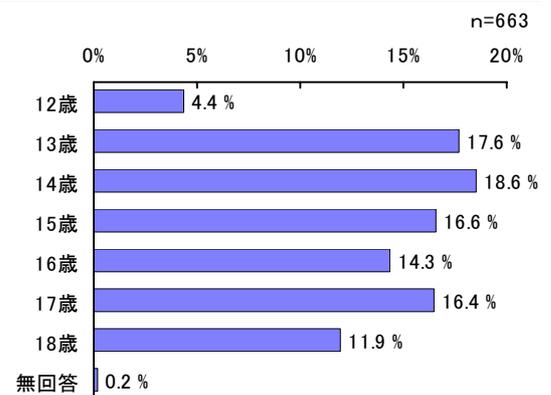
問2 回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)

「40～49歳」が最も多く69.1%、次いで「50～59歳」26.8%などである。



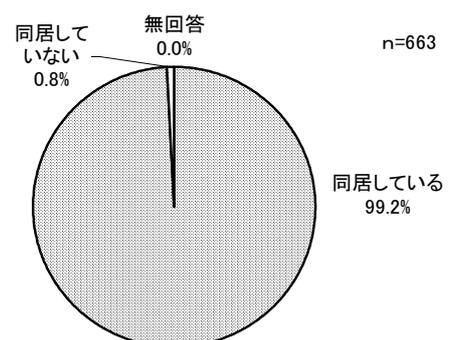
問3 宛名のお子さんの年齢を教えてください。(1つに○)

子どもの年齢は、「14歳」18.6%、「13歳」17.6%、「15歳」16.6%などである。



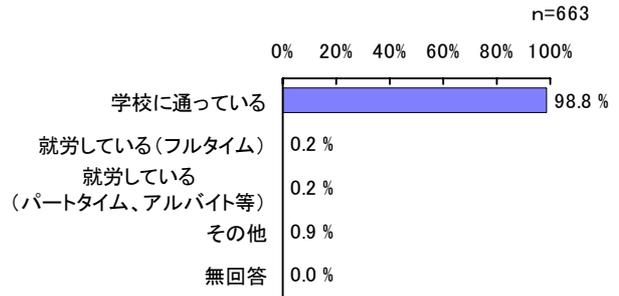
問4 宛名のお子さんと同居していますか。(1つに○)

「同居している」99.2%である。



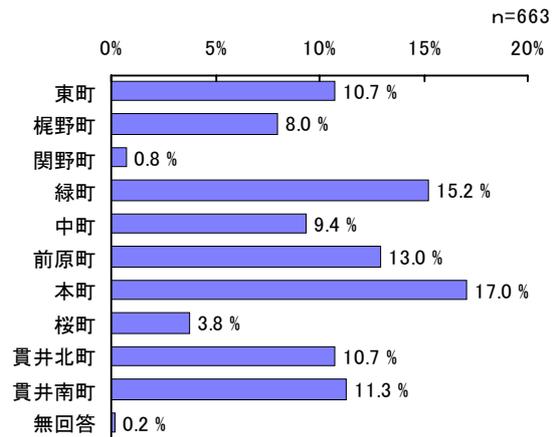
問5 宛名のお子さんは、学校に通っていますか。就労していますか。(1つに○)

「学校に通っている」98.8%である。



問6 どの地区に住んでいますか。(1つに○)

「本町」17.0%、「緑町」15.2%、「前原町」13.0%、「貫井南町」11.3%などである。

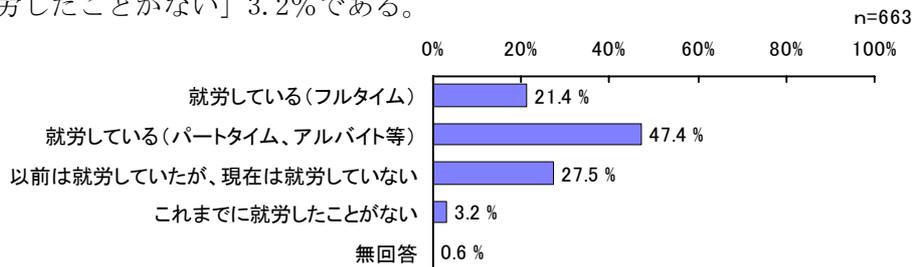


(2) 両親の就労状況

問7 宛名のお子さんのご両親の現在の就労状況についてうかがいます。ひとり親家庭の方についてはどちらかにお答えください。(それぞれ1つに○)

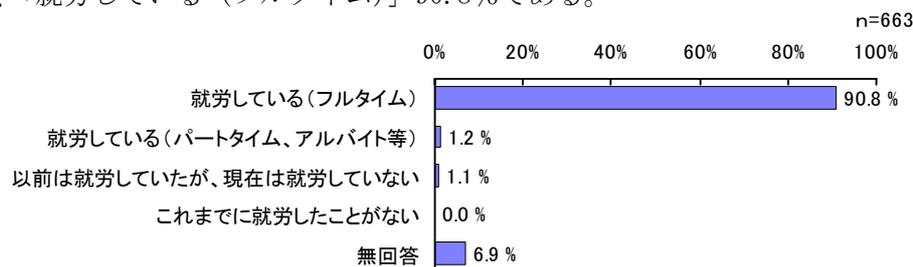
(1) 母親

母親の就労状況は「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が47.4%、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」27.5%、「就労している(フルタイム)」21.4%、「これまでに就労したことがない」3.2%である。



(2) 父親

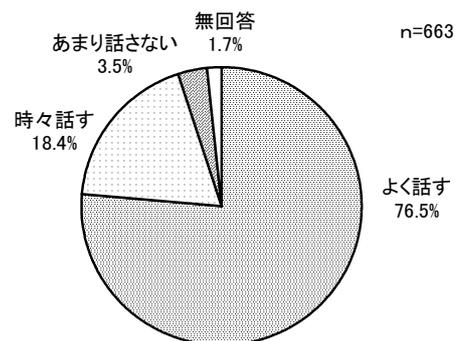
父親は、「就労している(フルタイム)」90.8%である。



(3) 子どもとの関わり方

問8 宛名のお子さんとはよく話をしますか。(1つに○)

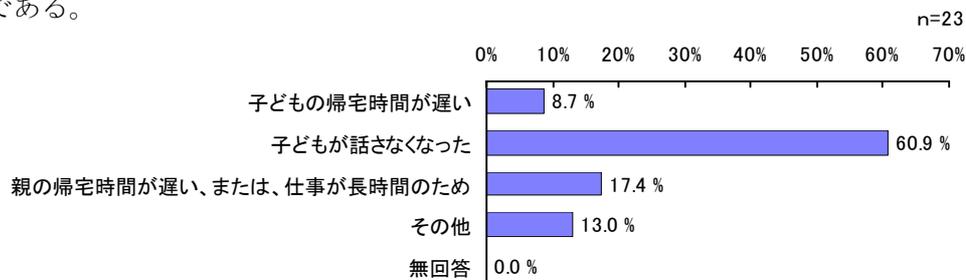
「よく話す」76.5%、「時々話す」18.4%、「あまり話さない」3.5%である。



問8-1 問8で「3」をお選びの方へ

あまり話さない理由は何ですか。(1つに○)

「子どもが話さなくなった」60.9%、「親の帰宅時間が遅い、または、仕事が長時間のため」17.4%などである。



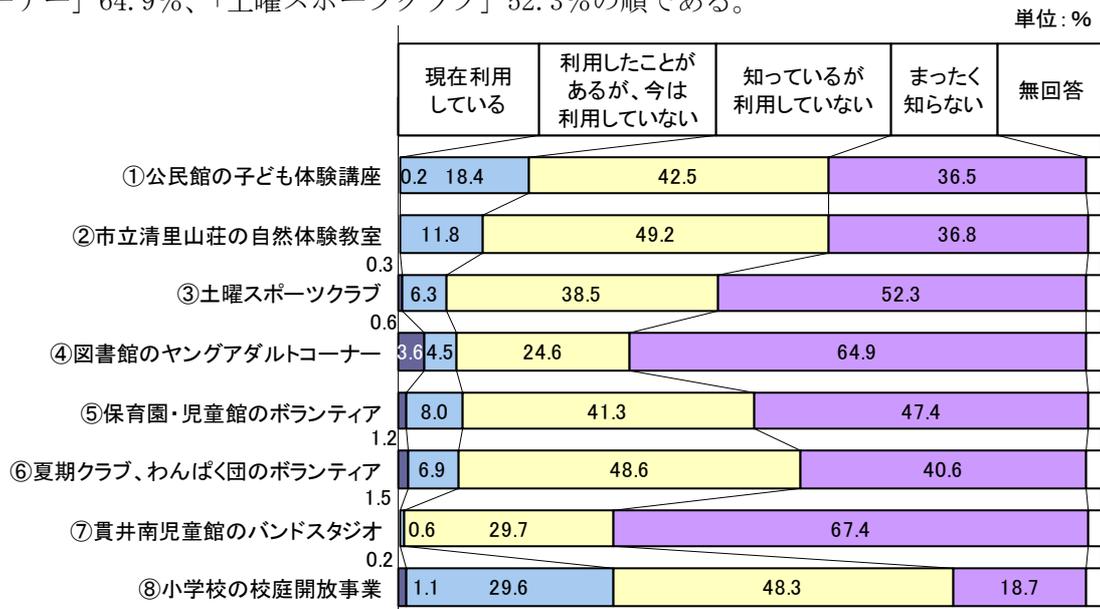
(4) 小金井市の事業や地域との関わり

問9 宛名のお子さんについて、下記のサービスや事業の(1)認知度・利用(参加)状況、(2)利用(参加)希望を、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 認知度・利用(参加)状況

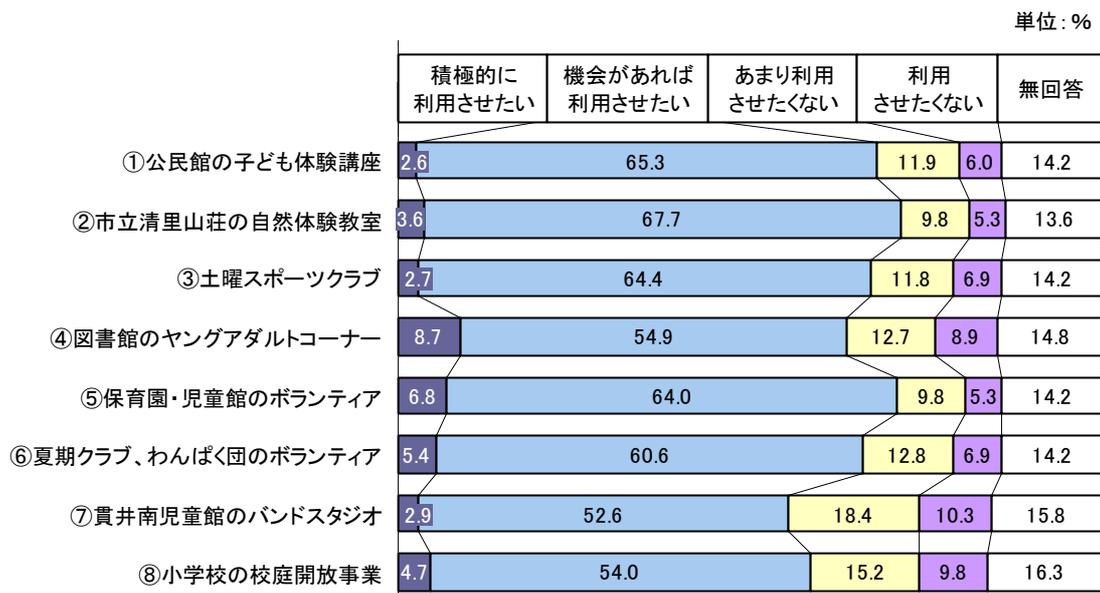
「現在利用している」と「利用したことがあるが今は利用していない」を合わせた『利用した』は「小学校の校庭開放事業」30.7%、「公民館の子ども体験講座」18.6%、「市立清里山荘の自然体験教室」12.1%であり、これら以外はすべて1ケタである。

「まったく知らない」は「貫井南児童館のバンドスタジオ」67.4%、「図書館のヤングアダルトコーナー」64.9%、「土曜スポーツクラブ」52.3%の順である。



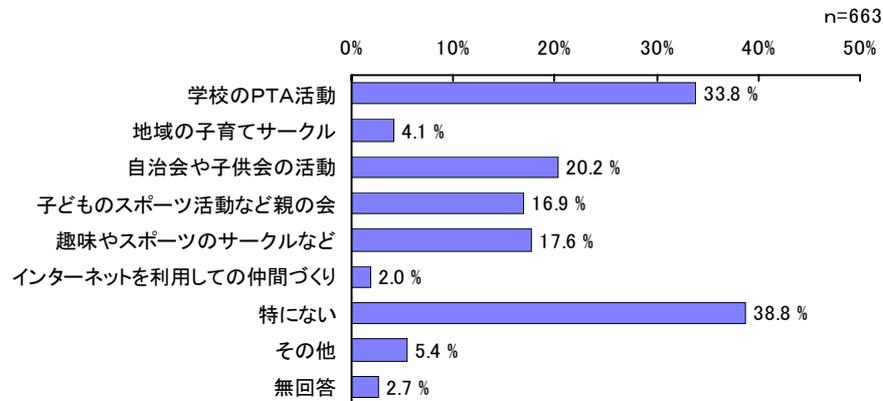
(2) 利用(参加)希望

利用希望は、「積極的に利用させたい」と「機会があれば利用させたい」を合わせた『利用させたい』はいずれのサービス・事業も50~70%である。



問 10 この調査票に回答いただく方は地域と関わって何か活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

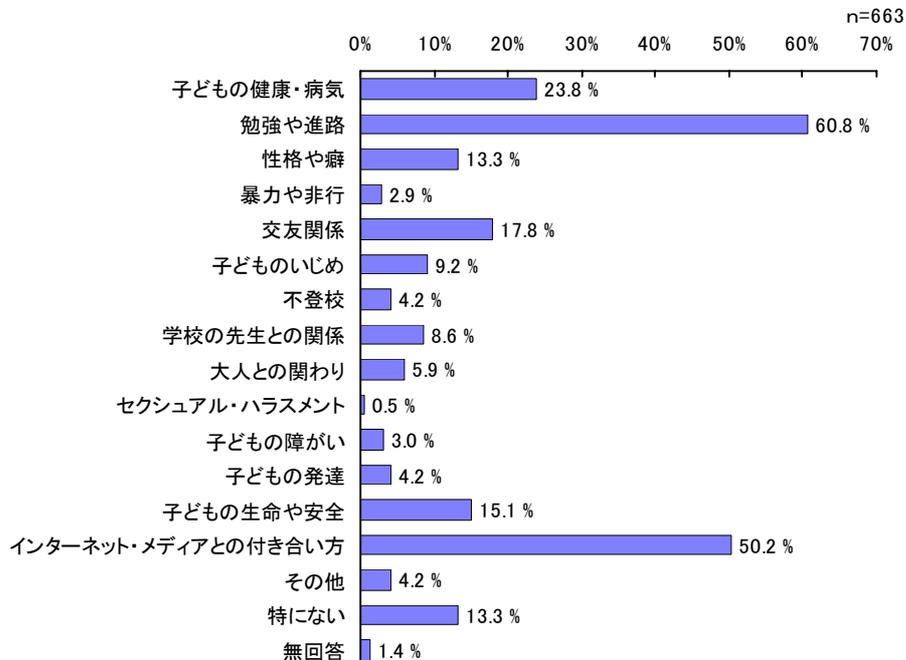
「特にない」が 38.8%と最も多い。「学校のPTA活動」33.8%、「自治会や子供会の活動」20.2%、「趣味やスポーツのサークルなど」17.6%などである。



(5) 子育ての悩みなど

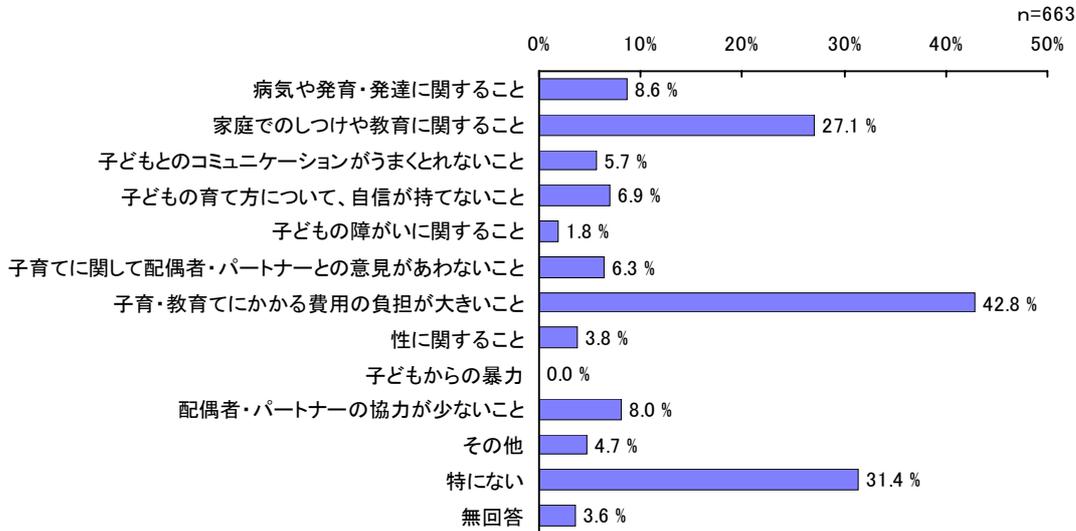
問 11 現在、子どもを取り巻く環境や、宛名のお子さんのことでどのような問題が気になりますか。(あてはまるものすべてに○)具体的にはどんなことですか。()内にご記入ください。

「勉強や進路」60.8%、「インターネット・メディアとの付き合い方」50.2%を多くの方があげている。



問 12 現在、宛名のお子さんの教育や子育てのことでどのようなことに悩んだり、困ったりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「子育て・教育てにかかる費用の負担が大きいこと」42.8%、「家庭でのしつけや教育に関すること」27.1%であり、これら以外はすべて1ケタである。

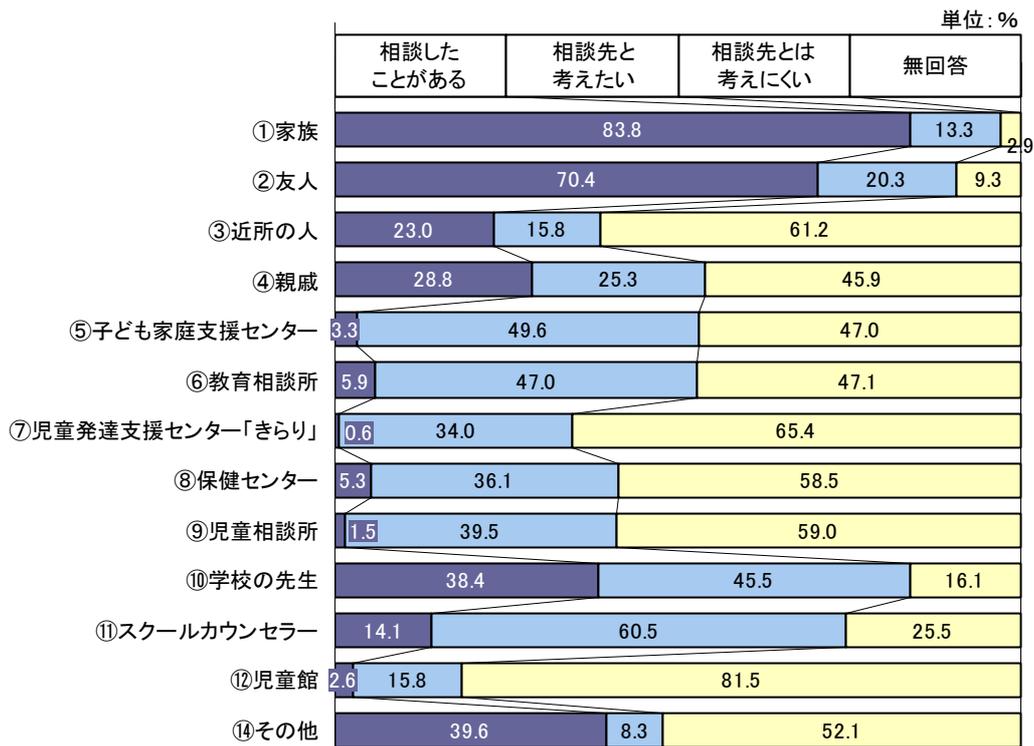


問 13 悩みごとや困ったことの(1)相談先と(2)相談結果について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。(2)は、(1)で「1」に○をつけた方のみお答えください。

(1) 相談先

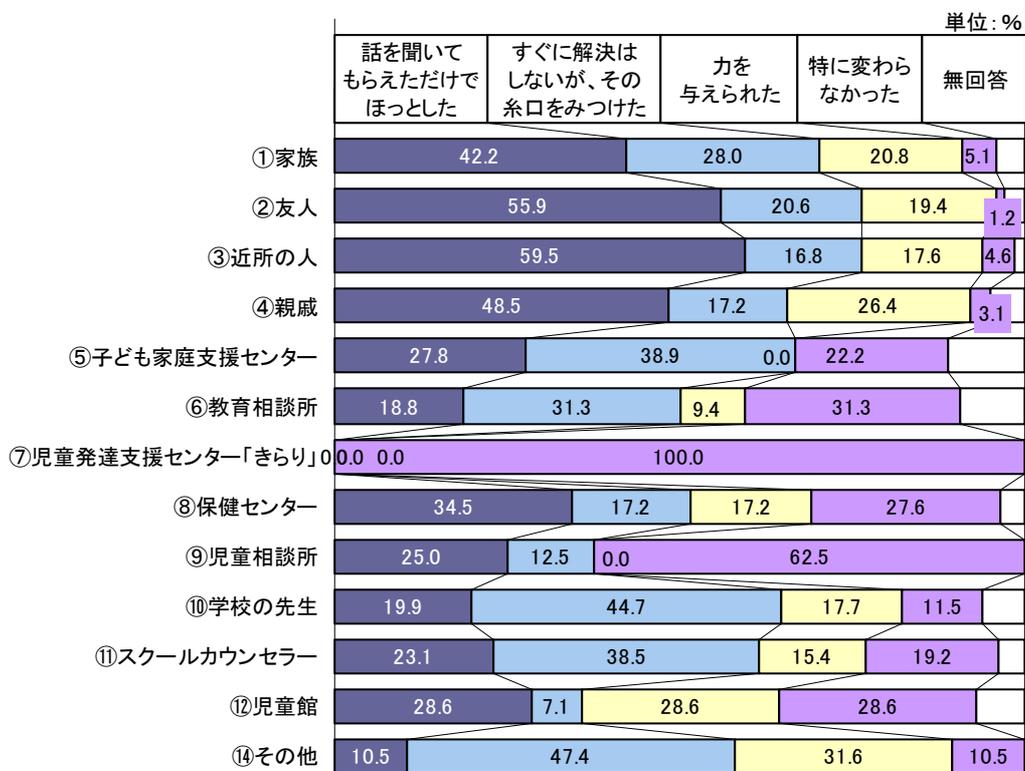
「相談したことがある」は、「家族」83.8%が最も多く、次いで「友人」70.4%、「学校の先生」38.4%などである。

「相談先と考えたい」は、「スクールカウンセラー」60.5%、「子ども家庭支援センター」49.6%、「教育相談所」47.0%、「学校の先生」45.5%の順である。



(2) 相談結果

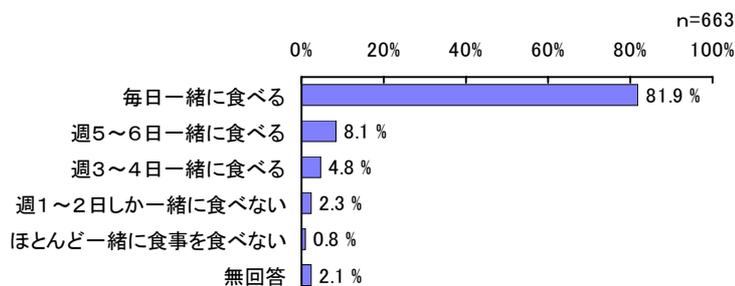
「話を聞いてもらえただけでほっとした」は「近所の人」59.5%、「友人」55.9%、「親戚」48.5%などの順に多いのに対し、「すぐに解決はしないが、その糸口をみつけた」は、「学校の先生」44.7%、「子ども家庭支援センター」38.9%、「スクールカウンセラー」38.5%、「教育相談所」31.3%といった専門機関や先生に多い。



(6) 子どもの現在の食生活

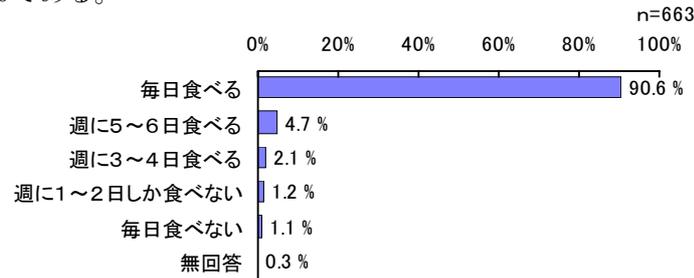
問 14 宛名のお子さんは、家族の誰かと一緒に食事をとっていますか。朝食または夕食のどちらかでも一緒に食事をとっている場合は、1日と数えてください。(1つに○)

「毎日一緒に食べる」81.9%、「週5～6日一緒に食べる」8.1%などである。



問 15 宛名のお子さんは、毎日朝食をとっていますか。(1つに○)

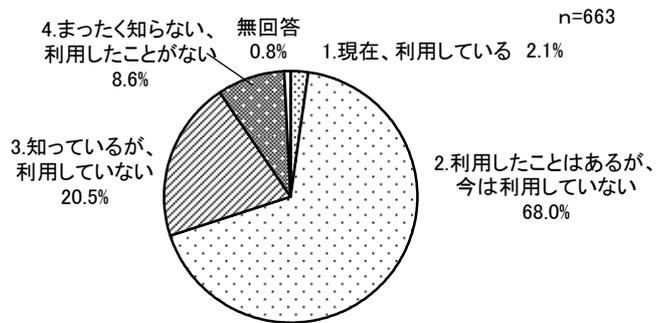
「毎日食べる」90.6%である。



(7) 児童館の利用

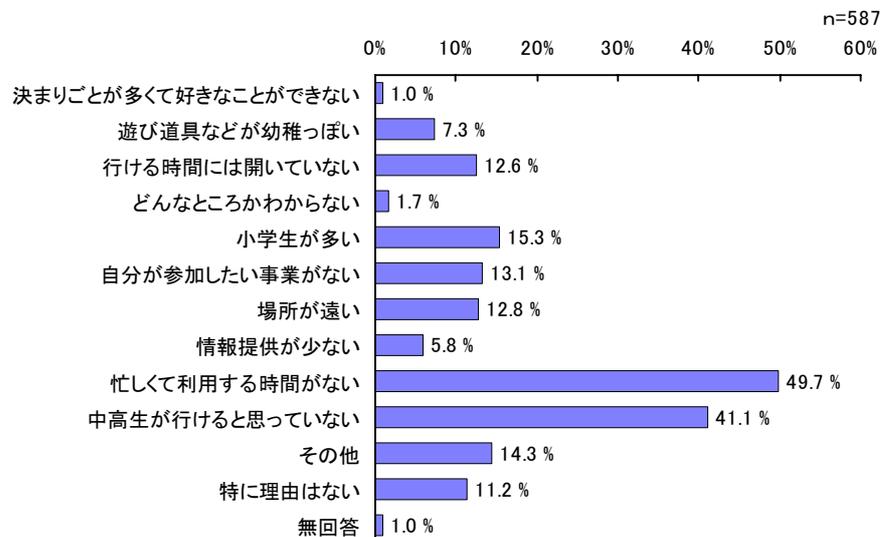
問 16 宛名のお子さんは、児童館を利用したことがありますか。(1つに○)

「現在利用している」2.1%、「利用したことはあるが、今は利用していない」68.0%、「知っているが、利用していない」20.5%、「まったく知らない、利用したことがない」8.6%である。



問 16-1 (問 16 で「2」または「3」をお選びの方へ) 児童館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

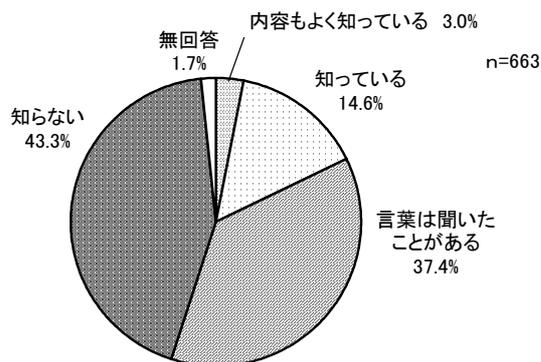
児童館を利用していない理由は「忙しくて利用する時間がない」49.7%、「中高生が行けると思っていない」41.1%を多くの人があげている。



(8) 小金井市子どもの権利に関する条例関連

問 17 「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。(1つに○)

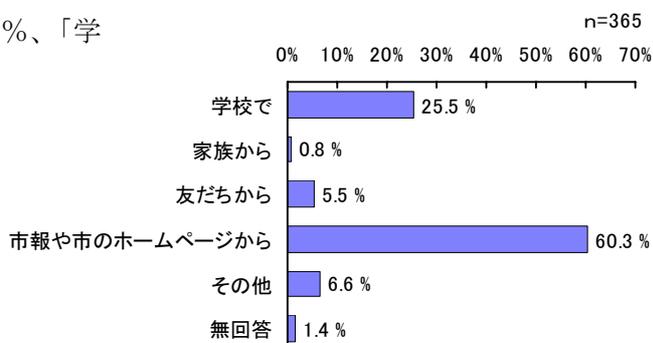
「内容もよく知っている」3.0%、「知っている」14.6%、「言葉は聞いたことがある」37.4%、「知らない」43.3%である。



問 17-1 問 17 で「1」～「3」をお選びの方

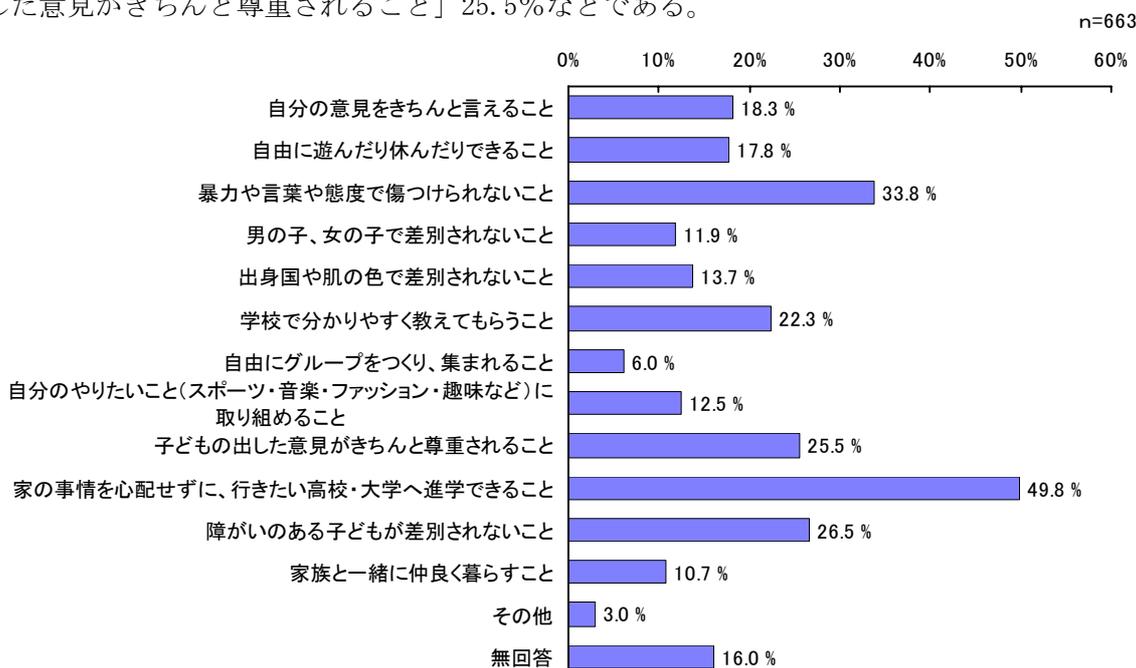
「小金井市子どもの権利に関する条例」をどこで知りましたか。(1つに○)

「市報や市のホームページから」60.3%、「学校で」25.5%などである。



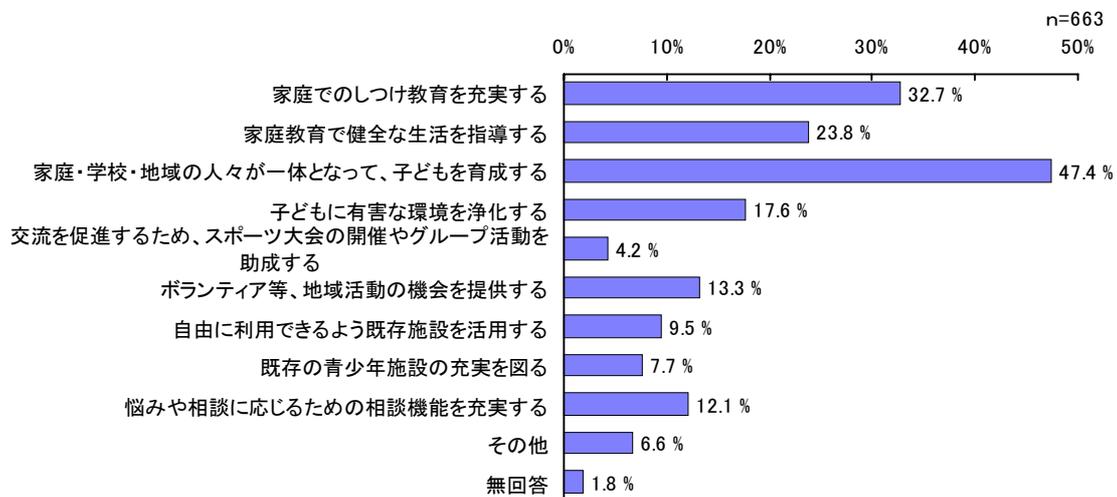
問 18 ふだんの生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「家の事情を心配せずに、行きたい高校・大学へ進学できること」49.8%、「暴力や言葉や態度で傷つけられないこと」33.8%、「障がいのある子どもが差別されないこと」26.5%、「子どもの出した意見がきちんと尊重されること」25.5%などである。



問 19 子どもの健全育成をすすめるため、あなたが特に力を入れた方がよいと思われることはどのようなことですか。(2つにまで○)

「家庭・学校・地域の人々が一体となって、子どもを育成する」47.4%、「家庭でのしつけ教育を充実する」32.7%、「家庭教育で健全な生活を指導する」23.8%などである。



資料編 自由回答

1 就学前児童

(記入者：小金井市内に居住する就学前児童の保護者)

■学童・保育園・幼稚園 (452 件)

- ・仕事と子育てをしている母親が多い時代になったことで、利用出来る時間も幅を広げて欲しい。子供の事を考えて頂けるだけなら、学童は19時まで延長すべきです。
- ・希望の保育園に希望する時期に入れれないことについては、継続して対策が必要だと思います。
- ・幼稚園が少ない。預かってもらえる場所が少ない。
- ・保育園に入れて仕事をしたいが出来ない。もっと一時保育だけでも充実させてほしい。
- ・小金井市は認可保育所の空きがなく、待機児童が多い地域で最悪と聞きました。私の子供も待機児童となっておりますが、26年度入所できないと大好きな小金井市で生活出来なくなってしまいます。認証保育所も空きが無いようで、本当に困ってしまいます。是非、充実させて下さい。よろしくお願いします。
- ・保育園が足りない。0才で預けないと良い所に入れれないのはおかしい。育休制度を使うなど言う事なのか。1歳、2歳でも保育園に入れるように整備して欲しい。
- ・小学校入学後、放課後帰宅せず17時まで安全に過ごせない為、小学校内で過ごせる場所がほしい。決して学童や児童館ではないのです。週一や突発的な時に対応して頂ける場所が必要です。小金井市内の小学校に作って下さい。
- ・新しい保育園を作る場合、現在ある保育園からの分園として暫くは園長を兼任させるなど対策を取って貰いたい。又、幼稚園との総合子ども園の成立を急いで欲しい。また、地域の高齢者の力をお借りして子育てが出来たら良いと思う。(老人ホームと保育園の併設などもとても良いと思う)。小金井市は国立大学が2つもあるので、そのスペースの有効活用、大学生の子供支援活動等にも期待したい。
- ・教育・環境について不安に思うところはないが、保育園、幼稚園の少なさが今後の不安に繋がっていくように思う。特に中央線北側は1つも幼稚園がなく非常に不便。同じ幼稚園から同じ小学校に行く子も少なく、子供がなじむのに時間がかかる性格なので、出来れば小金井市北部ですと通園・通学出来れば良かったのと思う。
- ・市立幼稚園がないのはなぜでしょう。幼稚園や小学校低学年の子を夏・冬休み等、長期の休み中預けられる所があって欲しい。夫の扶養内でパートに出たいが、長期休みがネックで出られません。
- ・保育園を増やしてほしい。また現在の待機児童数を見ると今後、学童も不足するのではないかと不安になる。小金井市の学童は3年生までと聞いているが、小学校高学年生であっても、放課後や長期休暇時に一人で留守番させるのは親としては心配なので、その辺の対策も考えて欲しい。子供がもう一人欲しいが、現在の小金井市の状況では不安すぎて、共働きの我が家ではなかなか踏み切れずにいます。
- ・保育園に病児施設があれば利用しやすい安心です。実際、病児保育に預けたことがあるが、重い病気で長期間いる子が多く、別の病気を移しあっていると思い、その後は利用出来ませんでした。保育園なら通常の園児の状況も分かっており、よいかと思いました。
- ・病児保育(病後児ではなく)がないので、是非作って欲しいです。19時までの学童保育が欲しいです。
- ・保育所と学童保育の受入時間の差が生じている点は、近隣の市よりかなり遅れていると思う。何故19時まで見ることが出来ないのか。それならば民間に委託してほしい。高額になっても構わないと思っているので、19時までは預けられる学童保育を充実すべきです。もしくは紹介して欲しい。
- ・幼稚園の預かり保育を長期休暇中でもやってほしい。でなければ保育園に入れる様にして欲しい。働きたいのに子供を預けられないから働けないことを理解して欲しい。小学校入学も学童や放課後など、子供を見てくれる環境を作って欲しい。フルタイムでなくても、保育園に入れる様にしてほしい。子育ての精神的ストレスを相談出来る電話相談などが欲しい。
- ・保育園の待機児童が多すぎる。入所出来ないことを懸念して、次の子の妊娠を迷う夫婦が周囲に沢山いる。多様な働き方の親に対応出来るよう、日・祝の保育、夜間、病児等、行政として工夫していくべきではないか。そういう時に積極的に預ける親はおらず、皆仕方なく預ける選択をするのだから、もっと行政が親に手を差し伸べて欲しい。
- ・現在の学童保育の指導員の熱意にはとても満足しています。(開所時間が短すぎますが・・・)。保育所・学童共に入れば満足度は高いので、まず「入れる状況」を整備することが大切だと思っています。(特に保育所)。保育所が7時から開いているのは、とてもありがたいです。
- ・どんな保育内容の幼稚園があるか、保育園があるか詳しく知りたい。保育料の事なども。
- ・私自身も働かないと経済的に厳しいので働いていますが、本当は育児に専念したい気持ちもあります。ただ、保育園も工夫して様々に親以上に教育して下さっているので、良い保育園が増えるといいなと思っています。
- ・近所に祖父母や親戚がいないため、保育園の一時保育を利用してきましたが、急ぎの用事などでは利用しにくいと思っています。もっとふらっと預けられるような場が欲しいと思っていました。又、子供はすぐ風邪をひき病院へ行く事が多いので、病院内に保育施設があればと、2人の子持ちになり思うようになりました。
- ・働いている働いていない関係なく、学童保育や保育園が利用出来たらもっと母親も就労のチャンスが増えると思う。学童も3年生まででなく、4~6年生でも利用出来たら働いている親は尚、安心するのではないのでしょうか。学童の民営化などの話があるようですが、民営化ならではの子ども達への支援の向上があればいいなと思います。
- ・就業中でなくても、母親が病気だったり、事情がある場合には保育園に入れるようにして欲しい。
- ・共働きの家庭への支援を融通しすぎである。一馬力の家庭にとっての支援の充実もお願いしたい。例えば、幼稚園への助成金が少ない。共働きは経済的に恵まれているので支援する必要はないと思う。
- ・希望した保育園に入れるように、そしてきちんとした体制が取れているようにして欲しい。自宅で子どもを見てもらえるシステム。病児保育の充実。
- ・保育園の数の充実をお願いします。一時利用が増えるといいです。収入により保育料の差をつけても良いと思

います。共働きなのである程度の支出はやむを得ないと思ってます。

- ・小金井市には保育所も少なく、公共の場はほぼ全て土日休み。働いている親にとってはとても住みにくい。府中市のたっちのようなものの設立を検討して欲しい。もっと保育所、学童の施設を充実させて欲しい。役所中心ではなくて市民中心の考え方でサービスを提供して欲しい。また会社員だけでなく、自営の者に対する支援をもっと充実させて欲しい。自営で月～土までフルに働いていたら小金井市のサポートで利用出来るものはとても少なく非常に不満である。
- ・待機児童の減少。父親と子ども2人で遊びやすい環境（イベントや施設）。
- ・幼稚園が少ない（武蔵小金井駅から北側）のに、かつ助成金も少ないのが不満。保育園も必要かも知れないが、幼稚園も必要と思っている人も多いことを知って欲しい。子どもを育てるのに住みやすいとは言えない市です。
- ・保育所を増やすか定員を増やして欲しい。子どもを預けられるなら働きたいけど無理なので仕方なく退職しました。女性も主婦になるか、働くか選べる位に保育施設や支援が充実していたらと切に思います。
- ・以前テレビで見たことがあるのですが老人ホーム施設と幼稚園（保育園）が同じ敷地内にあり時々、一緒に歌ったり、手遊びを教えてもらったりととても楽しそうで、良い施設だと思いました。町に活気が、交流があつて欲しいです。
- ・幼稚園が少ない。小金井で子育てが出来て、幸せ。と思えるほどの環境になって欲しいです。それが次世代を担う子供達のためでもあります。よろしくおねがいします。
- ・保育サービスの充実を希望します。出産を機に退職せざるをえなかったが、再就職するには保育所入所等が必要。しかし、求職中では入所が難しくなるという悪循環、求職者でも保育所入所がしやすくなるよう保育施設の充実を望みます。
- ・時代のニーズに合った子育て支援を実現して欲しい。学童も延長など設けて頂きたい。犯罪、事故などにも力を入れて頂きたい。よろしくおねがいします。
- ・子育て、仕事を両立出来るよう保育所の拡充を希望。また、学童保育所は18時までだが、せめて19時まで希望としては20時～22時までの開所を希望する。
- ・さまざまな子育て支援があり力を入れている所もあるかと思うのですが、働く母（両親）にとって保育園に入れないことは本当に切実な問題です。経済的に共働きでないで生活が成り立たない家庭は本当切実です。昨年保育園に預けられないと結果通知が来て、その後も何処も見つからず、ぎりぎりですと（転出が出たので）入れましたが本当に厳しい状況でした。精神的にも本当に追いつめられました。保育にかかわる支援策として保育園の増設など切に願います。
- ・仕事と家庭を両立させるために、育休や時短を取りやすい環境になったらと願っています。また保育環境の充実として幼児教育も兼ね備えた子ども園があったら子どものために入園させたいと思う。また、延長保育のスポット利用、土日保育など様々な形態で働く親を支援できるようフレキシブルな体制をいち早く導入していただきたいです。特に延長保育のスポット利用、学童保育の19時～20時ぐらいまでの延長は行っている自治体も多数あるので早急な対応をお願いします。
- ・4年生以降も学童に在籍できる、もしくは安心して放課後を過ごせる環境を行政が主導となって整備して欲しい。
- ・母子家庭で親族がない人達には保育園を優先して入れていただければすごくたすかります。保育園が不足している今、子供を預けられないと、仕事も出来なくなる人達も、多くいらっしゃると思うのでその辺をどうにか出来れば良いと思います。
- ・認証保育園の拡充があっても、保育料が高く預け先としては時短復帰では金銭的にかなり苦しい。認可園の増強や認証への助成を手厚くするなどの利用者が少しでも公平感をもつ対策をしてほしい。また、公立認可園の延長時間が短すぎる。小金井在住の方は都心勤務で通勤に1時間くらいとられることが多いので常勤で残業するならせめて20時まで預かってほしい。
- ・子が小学校に行ってからからの保育が心配。小学校が遠いのでおむかえ（学童）の時間に間に合わない。19時まで預かってほしい。小学校高学年になっても学童をつづけられるようにしてほしい。
- ・同じくらいの年齢の子どもが多く、安心して子育てできる環境だと思うが、幼稚園や保育園が少なく、遠くまで通わなければならないのが大変。保育園の一時預かりが、もっと気楽に利用出来ると、とても助かる。
- ・一時保育が混雑していて、予約が取れないなどの現状を改善してほしい。（親にたよらずリフレッシュ保育をしたいと思うこともあるが、保育園の一時保育がいっぱいで思うようにとれなかったり）。
- ・小金井市内に幼稚園が少ないのが残念です。保育園もだけど幼稚園も増やして欲しい。
- ・認証ではなく、認可保育所が不足していると思います。私は現在育休中ですが、仕事復帰のタイミング（時期）を考えるにあたり、保育所に入れるかどうかが大きく関係しています。例えば年度の途中からでも園に入れる様に定員増加を切に希望します。また病時後保育もぜひ増やしていただきたいです。市の施策案には保育園の民営化も話題にあるようですが、絶対に反対します。
- ・学童保育をもっと利用しやすいものにしてほしいです。学童に入ったら、親の係等の負担が増すこと、お休みすることおこられること等々問題あり。利用時間を延長していただかないと、仕事を続けられなくなる人が多数います。朝夕の利用時間の拡大をお願いします。
- ・認可保育園の増設を希望します（小金井市に転居してきた際、保育園に空きがなく、働けませんでした。仕事をやめ専業主婦のままです）。また、一時預かりの人数枠も増やしていただきたいです。小学校でも学童以外の預かり事業があると、ありがたいです。
- ・保育園にも入れず、かと言って幼稚園の数も多くはなく保育環境の充実を希望します。
- ・公設公営でなくても良いですが、認可保育園を増やしてください。増やせないなら、助成金を増額してください。
- ・認可保育所を増やしてください。そして、待機児童をゼロにできるようお願いします。
- ・保育所の数を増やしてもらいたい。私のまわりで1人目の子は保育所に入れたのに2人目の子は入れず、一時保育を利用している人が多いです。一時保育では保育所の行事に参加できず、利用料も高いので、保育所の充実を望んでいます。
- ・今後、幼稚園に預けてパートで働く予定であるが、夏休みなど幼稚園が休みの時、子どもを預けられる施設があれば良いと思います。
- ・第1子の時は7か月で職場復帰しました。第2子も0才児で保育園に入園希望を出しています。上の子と同じ

保育園に入れるか不安です。とにかく、保育園を増やしていただきたいです。また、小学校に入ってからの子童も心配です。不安なく仕事を続けられるよう、制度を整えていただきたいです。よろしくお願いいたします。

- ・認定こども園を増やしてほしい。幼稚園の預かり保育の時間を増やしてほしい。
- ・とにかく保育所の充実を。悩んでいる家庭がたくさんあります。こんなに子育てしやすい環境(公園や支援センターの充実など)なのに、この待機児童の多さは本当に残念。ずっと小金井市に住みたいと思っています。保育所に入れなからという理由で小金井市を離れたくないです。早急の対策を切に願います。
- ・保育園を増やし、地域にある保育所に通えるようにしてほしい。学校給食も全校での自校給食を強く望む。野川や、はげ、雑木林を子育てや教育の場としてもっと積極的に活用してほしい。子ども達が将来、生まれ育った小金井で子育てしたいと思える街づくり、人づくりを目指してほしい。
- ・保育園もまだまだ少ないし、延長保育のある幼稚園も少ない。
- ・保育園の拡充化(建物数)、幼稚園教育助成、通園給付など、まだまだ、課題が多いように感じています。
- ・少子化のなか、子どもを産み育てていくには国にとっても街にとっても重要であると考えます。しかし現実には経済的な問題から第二子、第三子を持つ事が難しい家庭もたくさんあるのではないのでしょうか。保育施設の数の充実と料金の軽減を強く希望します。認証に2人の子どもを預けたら、月10万以上のお金がかかるのでは、子どもは産めません。安心して子どもを産めるように保育の充実をお願いします。
- ・保育所に入れなかったらどうしようという不安があります。仕事と育児が両立出来る環境を支援してほしい。
- ・認可保育園の受け入れ人数を増やしてほしい。土曜日午前中の学校教育を再び復活してほしい。
- ・認可保育所を増やしていないのに、認証に入れた保護者への支援金が、他の市区に比べて少ない。
- ・市の認可保育園は非常に厳しくて、子どもの育児をゆっくりしたいと思っても入園のため、0歳児から申し込まざるをえません。育児を優先し希望できる時期に誰でも入園出来るしくみができてほしいです。
- ・未就学児は保育園や幼稚園などで預かってもらうことはできるが、小学生になるとそういう場所がない。他の市では小学校で授業の後、夕方5時まで預かってくれる制度があったり、児童館が充実していたりという話を聞いたことがある。外で遊ぶ場所も限られているので、学校等を開放してもらえると安心できると思う。
- ・3年生で学童が終了してしまう事に対して不安がある。また、自主下校時間が早く、迎えに行くとしても18時までしか行っていないことに対して気になる。保育所ように19時までにしてもらえると良い。保育所も希望の年齢で入れるようにしてもらいたい。年度途中でも入れる仕組みにしてもらいたい。
- ・一時保育の金額面ではとても助かっていますが、もう少し預かり枠を増やしてもらえたら、精神的にも負担が減るのかなと思います。
- ・都心へ通勤している親のことも考慮して、学童保育等の時間を設定してほしい。認可保育園と認可外の費用の差が大きすぎるのを是正してほしい。
- ・これからの未来を担うすべての子どもが安全に健やかに過ごしていけるように、大人の都合ではなく、子どものことを一番考えて、環境を整えてあげられる小金井市であってほしいと思います。一日の多くを過ごす保育園に安心して預けられるよう、できることから是非早急に進めていただければと思います。
- ・待機児童の解消をお願いします。市の財政をもっと重点的に子育て支援にあてるべき。医療や道路の整備も大切だが、どれも中途半端で実感できるものがない。小金井市はせっかく緑豊かで子育てに適した環境であるのに待機児童が多いイメージの現状は好ましくない。
- ・学童民営化反対。
- ・保育園の待機児童を少しでも解消していただくことを強く要望します。働いている者の子息が等しく保育サービスが受けられるよう、保育行政の充実を強く望みます。働きたくても保育園に入れなければ働くことが困難です。
- ・民間の保育所への支援を充実させてほしい。
- ・認可保育園に入れなからという話は都市部でよく聞きますが、認証保育園にすら入れなから市区町村はあまり聞きません。小金井市は絶対に保育園が足りません。安心して子育てをできる環境作りが急務だと思います。この状況が続くようでは、転居も考えざるをえません。
- ・保育園に定員の余裕があったら働きに出たいと思うので保育所を増やしてほしい。
- ・現在の公立保育園には満足しています。今後その状況が守られていくのか不安に感じます。親の希望を聞くことも大切ですが、こども1人1人をみて差別されることなく大切に育てられる環境を、市が主導権を持って進め守っていただけるよう望みます。
- ・家から通いやすい幼稚園が少ないと思いました。
- ・認可保育所が不足しています。特に1歳児からの入所は狭き門であり、希望の半数以上が入所できない状況が何年も続いています。職場に育児休業があり取得できる環境であるのに、保育所に確実に入るためにやむなく0才児からの保育にしました。そういう方はとても多いと聞いています。ぜひ認可保育所を増やしてください。
- ・一時保育を充実させてほしい(いつもいっぱいだという話を聞いたので気軽に利用し辛い)。あずけられる場所があれば仕事をしたいと思っているので、保育園や負担が少なく子供を預けられる場所をもっと増やしてほしい。
- ・小金井市立保育園の保育の質はとてもよいと思う。ただし、施設面など整備が必要。
- ・費用負担の少ない市立保育園が欲しいと思います。また保育所などの一時預かりは私的利用でも可能ではありますが、利用したい時にはほとんど空きがなく、利用できないのが現状です。もっと気軽に利用できればと思います。
- ・保育所をもっと増やしてほしい。育休や働いている家庭しか保育所に子どもを預けられないので、新たに働くこうと思っても働けない。
- ・運良く認可保育園に入園できましたが、決まるまで大変でした。何カ所も子連れで見学してはダメで、認証保育園でも入れないと言われ、働けず暮らしていけないのでは?と不安になりました。安心して子供を産める世の中になってほしいです。
- ・病児保育や保育園のサービスの充実。夫の就業時間が長すぎるため、家事や育児にあまり関われない。

- ・ 保育所、幼稚園の数が少なく、増設予定もない行政の責任として計画化、実施すべきと思うが、意識が高くないようで非常に残念。保育所利用者の内、別保育園の家庭が少なくない。別利用者は子供、親共に非常に負担が大きいため、改善されるようお願いしたい。
- ・ 子供が2人生まれ、仕事に就きたいという思いが少しずつですがあります。しかし、現在の保育所の状況では空きもなく、幼稚園に通わせてパートをととも考えましたが、夏休みや行事等があるとなかなか毎日働くのは難しいのかなど、迷ってしまいます。市内の幼稚園で長期休暇中保育を実施しているところは無いようですが、市外にはこども園だったり、休暇中保育をしているところがあるので、小金井市は仕事を持つ親には非常に住みにくい町だと思います。
- ・ 保育園よりも働く母の悩みは小4以降です。民営化しても保育園のようにポイント制でも良いので。学童の時間を延長して下さい。4年生以降も、19時、20時まで預かって下さい。
- ・ 市立の保育園の障害児枠に対し、精神科医が年5回も相談にのってくれるのは、本当にありがたい。障害児を担当する保育士は障害に対する勉強の場を業務として作り、質の向上をはかるべき。保育士全体も発達障害等の勉強の場を、どんどん作って欲しい。
- ・ 待機児童に対する対応を公表して欲しい。
- ・ 障害児が入れる保育園や幼稚園を増やして下さい。
- ・ 学童を市の一方的な都合で、民間委託する進め方に不安と不満を感じています。指導員と保護者で作りに上げた環境をあまりに軽く捉えている気がします。全入の保障がない民間委託は利用者や子供にとって決して良いものになりません。子供の権利として全入だけは確保して欲しいです。現在、上の子が学童に入っていますが、ニーズとしては、保育延長（19時）よりは全入の維持が優先です。下の子が学童に入った時も、小金井の学童の保育の質が守られている事を強く望みます。
- ・ 現在育休中ですが、保育園に入所できるかどうか大きな不安がある。希望する保育園に入所するため、育休を繰り上げて仕事に戻らなければならない場合もあるし、その不安がなければ赤ちゃんの育児ももっと楽しくゆったりと出来るのに。保育所の不安を感じるのはとても残念なことである。
- ・ 保育園で高年齢4～6才に対し幼稚園と同等の教育が行えるようにしてほしい。又は、幼稚園の延長保育時間を18～19時までにしてほしい。
- ・ 現在、認可保育園に通わせています。私立ではなく公立の保育園については保育者の人材の確保が充分でないと聞きます。保育者の十分な確保を望みます。
- ・ 保育園への預けやすさ。（待機児童が多い。0歳児で4月入所できないと入所にしにくい現状）。働く女性が増えているので、認可保育園を増やしてほしい。
- ・ 今は公立の保育園に入れて環境にも満足していますが、民間委託になると聞いてとても不安です。先生がたびたび代われば子供達も不安になるし、相談出来る先生もいなくなると思います。園を増やす事も大切ですが、質が落ちてはかえって親や子が不安になるので、もっと父母の声を聞いて安心できる保育環境を作って欲しいです。
- ・ 幼稚園をもう少し増やし、できれば給食保育にしてほしい。
- ・ 幼稚園の数が少なく、自宅近くに希望する幼稚園がなかった為、バス通いになってしまった。出来れば歩いて行ける近さの幼稚園があれば良かった。また、預かり保育を行っている幼稚園も増えて欲しいと思った。
- ・ 学童保育が18時までであることと、学童の父母会の活動が負担なのが不満です。子どもが複数いたりすると毎週のように土日に予定が入り、何のために学童に入れたかわからなくなります。休日は家族で過ごすことを重視して土日の学童の行事は最小限にして欲しいというのが本音です。また6年生まで放課後毎日だけでなく安全にみてるサービスがあれば助かります。
- ・ 保育園や幼稚園での園庭開放などももう少し情報があると利用しやすいと思います。市報の児童館のように予定が記載されているとわかりやすいです。
- ・ 幼稚園を預け先として活用させて欲しい。延長保育、夏休みの預かり、給食制にするなど。
- ・ 保育園が少なすぎる。待機児童の解消にもっと力を注いで欲しい。今後の就労するにあたって非常に不安です。もし保育園に入ることが叶わなくても、幼稚園の預かり保育（長期休暇中、また夕方遅めの時間帯）が充実していれば就労しやすい。そうした制度がより充実するようにするか、そのような市立幼稚園を設立して欲しい。
- ・ 小学4年生になると学童もなくなり子どもが1人で親を待つ時間が長すぎる。放課後教室等にもっと力を入れて欲しい。
- ・ 4月より保育所に入りましたが、1年待機しての入園でした。入園後は保育所の先生方の保育にとっても満足しております。日々の子育て相談もできて、悩みも分かち合いながらなので気持ちの面でも助けて頂いています。ただアレルギー等病気も多いので病中、病後のサポートもしていただけると共働きの親としては更に働きやすい状況になりますので是非そういった制度が前進することを望みます。
- ・ 息子は一年生になります。パートの就労につきたいと思います。できれば学童保育所に入れずに働けたら良いと思っています。そのような者にとって、放課後学校で遊べることや長期休暇の間も学校で遊べるようだと子どもの居場所として安心です。そのような体制を整えられたらありがたいです。
- ・ 親の急な通院または不定期な通院でも利用しやすい保育園の一時預かりの仕組みがあるとよい。市内に幼稚園が少なすぎる。特に緑町周辺はぼっかり穴があいている。遠い幼稚園ばかりである。市内の幼稚園を選択できず、市外の幼稚園に行かなくてはいけないのはおかしいと思う。通園の距離がもっと短くなるよう、数ヶ所幼稚園が増えるよう、市の支援と働きかけをお願いしたい。
- ・ 保育園の増設またはこども園や幼稚園延長保育の充実など、よりサービスが拡充されると嬉しい。
- ・ 幼稚園の長期休暇中の預かり保育をして頂けると嬉しいです。
- ・ 今現在の他市に誇れる保育園、学童を維持して、子育て世代を取り込む宣伝にして下さい。子育て世代が多くなると、高齢者にも良い刺激になるし、子ども達にも近所のおじいちゃんおばあちゃんから教わることは沢山あり、相乗効果になると思います。
- ・ 保育園（認可）の延長保育が月単位でしか申込みが出来ないのが不満である。他自治体のように「日」単位にして欲しい。その他、開園時間等、現状維持ではなく、よりよく改善して欲しい。
- ・ 子育てに安全な街ではあると思うが、昨今の子育て世代の移入などにより、乳幼児が増加し、保育所が足りていない気がする。

- ・保育園の一時預かりは予約が取りづらいうえ、慣れない場所で気軽に預けづらい。ゆりかごのような場所で預かって欲しい。
- ・保育園の数が少なすぎます。近隣市では保育園を増設し、待機児童を減らしています。小金井市は全く努力しているように見えません。友人、知人で保育園に入れたくても入れず、職場復帰を諦めたひとが多数います。1つでも2つでも増やして頂くことをお願いしたいです。
- ・民間委託等、色々な課題はあると思いますが、運営形態がどうであれ保育士の方々の気持ちや体力にある程度余裕をもった状態で、保育業務ができるような状態を維持して頂きたいと思います。自分の子どもであっても気持ちや体力に余裕がないとついつい言葉等がきつくなってしまうことがあると思います。そのような意味で日々子ども達に接する保育士の方々が気持ちよく仕事が出来る環境を整えてもらうのが重要だと保護者としても考えます。
- ・保育園に入るのに仕事が見つからないと（仕事がないと）入れないと聞きましたが、逆にして欲しい。仕事をしたいのに保育園に入れないとできない状況に違和感があります。現在子どもが1人ですが2人目を考えた時などにも子どもを預ける場がないと仕事もできず諦めなければいけないのはおかしいと思います。
- ・保育園、幼稚園施設の充実。
- ・認可保育園は内容的に良いと思う。しかし預かり時間は他市と比べて短いのでは。学童保育に来年から入れるが、長期休みに8時半開所は遅すぎる。都心に9時勤務開始で就労する保護者は非常に多く、その場合7時半までに家を出なければならぬ。少なくとも8時には学童が開所してくれないと困る。小学1年生に1人で家を出て、鍵をかけるのは酷です。
- ・学童保育を小学3年生まででなく小学6年生までにして欲しい。
- ・認可保育所を増やして欲しい。それがなかなか出来ないのなら認可外保育所に通う世帯へ補助金を出して、保育料負担が認可と差が広がらないようにして欲しい。直営の保育園を維持し、保育の質、向上に関わり続けて欲しい。公立園の保育士は市民の財産でもあります。保育士を採用し、経験を積んで来た人達は保育士として市民の役に立つべき。子どもにやさしい街が発展するのです。給食、学童保育所、保育園、障害者施設直営体制を堅持し、責任を持ち続けて子育てしやすい街のリーダーに小金井がなって欲しい。
- ・仕事をしたいが、保育園に入れぬ。育児休業中だが保育園に入れなければ仕事を辞めなければならない。1歳児の狭き門、待機児童の問題をどうにかして欲しいです。
- ・幼稚園が少なく、また保育園も近くにない。働きながら安心して、子育てができる街からはほど遠い。教育の質、環境（小、中学校）とても良いものでもったいないと思う。少しずつでも変えていって欲しい。
- ・小金井市が行っている子育て支援をどのように利用すればいいのかわからなく、なかなか利用できてないです。経済的に生活がとても苦しいが、子どもを保育園に預けることが出来ず、仕事が出来ていないことが、一番の悩みです。今後どうやって生活、子育てをしていけばいいのか、本当に悩んでいます。保育園に入れるようにして欲しい。
- ・スマート保育園等、小さくても良いので保育園設置を増やして欲しいです。
- ・就業していないとフルタイムの保育サービスを受けられず、求職することもままならない。他市のように公立の幼稚園がなく、子育てにかかるコストが高く感じる。
- ・学童保育の延長を強く希望。朝8時半からを7時に、夕18時を19時に、保育みたいにして欲しい。時間帯だけでもいいので。4～6年生まで希望したら学童保育に入れるようにして欲しい。
- ・保育園を増やして欲しい。認可外保育園利用に対し助成金を出して欲しい。
- ・市内に幼稚園をもっと作って欲しい。
- ・仕事をする親を前提としたサービスに偏らないで欲しい。小金井市は他市と比べて子育て支援が遅れている気がする。財政の問題や行政の複雑な事情はあると思うが、それはそれとして取り組んで欲しい。子育て環境の今以上の改善をよろしく願います。
- ・今の保育園を基本にして支援を拡大、充実させて欲しい。待機児童対策は重大だが安易な民間委託や株式会社の参入は止めて欲しい。信頼できるところに運営して欲しい（公立社会福祉法人）。学童保育に関しては、利用後と利用前では、保護者の考え方が違って来る。
- ・外国人（留学生）向けに低料金で利用できる保育園を希望。低料金でなくても、そもそも待機するように言われ、他の市の保育園に行かせている。是非、小金井市での保育園を増やしてほしい。
- ・仕事に復帰したいが保育園に入れぬと思うように出来ない。一時保育も思うように利用出来ないで、利用枠が増えてくれると嬉しいです。
- ・市立保育園の一時預かりの日数が少なく、また人数も限られているため、なかなか利用出来ない。幼稚園の情報などが欲しい際、どうしてらよいか分からない。
- ・母親が妊娠中の時も保育の利用が出来ればいいなと思いました（今、切迫早産だが、私的利用でしか申し込めない）。
- ・他市で暮らしていました。待機児童ゼロでも実は一時預かりの受入分まで、保育児童を受け入れてしまっている状態で、我が家のように時々保育をお願いしたい家庭にとっては、いざという時でも預かってもらうことは出来ず大変な状況でした。待機児童を無くすことは大事ですが、どこかにしわ寄せがないよう、強く願います。
- ・保育施設の充実を図って頂きたい。待機児童ゼロの市を目指して貰いたい。そうすることで、すべてではないが魅力のある市になっていくと思います。
- ・保育園も学童も民営化の話が、実行される日程を前提に進められている点が不満。小学校の給食の委託についても同様。メリットばかり強調している印象だが、デメリットも勿論ある。予算の問題があることは知っているが、子供に関わる削減より先にできることはないのかと思う。そういった点は説明不足なのでは。
- ・認可外の保育料は至急解消すべき。0～2才くらいまでは認可入所は厳しく、認可外で子供も親も地域の関係を作っている現象がある。そのような家庭に「認可が空きましたから移して下さい」というのは、地域の関係を断ち切ることに繋がる。子供が安定して育っていけるよう、一刻も早く保育格差を解消して下さい。
- ・現在保育園の待機児童問題がありますが、数年後は同じ事が学童で起こるのではと心配しています。こちらの強化もお願い出来ればと思います。

- ・年度始めで入れる保育所がほとんどなく困った。復職をそこまで待てない人も多いと思うので（制度はあっても民間ではなかなか利用出来ない会社も多い）、途中入園しやすい制度があると良い。特に2、3月生まれだと、認可園にはほぼ入れないのではないのでしょうか。認証に空きをみつけて入園し、現在一応認可待ちをしていますが、もう子供も今の園にすっかり慣れ、園の方針も親としても満足しているため、出来ればこのまま認証に通い続けたいが、あまりにも保育料の差がありすぎる。都と市で違うのかもしれませんが、子供達には平等に教育を受ける権利があると思うので、この料金の差が小さくなって欲しいと思っています。
- ・待機児童がいらないような保育施設の充実。もしくは認可外保育所に預けた時の金銭面の補助の充実を希望します。
- ・保育園の数が少なく、なかなか入所出来ない。姉と弟が別園に2年近く通い負担が大きかった。保育園施設を増やしてほしい。
- ・待機児童の解消を切実にお願いします。フルタイムだけでなく、パートやアルバイト（週数日）の場合も1年間通して、預けられるようにして頂きたい。
- ・保育園の数が少ない。又認可保育園の倍率が高く、仕事に復帰出来ない環境。幼稚園などでももう少し延長保育などがあるとパートの方などは保育園でなくても利用出来るのではないかと思う。共働き夫婦には、とても子育てしにくい環境。安心出来ない環境かもしれません。
- ・幼稚園の保育料の負担が大きく、近所に園がないため他市の園に通わせており、バス代などの負担が更に上乗せになって経済的に厳しい。校外、園外の習い事に通わせる余裕がない。小金井市の園の充実を願う。
- ・今は時短勤務を使用しているが、それでも保育園のお迎えは18時となる。通勤時間も長いため、フルタイムとなるとお迎えは早くとも19時になる。小学校に行くようになったら、学童はどうなるのか心配している。職場の人に聞いたところ、ほとんどの区で学童は6年まで入れ、人数は減っていくがそれでも預けていると言っていた。子供の性格にもよるかもしれないが、希望すれば6年まで学童に入れる制度があれば安心出来る。
- ・認可保育園が足りない。入れず退職する人が私を含め多い。幼稚園もなぜ市立がないのか。
- ・認可保育園に入れない事に憤りを感じる。産休がとれる仕事ではなかったのが妊娠して仕事を辞めたが、その後の生活が苦しく、すぐにでも働かなければならなかったが、保育園探しに苦労した。仕事をしていなくても入れる所を見つけて仕事も見つかったが、パートタイムでの認可でない保育所の料金はかなりきつい。
- ・一時保育よりもっと気軽に1、2時間くらい子供を預けられる施設が欲しい。幼稚園の長期休暇のみ預けられたら、パートにも出やすくなるのにといつも思っています。
- ・認可保育園が少ない事。変則勤務の者が安心して子供を預けられる施設がない事（24時間託児など）。仕事との両立が難しいです。
- ・保育所が不足していて希望園になかなか入れない。子供向けの民間施設がもっとたくさん出来る様な活動をして欲しい。せつかく学力的に評価が高いのだから、もっとアピールして「教育・子育てといえば小金井」と言われるようになって欲しい。
- ・延長保育の時間をもっと増やしてほしい。保育所19：30～20：00（学童も）。
- ・保育園の民営丸投げ、反対です。
- ・小金井市の幼稚園は預かり保育がなかったり、あっても時間が短い等、充実していないように思います。子供を幼稚園に入れていても、母親がパートで働いたり出来る様に預かり保育が充実すれば、母親の選択肢も広がると思います。
- ・保育所作り頑張ってください。
- ・正社員で働いている母親へのサポートばかりでなく、アルバイト・パートで働く保護者へのサポートも強化して欲しい。学童未満の子供が一人で家にいることが不安です。毎日ではなく週に数回利用出来るような（学校から直接行ける）場所があればいいのと思います。家事・育児を優先させて働きたいと考えている母親は多いです。
- ・幼稚園が近くにない。給食のある幼稚園が少ない。
- ・保育所が足りない。増やして欲しい。一時保育の毎月の預かり日数を増やしてほしい。
- ・保育園ばかり出来ているが、幼稚園に通園させている身として幼稚園が市内から減っていき、他市までバス代や送迎の手間をかけ通園されていることを分かって欲しい。
- ・引越しをして来て、子供の幼稚園探しで大変でした。「どこもいっぱいです。」と言われ、また4月度入園を希望して10月に願書配布の際にたずねると「空きはありません。」と言われた。児童数が多いとは思のですが（理由が仕事の転勤のため急だったのですが）、市の児童数に応じた枠があったらと思いました。
- ・とにかく待機児童をなくして、安心して働ける環境を作って欲しい。ある自治体では保育サービスと働くママのマッチングをするコンシェルジュがいるとのこと。働きたい人はたくさんいるので、そのようなコンシェルジュがいるとありがたい。幼稚園の預かり保育を利用したいが、不定期で～17時までのため、仕事をしている人にとっては当てに出来ない。あまり意味がないのでは・・・。月～金の9時～18時まで預かってくれないと利用出来ない。
- ・認証保育所に通わせているが、認可と比べて経済的負担が大きい。育児に関する公的支援は、全て均一であるべきと考える。
- ・出産後に精神的不安定もあり、出来れば職場復帰を希望していますが、保育所不足のため復帰出来ません。経済的ではなく、精神的安定のために仕事をしたいと思っている人もいると思うので、そういう人のためにも保育所を増やして欲しいと思います。
- ・一時保育に登録していますが、病気以外の急な用事の時に子供を預けられません。車もないので遠くの保育園などには行けず・・・。
- ・家計のため働きに出なければと考えていますが、学童入所のための条件が厳しく悩んでいます。もう少しゆるい条件で高学年まで、または通年でなくても必要な時に預かってもらえるシステムだと助かります。
- ・保育園や学童など、もっと充実して数を増やして欲しい。そのためには、そこで働く先生方への手当などもきちんと考えていただかないと安心して預けられません。また、通学路の安全を確保してもらおうよう整備してください。

■支援・補助金、医療費、予防接種（59件）

- ・市で行われている子育て支援サービスについて、説明会をして欲しい。仕事をしているとなかなか参加出来ない。知らないままのサービスも多い。
- ・子供が5人もいるので、例えば、3人目以降は保育料無料とかにして頂けると助かる。もっと気軽に短時間でも安く（1時間100円～200円）子供をみて貰えると良い。
- ・ワクチンの助成や無料化、教育費のサポートなど必ず費用がかかるものはもっとサポートして欲しい。
- ・子どもに対する補助金が他に比べると少ない。幼稚園補助金や医療費の無料が未就学児までないこと。せめて、小学生、中学生までは無料希望。
- ・18歳まで予防接種（水痘瘡、インフルなど）全額とは言わないが補助を出すべき。
- ・坂がとても多いので、電動自転車の補助などもあるといいです。小金井市大好きです。今後に期待します。
- ・夜間、日祝祭日に対応できる小児科が市内にあればよいと思う。
- ・乳幼児医療費助成と同様に、中3までは所得制限なしで医療費を無料にしていきたい。小学生に上がり、突然大人と同じ3割負担というのは非常にきつい。通院回数が多ければ負担は大きい。
- ・3人目の補助金など金銭面でサポートしてほしい。
- ・医療費助成に所得制限を設けないで欲しい。
- ・民間のベビーシッター等を利用する場合の費用の補助制度があると嬉しいです。
- ・小・中学生の医療費無料化（無料化している市町村多数あり）。
- ・医療費助成など、子どもの医療費の負担が高校に入る位まで無料がいい。
- ・環境については大満足。幼稚園の補助金が少ない。23区のように、区立幼稚園がほとんどない。私立幼稚園は月々の保育料が高く負担が大きい。
- ・乳幼児医療費助成を、小学校在学中も使えるようにして欲しい。
- ・日常では特に不満と言う事はありませんが、子どもの医療費については他の自治体よりも非常に遅れていると思います。子どもは何かと病院にかかることが多いので、今後負担が大きくなってくると思うと不安。改善されることを期待しています。
- ・児童館での教育・教養の充実を望みます。塾ほどまでではなくとも、小学校の授業を補う内容（金曜クラブのような）の活動（例えば、ボーイスカウトのようなもの）をもっと充実して欲しい。また働いている人向けに、夕方まで有料児童館（課題授業あり）もあると助かる家庭もあると思います。テレビで放映されていました。ある地方市では実績のある施設があるので做うなどして、市の教育環境を変革して欲しいと思います。

■保健センター・家庭支援センター・市民交流センター（73件）

- ・児童館、保健センター等があるのは知っていたが、引っ越しで初めて小金井に来た人間にとって、場所や開放時間を知るには情報が少な過ぎると思う。例えば、ココバスや駅、子供用品を扱う店等に協力してもらい、ポスター等で広めて頂けたらと思います。
- ・妊婦検診の助成がもう少しあると、負担が少なく安心して病院の検診も受けられる。エコー検査も無料にしてもらえると嬉しい（負担金が多いような気がする）。
- ・「ゆりかご」のような施設がもっと近所にあると助かります。市民交流センターをもっと有効活用してほしいです。
- ・乳幼児健診を保健センターまで行かなくても良いように、東センターや近所の学校等で受けられたら嬉しい。
- ・支援センターゆりかごが日祝日も開いて欲しい。
- ・保健センターの駐車場の増設希望。「ゆりかご」に連れて行きたくても行けない。
- ・小金井市に転入して3年になりますが、子育て支援に力を入れている自治体だと感じます。我が家は父親が土曜も勤務（週6、年300日勤務）なので。母子で過ごす時間が非常に長く、「ゆりかご」の存在は大変ありがたかったです。以前はよく土曜に利用しました。もう少し市の中心にセンターがあると尚、嬉しいのですが。又、3歳児検診なども最近次男が受けましたが、保健師の方の対応も丁寧で安心感があり、食育・生活に関する指導も、紙芝居形式で工夫されており子供もとても楽しみ、内容もしっかり記憶しているようです。関係者の皆様のご努力に感謝しています。
- ・健診等で利用する保健センターが駅から遠く、ゆりかごも同じ施設内なので、駅から近い場所にあると利用しやすいです。またはココバスを走らせて欲しいです。
- ・子育て支援センターを利用していますが、とても助かっています。家で子供と二人で「辛いな」と思った時はゆりかごを利用します。今日は誰とも話さなかった、という日もある中で、バスの中などでお年寄りに話かけられるとホッとします。赤ちゃんとお年寄り、うまくつなげられないのでしょうか。
- ・ゆりかごはとても遊びやすく、子供にとっても刺激があつてとても良い場所で満足している。
- ・保健センターなどでのイベントに参加したいが、8組など、ごく少数の人しか参加できず、受付開始日に電話しても、すでに締め切られていることが多い。交流の場に行きたくても、定員数が少なすぎるので行けない。
- ・うちの子は言葉の発達が遅れているのですが、保健センターのパンダの会、コアラの会で、とても親切にしてください。だんだん遊びながら興味も出てきて言葉も少し出るようになったので、とても助かりました。願わくば月1ではなくて月2回くらいに増やしていただければ、もっといいなあと思いました。今度は、きらりの親子通園に入ることができました。こちらも、とてもいい支援の場所でありたいです。これからもよろしくお願いします。
- ・市民交流センターを教育、保育の充実の場としてもっと活用してほしい。市主催のイベントなど子供向けの会をもっと企画してほしい。
- ・ひろば事業は三鷹市や武蔵野市のひろばが大変充実しており、電車に乗ってそちらのひろばを毎週利用している。毎日のように歌、手遊び、工作などがある。特に武蔵野市は、コミセンを拠点としているため、地元のおじいちゃん、おばあちゃんが集まって子どもと遊んでくれるため、母親としてはとても助かっている。またコ

ミセンの和室はスペースが広く、子どもにとっても良い。

- ・子ども家庭支援センターでやっている1才児講座のようなものを、2歳、3歳、4歳、5歳、・・・と沢山やって欲しい。育児で困っているのは1歳児だけではないので。その年代で困っている事は違うし、その都度アドバイスがほしい
- ・「ゆりかご」のような施設は駅前にあるべきです。バスで行くのは不便だし、駅から遠いなら駐車場を（有料）を作るべき。駅前に子育てセンター、子供図書館など作って欲しい。
- ・東小金井駅周辺から保健センターへは遠すぎます。「きらり」内や中間地点に出張所などでもいいから作って下さい。武蔵小金井周辺には手厚いのに不公平です。よろしくお願いします。
- ・児童館の乳児の部屋が狭くていつも人がたくさんいて思いっきり遊べない。
- ・婦人会館や東センターでも何かイベントを開催して欲しい。
- ・安い物件を利用して、保育ママや子ども向けの施設を作って欲しいです。どの施設も駅から遠く、利用しにくいです。駅前にせっかく立派な交流センターがあるので、そこに子どもが交流できるような児童施設を作って欲しいです。一階のフリースペースがせっかくあんなに広いのでただ机を置くだけでなく、もう少し有効な場にして欲しいです。子どもだけではなく母親父親も息抜きができるような施設があったら是非利用したい。情報をもう少し幅広く集約された情報サイトが欲しいです。
- ・支援センターの人が入り込みすぎて遊びづらい。もう少し色々考えるべきだと思う。

■遊び／児童館／図書館（124件）

- ・公共の遊び場、プールなどの施設を充実させてほしい。
- ・現在、新小金井駅付近に在住ですが、ベビーカーで行ける場がありません。隣の武蔵境の図書館のような施設に行きたいと思いますが、新小金井駅には、ベビーカーのスロープがなく、外出できにくい環境です。
- ・図書館の充実をお願いします。
- ・財政難は承知しているが、児童館や図書館など近隣の自治体に比べてひどく古びていて、利用者を満足させられていないと感じる。立て直しは高額すぎるので、せめてリフォームしてもらえれば非常にありがたいです。ママ友の中には、小金井で子育てしたくて引っ越しされて来た方も数多くいるので、もっと魅力的に設備をアップすれば、更に活性化した町になると思います。
- ・設備の良い公園を作って欲しい。
- ・児童館の数を増やし、子供でも通いやすくなるといい。産後の支援はとても助かりました。ありがとうございます。
- ・図書館、支援センターなどの支援施設が近隣の行政に比べると古くさく、楽しく使用できる場所がないので充実させてほしい。
- ・市内の児童館とかもっときれいにしたい。「古き良き児童館」と言った感じで母親的には気分的にあまり盛り上がりすぎず飽きてしまう。
- ・日祝日に子どもを連れて遊べる施設（児童館のようなもの）を作って欲しい。
- ・図書館の充実。ココバスを早朝から乗りたい。小児科を増やして欲しい。
- ・児童館の幼児グループと1～2歳のグループで作って欲しい。来年幼児グループに参加しようと思っているけど、2歳なるかならない位でも児童館の乳幼児の集まりだと充分身体を動かしたりもできず、赤ちゃんにも危険なので。
- ・未就学児の集いの場であるゆりかごや児童館にはよくお世話になりました。これらはとても充実していると思います。
- ・児童館などを利用していると、小学生などが来る時間になると幼児は遊びづらい。
- ・各児童館の0才から遊べる子育てひろばを常設し開放も9:00からにしてほしい。
- ・児童館、図書館の施設が古い。子育てを始める際、オムツ替え、授乳できる、靴を脱いで遊ばせられる場所が近くになく外出しにくかった。歩けるようになれば公園に行けるが、それまでは不便な生活だった。
- ・児童館、公園以外に子供達が安心して遊べる施設が増えると良いなと思います。
- ・貫井北にできる公民館、図書館には、小さい子どもも大人も一緒に本を楽しめるような、畳の部屋などがあると嬉しいし、食事もできて一日中友達と過ごせる場所にしてもらえるとありがたい。今後も色々な行事や子育ての力になっていただけることを望みます。
- ・何か教育サービスを受けるにしても坂上なので、やや行くのに抵抗がある。
- ・児童館、図書館の数が少なく、雨の日の遊び場に困っています。
- ・大きな公園があり、ゆったりとした環境が子育てに適していると思います。
- ・図書館を充実させてほしい（武蔵野プレイスのような施設）。子ども達がめいっぱい体を動かせる場所と機会を充実させてほしい。
- ・もう少し子どもが外で遊べる環境が欲しい。公園を増やすなど、検討して欲しい。
- ・保健センターの離乳食教室やむし歯予防教室は、とても勉強になり参考になったので、回数や定員を増やしてほしい（離乳食教室）。
- ・児童館がもっと開放的で子どもたちのたまり場になってほしいと思います。
- ・未就学児用の屋内施設が少なすぎる。児童館の催しも伝わらない人もいると思う。図書館が小さすぎる。小学校の図書も少ない。他の図書館からの相互借入れが多く、待ち時間が長い。
- ・市境に住んでいるため、一般的に市のサービスが受けにくい環境だと思っている。例えば、Cocoバスが通っていない、学校（公立小中学校）が遠い、公民館、児童館が遠い、図書館が遠い。公民館、児童館、図書館は駐車場もないので行けない。

- ・児童館等、子どもの遊び場も不足のため、他市を利用しているが、やはり市外のために行事等に制限があり、子どもは残念に思うことが多い。通学路にもっと安全な道を確保してほしい。細く自転車と共用するような道を歩かせなければならず、心配である。歩道、自転車道は別々に確保してほしい。
- ・外で子供が少しの時間でも気軽に遊べるような環境だと思える。どこの公園もボール禁止。これはどうにかありませんか。
- ・周辺には、いくつか小さな公園がありますが、サッカーや野球などの球技を自由に楽しめる環境がありません。小学生たちはいつもサッカーや野球などの練習、遊び場を探しています。子どもたちが、周辺の住宅に気を使うことなく、のびのびと遊べる広場が必要です。
- ・週末父親が仕事だと遊べる場所が少なくて困ることがあります。「週末イベントメール」などのサービスがほしいです（近所でやっているフリマや子供向けイベントなどのお知らせメール）。
- ・小さな子どもを遊ばせながら、同じ年代の子どもを持つ親や保育士さんなどのお話や相談できる人がいる場所は児童館や保健センターなどがあるが、距離がありなかなか利用する機会がなかった。保育園や幼稚園での園庭開放などももう少し情報があると利用しやすいと思います。市報の児童館のように予定が記載されているとわかりやすいです。
- ・室内型の子どもが遊べる場所も不足していると思います。児童館やゆりかごは狭くて歩き出した子どもが遊ぶには適していないと思います。
- ・常設プレイパークがあればいいと思います。
- ・東小金井周辺に教育、保育環境の施設が少ないように感じます。保健センターやカルチャーセンターのような子ども達がいろいろ学んだり遊べる施設が出来るといいと思います。
- ・農業体験や野外活動を通じて体力、知力作りをもっと充実させて欲しい。公園や緑の多い小金井市の特徴を生かして放課後に子ども達が安心して遊べるプレパークなどももっと増えたら良いと思う。夏休みのわんぱく夏祭りはとても素晴らしい事業だと思う。今後も続けて欲しい。
- ・児童館や図書館等、放課後子ども達が過ごせる場所（大人の目がある）を充実させて欲しい。
- ・公園に行くときよく犬のウンチが落ちていて子どもが遊ぶ環境的にどうかと思います。転んで顔とかについて病気になってしまったらと思うのですが、考えすぎでしょうか。
- ・産後の母親のケアはとても有効なので今後も継続した方が良くと思います。図書館や公民館を充実したものにして欲しいです。図書館には自習スペースを作り、調べ物をしながら自由に勉強できるようにする。自宅より集中できる。公民館は調理が可能な部屋、実験などができる部屋、音楽を楽しめる部屋（防音のスタジオみたいな）などを作り、子ども達や保護者が企画したイベントに対応できるようになるといい。武蔵野プレイスが近隣では参考になる。
- ・未就学児のみだけでなく、小学生も利用できるような施設を増やして欲しい。
- ・児童館はイベントがあると行きやすいので、これからはいろんな企画をして下さい。
- ・小学校高学年まで子育てを支援してくれる場所があると嬉しい。現在の児童館も年齢・曜日等で毎日に行けないので、母親、子供同士が集まれる場所がもっとあると良いと思います。
- ・ゆりかごや児童館にはとても満足している。職員の方が皆さん親切で安心できる。ゆりかごのミニコンサートは楽しみなイベント。遊び遊具も充実していて親子とも楽しめる場所。児童館の昼食会は、皆で同じものを食べることができる貴重なイベントで満足している。美味しい。公園はきれいで嬉しい。
- ・児童館が近くになく利用が難しいので、児童館の様な所が増えるとありがたいです。
- ・地区ごとに違って良いので、多様な児童館の設置。
- ・日曜日子どもを遊ばせることのできる場が欲しい（支援センター児童館）。
- ・予約なしで行けるイベントを開催して欲しい（保健センターでは予約して離乳食の講義などを行っているが、子どもの体調によって行けなかったりするので、予約なしで行けると嬉しい。その月齢にあった関わり方を教えてもらったり、月齢の少し離れた子とも関われる場があってもいいなと思います）。
- ・子供がのびのびと遊べる公園が地域に少なすぎる。私はわざわざ小平や国分寺の公園に行きます。小学生の子供達も困っている。小さい子供ももちろんですが、図書館についても本はたくさんあるけれど、年齢ごとにどれを読んだら良いのか全く分からず並べてあるだけ。小平の図書館の方は、季節ごとピックアップした本が子供達の広場に表紙が見えるように並べてあつたりしている。小金井も本館でやっていますが、2階の入口の外側で手に取りづらい。子供達が大人になった時、小金井で子育てしたいと思えるような環境にして下さい。お願いします。
- ・児童館の幼児グループはとても楽しく、大人も子供も毎週楽しみにしている。
- ・キレイで清潔な母子が集まれる施設の増設。小規模でも良いので、出来るだけ徒歩圏内にあると良い。子供をもっと気軽に預けられる制度（一時預かりを含む）（金額・条件）。
- ・児童館を1〜3才まで利用させて頂いています。幼児グループに上がると保育ルームへの立ち入りが難しくなってきたり、ちょっと行きづらく感じることもありました。子供が安心して走って遊べる屋外屋内施設が欲しいと思いました。
- ・小金井市の子育て環境や支援は良いとは思えない。乳幼児健診の場所・時間帯も悪く時間もかかりすぎて、子供をぐずらないように必死だったことしか覚えていない。子供を飽きさせない工夫（読み聞かせなど）があれば良いと思う。
- ・子供が安心して遊べる公園や広場を増やして欲しい。子供が運転する自転車に対する対策を充実させてほしい。

■子育てその他（105件）

- ・妊婦時代、赤ちゃんの子育て時代、幼児期、小学校（姉）・・・とその時に応じて、子育て支援事業を利用させて頂きましたが、行政の管轄が違うのか、もっと連携して貰えたら利用する側はスムーズなのだと思う事がありました。妊婦時代の両親学級を児童館やゆりかごで行えれば、出産した後の行き場が分かり安心できると思います。赤ちゃんの予防接種や検診でもいいと思います。保健センターには行っても、「ゆりかご」を知らなかったという話もよく耳にします。エンジェル教室を児童館でやり、回数を増やすとか。もっと利用する側

の立場で、流れを考えて頂きたいです。

- ・駅のトイレにおむつ替えシートや、乳児を寝かせておける所があったらと思います。
- ・地域の定年した世代と、子供達の関わりがあったら良いと思う。定期的であれば子供達も安心・安全に過ごせる場が増えるのでは?この時代、なかなか個人的に違う年代の人と関わるのは難しいので、そういう機会を設けて貰えると嬉しいです。
- ・防災用スピーカーからの音が聞こえにくい等の意見を耳にしたことがあるので、教育機関等がもう少し横のつながりを強化して、子ども達の遊び場など必ず音が聞こえるように配慮および確認をして頂きたいと思います。
- ・どんな支援があるのかわかりにくい。
- ・パートナーの育児、家事協力は平日は一切受けられないため、母親の疲労とストレスは溜まる一方。もっと気軽に子どもを預けられる場所を求めます。現状は主婦には狭き門。手続き等も複雑すぎです
- ・産婦人科のある病院が少ない。住んでいる地区に小児科のある病院が少ない。
- ・初めての土地で大変不安がある中、小金井市の子育て支援は役に立っていると思います。ただもう少しいわゆるママ友作りに特化したサービスが増えるとありがたいです。特に少人数での集まりや会合のようなサービスが良いです。1人で参加しても負担にならないもの。友人同士がすでに出来ているような多い人数でのサービスは不安をあおるだけだと思う。4人くらいの小さな教室などが良いと思います。
- ・講座を受けたくても託児がないと参加できないので託児付きの講座があると母親もリフレッシュになると思います。
- ・近所に手助けしてもらえ親族がいない家庭にもう少し援助等をお願いしたい。
- ・保健センターなどに出向けば、情報、サービスをうけられるが、駅前やショッピングセンターにも、サービスを設けてもらえると利用しやすい。(預かりスペースや小金井交流センターでの活動など)。あとは、そのようなサービスがあった場合、みんなが平等に利用できるよう配慮していただきたい。(予約などがわずらわしくないよう) 駅前に託児をもっと設けてもらいたい。
- ・今後教育費がかかってくるのが不安です。この先、勉強の面で不安な事があると塾に通わせることになってくると思いますが、坂の下にはあまり塾もなく、習い事をさせたくても、坂の上まで行かなくてはならないので大変です。シルバー人材センターでやっている学習塾や英語教室を坂の下の集会所などででもやってくださると通うのも金額的にもとても助かるので検討して欲しいです。
- ・市が財政難の中、子育て支援等福祉に力を入れることは大変だと思いますが、子ども達が皆、心身ともに健やかに育つように協力していただけるとより良い社会が作って行けると思います。
- ・様々なことを実施しているのは知っているのですが、仕事と育児で毎日バタバタで、なかなかタイムリーに情報に触れることができません。サイト(市のHP)の閲覧のしやすさやメールニュース配信など、せっかくやっている活動や取組をもっと身近に感じられる情報伝達の方法を考えて頂けると助かります。特に我が家は転入してきたので、子育て情報が極端に乏しく引越してすぐはとても困りました。
- ・支援策を積極的に使っている方と、そうでない方との差があると思う。消極的な方や友人などがあまりいない方が使いやすい方法を考えてほしい。
- ・いろいろお金もかかりますが、子ども目線で取りくめたらいいなと思います。
- ・制度や支援体制は知っているが、実際子育て中にゆっくり利用、相談をする暇、余裕がない。積極的に働きかけてきてもらえれば訴えやすいのかも、と思っている。
- ・軽度発達障害は認知度が低く周囲の理解を得るのが難しい上に、助成や支援の幅が狭く保護者の経済的負担や、保育者の身体的、精神的負担も大きいです。障害児枠などで受け入れていただいても加配の必要性から保育時間が制限され就労できる時間が限られてしまうことが残念です。小学校への進学にも不安を感じていますが、どこに相談するのが良いのかわかりません。社会にどう馴染んでいけば良いのか、どのように生活していくのが良いのか専門的に指導または相談や支援を行ってくれる機関や部署を設けていただきたいです。障害をもつていても社会に受け入れられ安心して生活できる居場所をつくれるよう、お力添えいただけると幸いです。
- ・子どもの環境に親が介入していく場面が多すぎるように思います。申し訳ございませんが、つかれました。親は、そっと遠くから見守るような形の保育所や学校が、あまり父母等の意見を気にせず、のびのびとできるような環境であることを望みます。
- ・小さい子供にとって(自分で出かけるようになる低学年くらい)、危ない道が多い。車がスピードを出せない仕組みがもっとほしい(標識はあまり効果が無いように思う)。教育は小金井市は良いと聞き、期待している。先生方のモチベーションを上げられるように、色々な面で努力して頂きたい。
- ・親子、子育て中の方が皆心から笑える町。声かけが簡単に出来ると良い。警戒するのではなく「こんにちは」って。「子供らしい子供」がいる町。
- ・いじめという問題を懸念しています。いじめをなくす方向に、家庭と社会と両方からなくしていく努力をしていかなければと思います。子供が学校と家庭の間で、クッションの役割になるような場所があると理想です。親にも打ち明けられない事が起きた時に、心のよりどころとなり、間違った方向へ行かないように、子供が自分の人生に希望を見つけれられるような居場所を作ってあげたいです。
- ・子供が自主的に(小学生くらいから大人抜きでも)利用可能な教育(学習、スポーツ、趣味)施設が増えればと思います。市内で活動しているNPO法人(レッツ等)の情報等をもっと共有したいです。
- ・NPOやNGO、一般市民の活動の方が的を得ている所がある。子供に同じ絵本を配るよりも、もっと違うことにお金を使って欲しい。
- ・子供をみてくれている目が今は親くらいしかなく、息つく暇がない。子供が安心していられる所を増やしてほしい。地域の空き家など利用して、ほっと一息つける所が欲しい。又、そういう所で就労支援などが受けられるようにしてほしい。
- ・短時間勤務制度を利用していますが、会社で3歳までと決まっています。勤務先も遠いので、時短が終わると思うと、このまま仕事を続けられるか不安です。3歳はまだまだ小さいですし、コミュニケーションをしっかりとれる時間が欲しいです。希望としては、小学校卒業まで時短勤務を利用出来る制度があるといいと思います。義務ではなくても、選択できるとありがたいです。
- ・保健センターの両親学級やマタニティクッキングなど妊婦の友達作りができない(それが出産後のつながりやネットワークに繋がり、子育ての不安を低減する)。もっとネットワーク作りのサポートをすべき。

- ・金銭的に支援もして欲しいが、小金井市に住む全ての大人達に子育てに対する意識を高めて欲しい。思いやりも必要だし、街づくりも子育てを知らない大人中心のものになっていて、ベビーカーが段差で通れなかったり、買物の時自転車置き場が全く足りなく、子連れでの生活が困難に思う。電動自転車は駐輪場の上の車輪置きに重くて置けないので、子育てに優しい工夫をして欲しい。街づくりが変われば子育ての意識も高まっていくのではないかなと思う。
- ・インターネット等で予約ができたり、受付の順番がとれる小児科が増えるといいなと思います。
- ・散髪や銀行の振り込み等、ちょっとした用事を済ませるため、週に半日でも2時間でも子どもを見てもらえるサービスが駅前など便利な場所にあると非常に助かる。
- ・夜間子どもが病気の際、相談出来るようにして欲しい（電話）。
- ・初めての出産でどうしたらよいかわからないので情報が欲しい。
- ・妊婦の時のコミュニティーやイベント相談のできる所がもっとオープンにあると安心して子どもが産めて、その後の子育てに楽しんで夫婦協力しあってできると思う。
- ・障害のある娘を育てていますが、2才を過ぎるまで市に発達支援をする所がないのがとても不便でした。どこに相談したらいいのかも分からない手探り状態でした。障害がある、ないに関わらず、親・本人が希望する教育が受けられ、必要なサポートが受けられるよう、今後に期待します。子供の放課後の居場所作りにも力を注いで頂きたいです。
- ・子育てにはお金がかかるもの。先行投資くらいに思って、思い切って他市に誇れる市になって欲しい。
- ・行政サービスは母子家庭、特に経済的に苦しい母子家庭への支援は手厚いが、父子家庭に対する行政サービスは皆無に等しい。地方税は他の一般家庭並に課税されるのに、対価としてのサービスは地方税を納めていない、もしくは少額しか納めなくてもよいような家庭に偏っている。もう少し父子家庭が利用出来るような行政サービスを考えて頂きたい。
- ・土日の救急病院で専門医が少なく、みてもらえない点で困る。また木曜日休みの病院が多いので、ずらしてもらえるとうれしい。無料もしくは安い費用で学校の勉強の補習をやってもらえるボランティアのようなシステムがあると助かります。設問も多く大変でした。是非改善に役立ててください。
- ・親が子供をずっとみていなくても、子供だけでも安心して過ごせる場所がもっとあると嬉しいです（習い事や塾などではない場所）。様々な体験学習（国際交流・武道・スポーツ・芸術など）が日常的に出来る場所（土日など）が欲しい。
- ・核家族やひとり親の家族も増えているのだから、近所の施設（集会所）を寺子屋のように子供に開放して宿題を見てもらったり、昔遊びを教えてもらったりしてはどうかと思う。
- ・地元で短時間の仕事が出来るようなサポートをして欲しい。市から企業へ提案するなど・・・。
- ・H24年度は正職員として働いていましたが、自分の子供と向き合う時間が欲しくて（必要で）、H25からは非常勤職員として働いています。お陰で子供達の様子は安定しましたが、一方経済的には大変苦しい状況です。もう少しゆとりをもって子育てできる状況・環境だと助かるのですが・・・。今後の市政に期待しています。
- ・「きらり」の開設を心待ちしていた。市の財産となるよう広めていって欲しい。どの子供でも地域で育っていけるよう、様々な支援を期待しています。
- ・市のホームページ等でもっと子育てに関する情報が得られるといいと思います。調べづらいと感じます。市の事業だけでなく、定期的に行われるイベントや遊び場（公園などでの）の情報を、まとめて探すことが出来るとうれしいと思います。

■市に対する意見、安全面等（32件）

- ・NPO法人の方が頑張ってくれていることが多いと感じます。市の予算の組み方など不満があります。市役所に働いている人達も人ごとで動かず、常に前向きに使命をもって動いて欲しいです。ボランティアのスタッフや現場スタッフはとてもよくしてくれるので頭が下がります。
- ・税金を払っている市民の権利として行政への期待や支援をありがたく利用させて頂くのは良いことではあります。個人的な意見としては、今現在かなり充実した状況であると思いき、これ以上の改革を子育てに費やす必要性はないのではと思います。子供を産んだ親として、親の義務を果たすのは当然であり、何でもかんでも市に頼りすぎるのはいかげなものと・・・。
- ・歩道が狭い。又はない所が多く、子供を歩かせるのが怖い。
- ・歩道と車道の境界がない道路が多く、出掛けるときに怖いと感じます。また東分館のような公共施設でベビーカーは入れず、ベビーベッドがないので利用しにくいです。
- ・近所の公園でも昔のように子どもだけで遊びにいかせるのに不安を感じます。もっと安心して暮らせる街になればうれしいです。
- ・引っ越してきたばかりですが、自然が多く、人も優しく、とても子育てしやすい所だと感じています。保育所等についての支援も重要ですが、小金井市の良さは自然環境とおだやかな人間関係だと思うのでそれを大事にして頂ければと思います。
- ・国政では盛んに取り組んでいるように見えるが、自治体との温度差があるように思う。教育、保育環境の未来にあまり期待できない。
- ・教育ではないが、道の外灯が切れたままなど、暗い道が多く、夕方に子どもを歩かせるのに不安を感じます。外灯の設備点検などして欲しい。
- ・小金井、安全安心メール？不審者情報などとても役に立ってます。できればその不審者が逮捕された場合などの情報も発信して下さるとより安心して子どもを預ける事ができます。
- ・通学、通園路、駅の安全性を確保して欲しい。ガードレールのない狭い歩道、自転車の違法駐車、段差などのバリアフリー化。
- ・子供が安心して歩ける歩道が欲しいです。子供のおむつを交換できる場所がもっとあると助かります。ベビーカーを利用するにあたって、歩道橋に上がらずに渡れるようにして頂きたいです。

- ・まず小金井に関わるHP全般が非常に使い難い。一つの情報を得るために分かり辛いHPをたらい回しにされ結局よく分からず、ということがとても多い。きちんとした業者に作り直させた方が絶対に良い。高齢者などは見ることすら諦めてしまうのではないかと感じる。制度はあるのに情報の伝達の仕方が悪く、市民へ拡がらないというのは非常にもったいない。子育て中、ほっとする時間などない中で情報をすぐに引き出せなくては、細かく調べることも諦めてしまうのでは。実際よく分からないことは先輩ママから聞くなどしていた。知り合いがいなかったら大変だったと思う。
- ・妻が外国人なので、外国人妻用の子育て説明書などが一冊あると便利。(母国と日本国で子育ての環境や国の支援の内容が大きく違うという事すら分からずに現在子育てしています)。
- ・親も子ども地域(会社)で安心できて、助け合い、心が開かれる環境でいつも前向きになれるといいですね。そして子育て中以外の人もこんなことをやっているのだと知って欲しいです。市報のお知らせだとわかりにくいです。
- ・食育メール、とても役立っています。市主催のイベントや講演会などで、もっと保育付があると嬉しい。高齢者サービスのように、バス利用の割引などがあると外出しやすいです(〇月〇日、雨天のみなどの限定があっても)。
- ・子供が安心して外を歩ける環境作り。

■教育・小学校(13件)

- ・小学校で配布される防犯ブザーにGPS機能が付いていると助かる。(一覧表が配布されれば、その公園で遊ばせるようにするので)。主要な公園に見守りの方(シルバー人材センターの方など)が一定の時間だけでも(放課後~17時頃)いて下さって子供達を見守って頂けたら、大変ありがたいと思います。
- ・特に問題なく快適に生活しています。強いて言えば小学校の学区のしほりをはずして学校を自由に選べればいいと思いました。これが現在不可能なので我が家は私立小学校に入学させる予定です。
- ・小学校での放課後の預かり事業を行ってほしい。教員の数の充実など行ってほしい。学校設備を明るくきれいにするなど、子供の過ごしやすい環境を整えてほしい。
- ・放課後、校庭で遊べると助かります。
- ・「子ども障害のある人にお金を使わない」というのが小金井市の印象。まずはお金をさいて下さい。保育などは意見を出される方が多いと思うので、学校教育の充実を。全校に支援級・通級を。学習支援員の充実。常務教員の充実。教員の特別支援教育関連の研修充実。
- ・小学校の質の向上。
- ・兄が小学校に通っているが、クラス(授業)を補助で担当して下さる先生がしてくれたらと思うことがあります。先生ひとりでは目が行き届かないように思いますし、宿題のプリントの丸付けだけでも相当なご負担になっているような気がします。

2 就学児童（記入者：小金井市内に居住する小学校1～6年生の保護者）

■学校生活／教育（61件）

- ・ 放課後に補習を教室を利用して行うなど、学校の先生の負担にならないよう、NPO法人や大学生アルバイトなどで対応する。
- ・ 学校教育及び教員のサポート体制をもっと充実して欲しい。
- ・ 小学校では、校長先生はじめ、どの先生も子供達のために、先生たちが仲良く指導して下さっているのを感じ、ありがたいです。昨年、都外から引っ越して来ましたが、すぐにこの地域の教育、保育のことがわからず、地元のお母さん達と仲良くなり情報を得ました。外部から入った者にとっては、とても心細いです。転入手続きをする時に、その辺の情報（パンフなどを配るなど）を教えてもらえるとうれしいと思います。
- ・ 学校及び、地域の図書室、図書館の設備がとてもいいとは言えない、もう少しお金をかけてもいいと思う。
- ・ 学校のトイレ環境の整備。
- ・ 就学援助費は大変助かっていますが、共働きしないと生活していけず、ぎりぎりでは受けられなくなりそうで、生活に不安を感じています。
- ・ 公立小学校の学区制の廃止の検討をしてもらいたい。
- ・ 子供の教育については、子供の幸福にとって最も大切な事であると思います。まずは家庭を中心にしながら、地域・社会の皆で守り育てていく意識や啓発が必要であると思います。
- ・ 学力の向上に力を入れて欲しい。
- ・ 給食の民営化。削るのは子供の部分ではなく、他にあると思います。

■遊び（29件）

- ・ 高学年の子供達が、思い切り体を動かして自由に遊べる場所がない。本当にお金がかかるのは、中学を卒業してからだと思う。何らかの支援があると助かるのですが。
- ・ 室内でも遊べる場所が欲しい（高学年でも）。市民プール（外の）が欲しい。
- ・ 子どもがボールや追いかけっこを出来る場所がほとんど無いです。せめて校庭開放を毎日行って頂けてたら嬉しいと思います。
- ・ 子ども（小学生）が雨の日にあそべるところを作ってほしい。
- ・ ゲーム機やネットより子どもにとって魅力的なものがあつたらいいと思う。子ども達だけで安心して遊べる場があつたらいいと思う。
- ・ 夏休み等の長期休暇は近年猛暑の影響もあり、遊び場がないように感じます。学校プールも毎日あるわけではないので、市のプール等の開放や、冷房のある施設を利用出来ると良いと思う。学校も教室にエアコンがありますので、午前中だけでも利用出来ると良いです。児童館はほとんどエアコンが効いてないように思います。家に閉じこもりがちになりますので、夏休みの子供の居場所を考えて頂きたいです。

■図書館（28件）

- ・ 図書館をもっと充実させてほしい。
- ・ 大きい図書館を作って下さい。
- ・ 図書館の開館日時と本を増やして欲しい。
- ・ 図書館の返却ポストを増やしてほしい。
- ・ 図書館の設備充実をして欲しい。
- ・ 子供達が自分で自主的に集まって一緒に（又は一人で）勉強出来るスペース（毎日又は週末含め）が図書館にないことはとても残念（長期休み期間中の自主室ではなく、いつでも夕方や週末も行って過ごせる場所）。特に中高生のスペースが必要！武蔵野プレイスB1をご参考下さい。

■スポーツ（7件）

- ・ 行政が能動的にというよりは、地域の中で支える団体、クラブ等に対する環境作り、理解がない。例えば、球技等のグラウンド。心と体を人間関係の中で育むのは、スポーツや文化活動を共に行うこと。
- ・ 子供たちが思いっきりスポーツ（サッカーなど）が出来る場所が欲しいです。どこに行ってもボール遊び禁止でかわいそうです。
- ・ 他市と比べてスポーツする施設（野球グラウンドなど）が少ないと思う。
- ・ 子供は野球チームに入っていますが、なかなか野球が出来る環境が整っていない事があります。友人達と野球をして遊びたくてもやる場所がない。大人に怒られたりする時もあるので、場所があれば毎日でも出来るのになと感じます。

■公園（18件）

- ・ 最近、公園でボールが使えないとか遊具が安全のためか小さい子向けになっている。確かに子どもが小さいときは心配もありましたが、小学生がいない午前に遊びました。最近は何でも小さい子優先な気がします。ある程度小学生も走り回ったり出来る場所もあるといいです。道路で遊んでる子どもをよく夕方に見かけます。空き地等開放して頂けたら最高です。
- ・ 放課後、おもいっきり遊べる広い公園がほしいです。野球が出来る場所、壁当てができる場所がなさすぎます。
- ・ 都立公園のような広大な公園はあっても、あき地、広場といった昔のようなちょっとしたあそべる場所がなくなって残念です。外で、ボールをけていると迷惑になるので時々注意してしまいます。通りで遊ぶ子供も見かけません。昔はよく見かけたものですが。
- ・ 昔は子供が自由に遊びに行ける環境だったが、子供一人公園に行かせるのも心配な世の中です。公園が安全で明るい所であることを望みます。

■学童、放課後の過ごし方（80件）

- ・ 学童保育は現在3年生までですが、4年生以上は平日よりも夏休み・春休み・冬休みだけでも入れて欲しい。
- ・ 学童はせめて4年生まで行かせて欲しい。保育所の待機児童問題も何年も解決しないので困っています。保育所に入れるならば本当はもう1人くらい産みたかったと思います。もっと保育環境を整えて欲しいと切に願います。
- ・ 学童保育所の内容と質を落とさないで欲しい。
- ・ 保育園、学童の民営化に不満があります。保育園の民営化は0才児からが生活をする場であり、死亡事故など他市、他県で起きているので、もっともっと検討をかさねる必要があると思う。学童の民営化は仕方ないと思いますが、親に納得のいく説明をしてほしい。でも、できる限り、現状がいいです。小金井の保育園、学童はすばらしいので。
- ・ 放課後子ども教室を平日毎日設定してほしい。図書館の施設・蔵書を充実させてほしい。
- ・ 学童保育を利用しています。現在とても楽しく過ごせています。小金井市の学童保育はとても質が高く、職場でも驚かれます。仕事を続けていく上で学童保育はとても大事です。4年生になったら学童保育にいらなくなるのが、今から不安で一杯です。質を落さずに6年生まで学童に在籍でき、時間ももう少し長く預かっていただけると、とてもありがたいです。私自身としましては、保育料が上がってもかまわないので、安全・安心を希望します。
- ・ 学童保育が公営公設でいることは、市が子供を守っていることだと思います。税金は使いますが、共働きのご家庭でも子供を育てる環境が充実している小金井は、すばらしいと思います。
- ・ 「子にいい小金井」を実感する毎日。学童の質の高さには感謝しかありません。子どもに寄り添い信頼関係を作ることでできるベテランの先生方に、これからも続けていただきたいです。小金井のすばらしい環境が作り上げてきた学童文化をこれからも大切にしてほしいです。
- ・ 保育園、学童共に親の役割（役員、行事企画等）が多く、平日ほとんど子どもと関われないのに、土日この役割の為に集まり等があり負担でした。子どもに留守番させて話し合いに行くことも。イベント等は少々お金がかかってもアウトソーシングさせては？市内の学童合同とすればと思っていました。
- ・ 学童が三年生で終わること、18時で終わる事に不満があります。民営化して頂いても構いません。保育園のようにポイント制で構いませんのでもっと預かって下さい。
- ・ 放課後の一時預かりを充実させて欲しい。（スポーツ、文化活動などや遊び）。平日毎日あると良い。
- ・ 来春下の子を学童に入所させようと思っていますが、閉所時間をもっと長くして欲しいです（AM8時からPM7時くらい）。夏休みには希望者のみでも給食がでるととても助かります（お弁当は食中毒が心配です）。
- ・ 学童保育所内での一時預かりをして欲しい。

- ・ 学童保育時間の拡大をお願いします。18時まででは仕事に支障をきたしている状況です。19時から20時まで利用できるとうれしい。助かります。学校給食がないときの学童での給食(仕出し弁当等)があると助かります。特に夏休み等長期休暇の時。
- ・ 親も子ども進んで参加したくなるような行事や施設が身近に気軽に利用出来ればと考えます。学校を利用した放課後子ども教室も内容を充実させられるよう、配慮頂きたいです。小さい子のためのサービスは考えつきやすく、目にもつきやすく思われますが、学童に魅力的なサービスを工夫出来たらと思います。更に親側にも活動の場を広げて欲しいと思います。
- ・ 学童も保育園と同じような時間帯で(7時~19時・夏休み等も)、預かってもらえると助かります。
- ・ 以前通っていた小学校では、ほぼ毎日放課後預かりがあって、リタイアした先生等が勉強もみて下さり、体操・英語などの日もあった。好きな日に預けることが出来た。小金井の小学校でも実施して欲しい。

■児童館(17件)

- ・ きれいで広くて駅から近いところに施設が欲しい。児童館や公共施設が古いが多い。最初に行こうという気持ちにならない。
- ・ 児童館(学童保育)が学校から少し離れており、学校の中にあると安心です。歩道がない、狭いなど、子どもと歩くと危険な場所が多くあります。
- ・ 児童館をきれいにしてほしい。
- ・ 近くに児童館などがなく、長期の休みの時に安心して遊べる場所が少ない気がします。高学年でも参加したくなる様なイベントを開催して下さるといいなと思います。

■保育所・幼稚園について(38件)

- ・ 保育園を増やしてほしい。民間でもっと充実した内容(例えば、自由に遊ばせる、英語を行うなど)の保育園が出来ると良いです。
- ・ 就労していない人を対象にした一時預かり制度を作って欲しい。放課後に名古屋市の様なトワイライトスクールを開催して欲しい。認可保育園を増やして欲しい。
- ・ 幼稚園が市内には少なすぎる。登校園までの距離が負担になるのは考えて欲しい。
- ・ 保育所の充実、施設の充実を希望します。
- ・ 小金井市には幼稚園が少なく、小平や府中など遠い施設に通わせないといけないのは残念です。特に小平などは、幼稚園が充実しており、預かり保育なども、市が取り組んでいるので、パートなどの仕事がしやすいうらやましいです。保育園だけでなく、幼稚園の充実も検討してほしいです。
- ・ 保育園を利用出来る定員数、就労条件が緩和、幼稚園児の預かり保育サービスの充実。
- ・ 週に3~4日、5時間/1日程度のパートでも保育園に入りやすい環境が欲しいです。子どもが3人居て近くに身内も不在なので頼れる人もいないのでフルタイムで仕事をする体力も気力もありません。しかし、仕事をしたい現実もあります。幼稚園を充実させるのも助かります。北口にあった園がどんどん閉園してしまい皆さん小平の幼稚園に通って大変そうです。
- ・ 母子家庭への支援もありますが、まだまだ不十分と感じます。市立の保育園や学童保育が、就労目的にしか利用出来ないことが残念です。用事やリフレッシュ目的で子の世話を頼める先が限られているのはとてもきついです。ファミリーサポートやベビーシッターも利用しようと思えばできますが、子の性格上、初対面の人に預けるのはハードルが高いです。だからいつも通っている学童などに預かってもらいたい。

■市に対して/補助など(109件)

- ・ 引っ越してきた時、市役所にて子供がいる事を話しましたが、市に子育てに対するどのようなサービスがあって、どこに問い合わせたらいいのかとか、何も教えてくれなかった。(児童手当の手続きの説明のみ)。未だに小金井市に対する子育て支援の事はよく分かりません。なのにこんな調査送られたって・・・。ちょっとくらい転入時に簡単な説明をしてくれてもいいのにと感じました。
- ・ 小金井市は住民が多く、子供を見守ってくれる人も多く、緑もあり、環境としては子育てしやすい地域だと思います。しかし、小金井市からのサポートはあまりないと思います。お金はとてかかりません。金銭のかわからない子育てサポート。他の地域は結構ありますが・・・。出来れば追いついて貰いたいです。
- ・ 23区内の多くの所が中学3年生まで医療費の個人負担はないと聞きます。小金井市は所得により負担の割合が決まっているようですが、負担が大きすぎます。
- ・ 小金井市は教育にとて力を入れていると思います。ここに来て安心して子供の相談が出来ようになりました。しかし、何に付けても分かりにくいので、市報以外でもPRすればいいかでしょうか?両親とも仕事し

ている家庭は後回しになりがちがな気がします。

- ・ 金銭面サポートを充実してほしい。3人以上の家庭には特別加算を高校卒業時までお願いしたい。子供一人と三人以上では教育費にかけられる金額が変わってきて、子供の将来を狭めてしまうから。
- ・ シルバー人材を活用した、義務教育年代向けの学校フォローのような教育システムのような世代を超えたコミュニケーションがあれば良いと思う。高齢者と子供がコミュニケーションが取れるような地域環境が多くあればと思います。
- ・ 子どもの環境作りよりも大人の事を考える節が多々ある。本当にこの先の未来を考えるのであれば、しっかりとした環境を作るべきです。未来は子ども達が作ると思うから。
- ・ 医療費を収入にかかわらず無料にして欲しい。障害があるので検査代等負担が多いと感じています。「きらり」の放課後等デイサービス利用しています。子どもが心から楽しみにして週1回通ってます。訓練にならなくても障害を持つ子ども達が放課後安心して集まれる場所があればいいです。また中学生になっても放課後等デイサービスが利用できるような制度を整えて頂けると有り難いです。
- ・ 私学に通学している児童にとって、学童等、利用しにくい環境にあります。決してお金があるから私学に通わせているわけでもありません。教育費の公私間格差の是正、私学に通学する児童も利用しやすい制度や支援があれば助かります。
- ・ 保健センターが遠すぎるし、行くのに不便。他市に比べ、児童館に小学生向けの玩具がないのが不満。ボールを使って遊べる場所が少ない。子ども会に協力的な保護者が非常に少ないのが残念。
- ・ 子育てに関する色々な面での補助金等が近隣の市よりも充実していないと思います。学習面も学力が上がっているのは、市の取り組みよりも各家庭の意識が高いためかと思われます。
- ・ 武蔵野市のあそべえのようなのがあれば良かったと思った。
- ・ 他市から引っ越してきましたが、ショートステイ等のサービスはこれから整備が必要だと思います。
- ・ きらりの放課後デイサービスにお世話になっています。ありがとうございます。6年生まで利用出来るようなシステム（定員を増やすなどして）をお願いします。
- ・ 高学年の放課後サポートを早急に検討・取り組んで欲しい。
- ・ 子供の通学路・歩道橋・狭い道等、子供が一人で歩いたり自転車に乗ったりする時に危険な所が多すぎると思います。もう少し歩きやすい道やガードレールを取り付ける等、改善されることを望みます（特に新小金井街道のトンネ連雀通り）。
- ・ 子育て応援券をやってほしい。

■その他 (21件)

- ・ 現状では家庭で子育てをするのが基本であるとされ、簡単に相談・支援をしてもらえない状況ではないのが現実のように思う。余程の大きな深刻な悩みを抱えていないと、気軽には相談はしにくい。敷居が高いように感じる。
- ・ 色々取り組んでいる事を知らず(調べもせず)、自力で子育てをしてきたと思いました。必要とあらば、ぜひ利用させて頂き、今、必要としている家庭を見落とさないで頂きたい。
- ・ 小金井の良い所は親も子どもパワフルなところだと思う。
- ・ 帰りが遅くなった時のバスがない。終バスが早すぎる。ココバス 21:00 とか終わった後は京王バスを充実させてほしい。習い事の帰りにお迎えに行きにくい。
- ・ 子育てをしている親が安心して子育ての悩みや親どうしのつきあいについてなど話して聞いてもらえる場があるとのびのびと子育てが少しでもできやすいのではないかと思います。そうすると、子供にも良い明るい接し方ができるかなと考えます。
- ・ この調査には子どもの視点が抜け落ちていると思います。預けられる子ども側に立って子育て環境や支援も考えて欲しいと思います。
- ・ 緑もたくさんあり穏やかな雰囲気、私は小金井市はとてもいい所だと思っています。
- ・ 今回のアンケート結果を精査して市政に反映して下さい。子供の貧困は親の責任ですが、父子だから母子だからで社会保障が変わるのは極めて不公平です。これは子供の権利です。国が都がと言いつい訳をするのではなく、小金井市独自の支援策を作して下さい。父子家庭の現状をもう少し理解すべきです。

3 中学生・高校生年代の青少年

(記入者：小金井市内に居住する中学生・高校生の年代の男女)

■学校生活／教育（16件）

- ・ 市内、小中学校の環境が整った状況を整備して頂きたい。
- ・ 勉強スペースがないので学校の放課後に寄れるような施設を作ったら子供の成長に貢献できると思う。
- ・ 屁理屈とか口の悪い奴がいるので、そういう人を育てないためにも注意してほしい。その子のためにもなるし自分達のためにもなるので。
- ・ 外で遊ぶ大切さや楽しさを、もっと子供たちに知らせて欲しい。
- ・ 子供のことを本気で考えてくれる、体当たりな大人が増えてほしい。
- ・ もっと施設を駅付近に配置し学校帰りに気軽に寄れる様にして欲しい。特に学生の自習スペースが欲しいです。
- ・ 学校でいじめが起こるのは、先生側が校舎の死角や人間関係を把握する余裕がないからだと思う。もう、ゆとり教育は終わってしまったが、生徒のゆとりよりも先生のゆとりを持たせてきちんと生徒と向き合っ、わずかなサインにも気づけるようにすれば、生徒間同士の暴力やいじめ、自殺などが減ると思う。
- ・ めんどくさいから学校に行きたくない。
- ・ いじめ関係を一番気にするべきだと思う。
- ・ 学校に行きにくい人たちを集めた施設をもう少し増やすべきだと思う。小学生にもいるのだから、小学生だけのそういう施設もあっていいと思う。

■遊び場（8件）

- ・ 子供が利用できる施設（スポーツができるようなところや小さい子が遊ぶところ等）が増えると、外で遊ぶ子も増え、体も強くなると思う。
- ・ 公園の遊具を撤去しないでほしい。規約はあってもよいが、夏に花火ができたり、ボール遊びができるスペースが欲しい。

■図書館／自習室（14件）

- ・ 図書館や公民館で勉強できる環境を、作っていただきたいと思います。
- ・ 学生が静かに集中して勉強できる、快適な環境を駅近くに作って欲しい。
- ・ 自習に関しての支援を良くして欲しいです（小・中学生も含めて）。
- ・ 市民交流センターを武蔵野プレイスのようにして欲しい。学習スペースなどが他の市と比べて少なすぎるし、図書館も小さい。
- ・ 小金井市は図書の量が足りないし、狭い。古い本ばかりで、とても使いにくい。もう少し設備を整えて欲しい。勉強する所もない。
- ・ 今年受験ですが、坂下で図書館などの静かに勉強できる場所を知りません。家ではゲームをしてしまうので、あれば、利用したいです。
- ・ 大きな図書館を作って欲しいです。

■スポーツ（3件）

- ・ 団体に属していなくても、自由にサッカーができるスペース（時間帯）を作って欲しい。
- ・ スポーツ施設を増やして欲しい。

■市に対して／安全面など（19件）

- ・ 高校生も医療費の補助をしてほしい。一番怪我をしやすい年頃だからです。
- ・ 高校でお金がものすごくかかるので、少しでも補助して欲しい。
- ・ 奨学金の充実を期待したいです。
- ・ あんまり詳しい事を知らないなので、どういう事をやっているのかの説明があったりすると嬉しいです。

- ・税金の無駄使いをしないで欲しい。無駄使いした分で子供のための施設を作って欲しい。子供の中で週に一度は必ず「小金井市はお金がないから。」という言葉が出てきます。このような状況なので小金井市の子供である私たちは、とても恥ずかしく思っています。だから頑張って上手にお金を使ってください。
- ・駅前に公園や休めるようなお店、子供を預けられる施設を集めた方が、仕事をしている親にとっても楽でいいと思う。
- ・私立学校に通っている子供に対して、支援がない。
- ・私自身がこの市について全く知りません。ネットでの情報なども、もっと充実させてもらえると嬉しいです。
- ・痴漢対策強化。公衆トイレ増設。多発していない場所でも「ちかん多発注意！」という看板。
- ・必要のない施設が多い。学校の近くの街灯を増やして欲しい。
- ・野川公園の自然を減らさないでほしい。
- ・歩道と道路の幅が狭いので、広くして欲しい。
- ・これから母親になる人や子育て中の母親が情報交換したり、会話を楽しむなどのリフレッシュできる施設があるといいと思います。子育て中の親が利用しやすい公共機関の充実を望みます。発達障害等支援を必要とする子供たちが通常学級で学ぶための支援員（作業療法士など。）の充実を望みます。
- ・女性が子育てをしながら働ける環境を作るべきだ。今のままでは育児休暇を取って仕事に支障なく復帰することは難しいと思う。働いていても子供を産んで、この街で育てたいと思える市にして下さい。あと、保育所を増設し、横浜市のように待機児童ゼロにして下さい。
- ・もっと多く保育園を作るべきだと思う。

■その他（26件）

- ・一人ひとりが人のためにボランティアをしてほしいと思う。
- ・このアンケートは、今後どのように活用されるのかが疑問。学校の行事でも学校のアンケートでもなんでもそうだけど、意見を述べたところで何も変わらないので、こんなことに本音を書いたって意味がない。紙と時間の無駄だと感じてしまう。（自分を含め、周りの人も）。
- ・子供にも理解できる言葉でアンケートなどを作ってほしい。また、支援内容が分からないので、内容が分かるようにしてくれないと何もわかりません。
- ・駐輪場を増やすべき。
- ・カラオケを作って欲しい。（学生割引されるシステムがあれば是非利用したい。）スーパーが少ないので増やして欲しい。
- ・両親そろって生活している家庭だけではありません。もう少し設問を工夫して欲しいです。
- ・弱い子供たちを助けてください。
- ・小金井市のフリースペース（友達と集まって会話や勉強ができる所）を増やしたり、広くして欲しい。
- ・家にいたくないとき、自由になれる場所が欲しいです。あと、子供の自由と楽しさを奪わない場所もください。
- ・文化芸術に触れる事のできる環境を充実してほしい。
- ・色々やっていると思う。中学のときは生徒にボランティア案内など、よくお知らせがありました。高校生になって市内の高校にならなかったの、参加することはほとんどなくなってしまった。
- ・このニーズ調査のアンケートは施設や場所についての質問ばかりで、職員の対応についての質問が少なく内容が薄く感じた。中高生のための支援についてその実態を知ろうとするならば、もっと意見を聞けるようにその都度、記述欄を設けたほうが意見が集まりやすいと思った。
- ・小学生までは何かと守られ、遊びの空間も用意されているが、中高生ともなると、ゆっくりできる空間がなくなる。高校生は時に大人扱いされるが、法的には未成年で居場所がない。結果、ゲーセン、カラオケ、ファミレスに行くしかない。
- ・世間の大人はルールを破りすぎている。例えば、歩きタバコ。これは市をあげて解決するべきだと思う。そういうダメな大人がいるから子供がマネするんだよ。
- ・高架下が開発され、私達若い世代にとって良い刺激をもらえるような魅力的な街づくりがなされることを期待しています。
- ・アンケートで、初めて知ることが多かったと思います。アンケートがポーズでないのなら、もっと宣伝等をして知名度を高めるべきだと思います。また、アンケートの中に大人的な視点が多く、学生に近い視点のものが欲しかったです。
- ・「きらり」を作って頂きありがとうございます。大人になった時にも就業面などでフォローしてくれる施設もほしいです。
- ・住人の意見を取り入れて、もっともっと素晴らしい小金井市を作ってください。

4 中学生・高校生の年代の青少年の保護者

(記入者：小金井市内に居住する中学生・高校生の年代のお子さんの保護者)

■学校生活・学習環境 (38 件)

- ・ 広いスペース、時間の延長。自習室など。図書館を駅近くに作ってほしい。
- ・ 勉強は学校だけでは足りず、塾に頼っているのが現状です。金銭的な面もあるので、学校だけで十分に理解し、受験も対応できるようになってほしい。
- ・ 中高生が好きなきに自習学習できる環境を作って欲しい。図書館で座って本を読んだり、勉強したり、DVDが見られるような、子供たちのスペースを作って欲しい。
- ・ 子供個人単位で地域への関りにあまり興味が示さないこともあるかと思いますが、体験学習でもいいですので、学校の行事の一環として生徒たちを地域、社会活動に参加させる事も考えられます。
- ・ 公立学校の教育環境の整備と充実を早急に行ってください。
- ・ 図書館の様に静かに学習する場所（とてもありがたいです）以外に子供達が予約なしに空いている時は使用出来るような体育館、音楽室、ダンス練習室、大きな音をたてても大丈夫な様な部屋などがあれば、活用すると思います。
- ・ 不登校児のフォロー体制をしっかりとって欲しいです。
- ・ 中学での勉強の進み方が早いのでわからないまま進んでしまっているようです。家でわからない時なども多く、学校で補習などあるといいなと思います。

■図書館・スポーツ施設・放課後の居場所 (30 件)

- ・ まず子供が自由に身体を動かせる環境が少ないです。例えば、野球をするにしても、地域にはチームがありますが、まずは友達と遊んで興味を持ってから…と思ってもキャッチボール禁止やバット禁止の所だけです。一步を踏み出すきっかけを作ってほしいと思います
- ・ 図書館を整備していただきたいです。狭くて本が少ない。自由に本を読んだり、勉強できるスペースがあると良いと思います。
- ・ 子供が遊べる公園を増やして欲しい。小金井公園等大きい公園ではなく、小さい公園が少なすぎる。
- ・ 部活をしていない生徒・引きこもりがち(引きこもっている) 生徒などが居場所を確保できるようなところ、コミュニティがあればいいと思う。
- ・ 小金井市はスポーツをする施設にはお金をかけているようだが、子供たちが気軽にサッカーなどが出来るスペースはなく、ナイター設備も全くない。唯一の上水公園グラウンドですら、ナイター設備がない。

■子育て支援／学童・保育園など (11 件)

- ・ 学童のお子さんたちが4年生から放課後の居場所探しに浮遊しているように見えます。4年くらいから特に学童だった子供たちがストレスをためているように思えます。6年まで学童に所属し、下の子供達を世話するくらいの人との関わりの場を与えてあげたいです。
- ・ 保育園や学童保育所を直営でやっているが、民営にすべきである。全体の財政状況を踏まえて、過度に子育て支援施策に公費を使わないでいただきたい。街づくりが遅れていることが問題。
- ・ 学童は小金井市が責任をもってやるべきだ。保育所は小金井市が責任をもってやるべきだ。道路より人にお金をかけるべきだ。駅前開発にかかるお金を医療、教育、福祉、子育てにかけるべき。
- ・ 専業主婦の方が1日24時間365日子供とべったりで大変なので、私もそれで苦労しました。週に2回くらいは保育園に預けられると片付けや、整理整頓・リフレッシュができるので、子育てに余裕ができたと思います。
- ・ 保育園の受入数が全然足りておらず、市民としてとても困っています。横浜市のように予算や工夫を通じて、希望者全員が入れるように早急にして頂きたいです。

■市に対して／相談先／安全面など (17 件)

- ・ 高齢の方、乳幼児への支援は手厚いと感じますが、中学生以上の支援は何があるのかわからない。年齢的に様々な家庭環境、教育環境があるので、どの様な支援が良いのか難しい所だと思いますが。
- ・ 子育てしている親の悩み事を相談出来る場所がオープンにあると良いのでは。
- ・ 子供の貧困により、教育の機会が平等でない事を懸念しています。子供が今ぶつかる困難を悩み、考え、成

長していくことを、子供自身の存在を認めながら応援していける仕組み、相談援助を望みます。

- ・ 子供が安全に遊べる場所を提供するのはもちろんの事、子供が相談しやすい場所が、もう少しあると良いと思います。
- ・ 将来を担う子供たちが健全に育ち生活できるように、思春期の子供を持った保護者向けに色々な講座や話し合いの場を設けて欲しい。また、子供たちが少しでも社会の役割に興味を持てるような、地域の施設や商店でボランティアや講座、仕事内容の手伝い等を体験できる場があればいい。

■情報提供・発信（11件）

- ・ 引き続き情報提供をよろしく願います。ホームページの閲覧が最も情報を得やすい方法です。
- ・ 小中学生の頃は、学校（公立）側から市の情報も発信されていたが、今現在私立高校へ通っている為、あまり情報が入ってこないような気がします。（HP等自主的に開いて見ない限り、自然に入ってくることはない）
- ・ 私の子供は私立中学に通わせているため、あまり小金井市の情報がありません。私立に通っていても同じように情報が欲しいところです。

■特別な支援が必要な子どもへの支援（13件）

- ・ 保育園の充実を図ってほしい。（数、質共に）自分も苦労したので。障害児の卒後の受入先について、小金井市は貧弱であると言わざるを得ない。作業所などの充実を。
- ・ 小中学校において、発達障害の子に対して個別にサポートするような仕組みがあると良いのでは？（例）武蔵野市の「サポートスタッフ」（心理系の大学生、大学院生のボランティア）学芸大もあるので、発達障害の子との関わり方の勉強会なども開いて（学校の先生方やPTAの方、親御さん方に対して）発達障害の子供さんやその親御さんがより生活しやすい市になってほしいと思う。
- ・ 「きらり」が開所して小金井の発達支援事業が今後、充実していくことを望みます。「きらり」の職員の方、関連の市職員の方には、大変なお仕事ですが頑張ってくださいと思います。
- ・ 以前はあまり学校に行けませんでした。が、もくせい教室へ行き、その後中学校へもいけるようになりました。また、担任の先生の多大なるお力でみんなとも付き合えるようになりました。

■経済的支援・医療費・予防接種（18件）

- ・ 小金井市の奨学金の金額、減ってきています。高校授業料無償化になる前から（上の子）低所得の為、授業料免除だったので、実質、支援額は減っています。
- ・ 全世帯への中学生まで医療費無料（または少額負担）化をお願いしたい。所得制限の撤廃。以前は無料対象だったが、わずかに所得が増えた事で対象から外れた為、負担が重くなった。
- ・ 生活保護世帯や母子、父子家庭などへの支援は色々な施策が行われているが、中流、一般家庭にも教育資金などの支援を充実させてもらいたい。
- ・ 子供が小さな頃も手当などで助けてもらいましたが、子供は大きくなった方がお金がかかりますので、高校生も何か手当があると助かります。
- ・ 全ての子供が進学したいと思う時、家庭の経済状態に関わらず進学できるよう支援して欲しい。高校中退やつまづきがあっても、行きたい（学びたい）と思った時に、助けてあげられるシステム、支援があれば良い（学費等援助や利子をつけないで貸すとか）。

■その他（47件）

- ・ 中学校では1～2年生が地域の職場を訪ね、1年生は見学し話を聞き、2年生はお手伝いをしている。市役所でも支障の無い範囲で、その様な場をご提供頂けないのだろうか。
- ・ 子供が健全に育つという事は、その子の家庭がうまくいっている（仲良く、楽しく）事が一番だと思います。どんなに良い児童館、図書館等の施設が整っていても、子供が一番長く過ごす場所が、心安らぐ場所でなければ、すさんでしまうと思います。もちろん、施設や地域活動の充実も必要なのはわかりますが、まずは家族のつながりを大切にできるような支援をお願いしたいと思います。
- ・ 中学の部活動にもっと支援して欲しいです。（費用面、指導者、コーチなど）
- ・ 小金井は、子供が安心して遊べる施設や公園（遊具付）の場所が偏っているように思います。
- ・ 産前・産後のヘルパー事業の充実。地域でのつながりができるよう、産み育てる世代から地域とかかわることのできる「何か」があるといいと思います。
- ・ 中学校や高校での部活が厳しく、勉強との両立を考えると運動部に入部したくてもためらってしまう。もう

少し自由に運動ができる環境づくりが必要だと思います。昔より体力が低下しているとよく聞きますが、気軽に参加できるようにしてあげるべきだと思います。

- ネットに繋がっていないと落ち着かないぐらい、スマホでラインをしている。依存症の子供が増えているのではと心配です。親も注意はするが、これ以上どのように対応してよいのか分からない。
- 子供より親が大人のマナーやルールを知らない、遵守しない状態が気になります。自分さえ良ければという風潮は老若男女いずれにも広まっているようです。まずは、大人が社会性、公共性の自覚を持たなければ、地域や家庭での子供の健全育成は成り立たないと思います。
- 市立小学校第 5 学年時に行われる合同音楽会や、成人式が一度に行える程度の客席数のあるホールを作らねばと考える。市立中学校の音楽祭も、今の交流センターでは客席数が足りないため、他市の施設を有料で借りなければならず、交通機関を利用して遠くまで足を運ばなければならないのは不便であり、市民として恥ずかしい。

小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

平成 26 年(2014 年) 3 月

発 行 小金井市 子ども家庭部子育て支援課
〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目 6 番 3 号
TEL : 042-387-9836 (直通) FAX : 042-386-2609

調査委託機関 (株) アイ アール エス
〒184-8504 東京都渋谷区千駄ヶ谷五-16-11 代々木ビル 3 F
TEL : 03-3357-7181 (代表)